

# 市営バス70年のあゆみ



70th  
ANNIVERSARY

Since 1954  
★ 高槻市営バス  
Takatsuki City Bus

## Contents

ご挨拶	1
1章 市営バス70年のあゆみ	3
2章 60周年以降の主なできごと	20
2-1 路線・系統・ダイヤ	21
2-2 路線図	29
2-3 案内所・滞留所・バス停上屋等	33
2-4 乗車券（ICカードを含む）・ 割引乗車制度	36
2-5 システム関係	39
2-6 その他	42
3章 70周年記念事業	46
3-1 記念事業の全体概要	47
3-2 各記念イベントの概要	47
4章 資料編	64
4-1 運賃改定の変遷	65
4-2 運賃三角表の変遷	66
4-3 経営計画（戦略）	88
4-4 近畿運輸局届出	89
4-5 ラッピングバス	90
4-6 車外広告	103
4-7 車内広告	107
4-8 記念乗車券	113
4-9 普通券・回数券	115
4-10 定期券等	125
編集後記	



# ご挨拶

---



高槻市長  
濱田 剛史

## 発刊によせて

昭和 29 年 2 月に産声を上げた市営バスですが、市民の皆様をはじめ多くの方々のご理解とご支援をいただき、大阪府内唯一の公営バスとして、本年 2 月で 70 周年という節目を迎えることができました。

発足当時を振り返りますと、わずか 13 台のバスと 36 人の職員という事業規模でしたが、動く市道として市勢の発展とともに成長を続け、令和 5 年 3 月現在、車両は 166 台、職員数は約 300 人と、まさに刮目すべき発展を遂げてまいりました。

これもひとえに市民の皆様を始めとする関係各位のご理解とご協力の賜物と、深く感謝申し上げるとともに、市営バスの発足にご尽力された先人の先見の明に敬意を表する思いです。

しかしながら、少子高齢化の進展やそれに伴う人口減少社会の到来に加え、ここ数年はコロナ禍に伴う更なる利用者の減少、エネルギー価格の高騰等により、市営バス事業を取り巻く環境は厳しさを増す一方となっています。

このような中、本市では、安満遺跡公園の開園や高槻島本夜間休日応急診療所の開設、関西将棋会館の本市への移転、更には、令和 5 年 1 月に市制施行 80 周年を迎えるなど、「MY LIFE MORE LIFE」のスローガンを掲げ、これまで以上に市民の皆様にとって住みやすいまちの実現に向け、職員が一丸となって全力で取り組んでいるところです。

本市にとって市営バスは、なくてはならない都市機能であるとともに、本市の都市形成に重要な役割を果たすものであり、公営企業としてバス事業を維持することが、本市の発展に寄与するものと考えております。

今後とも、本市の未来に向けて市営バス事業があり続けるために、市民の皆様の温かく、時には厳しい目で、市営バスを見守っていただくことをお願い申し上げます。



高槻市企業管理者  
西岡 博史

## 発刊にあたって

高槻市営バスは、昭和 29 年 2 月 25 日、当時の市長や民間のバス事業者をはじめとする様々な方の努力とご協力のおかげを持ちまして、市営バス事業を開始し、私は第 19 代の自動車運送事業管理者（令和 5 年 8 月から企業管理者）として、平成 29 年 6 月から約 6 年間、市営バス事業に携わってまいりました。

本市は、昭和 30 年代前後からのわずか 10 数年で、人口が 10 万人から 30 万人に増加するという全国でも有数の人口急増期を経験し、その中で、市営バスは通勤・通学等の需要を支えながら事業規模を拡大し、昭和 50 年代には利用者が年間 3 千万人を超えるというピークを迎えました。

しかしその後は、モータリゼーションやオイルショック等の社会構造の変化や、様々な要因により利用者が減少し、近年では人口減少も相まって、ピーク時の半分程度の利用者数に留まるとともに、ここ数年はコロナ禍で減少に拍車がかかっている状況です。

また、平成の時代に始まった規制緩和、自由競争の波は公共交通事業にも多大な影響を及ぼし、近年では 2024 年問題としてマスコミ各社でも報道されている運転士不足の問題や、諸物価高騰のあおりを受け、日本全国でバスの減便や路線の廃止に留まらず、バス事業そのものの廃業といった事象も見受けられる時代となっています。

このように大変厳しい経営環境ではありますが、一方で、高槻市営バスは公営バスとしての強みを活かし、市民のライフステージに即した市営バスサービスの提供に注力するとともに、今後はキャッシュレス化や DX 化の推進、そして次世代バスや安全装置の導入等にも取り組む必要があると考えているところです。

このように、市営バスの歩みは人の一生のように山あり谷あります。今後も引き続き、大阪府内唯一の公営バスとしての自負とお客様へのおもてなしの心を持って、市民を始めとする全ての利用者の暮らしを支え続ける所存ですので、益々のご利用をお待ちしています。

# 1章 市営バス70年のおゆみ



## 「市営バスのはじまりから20周年まで」

### 昭和

26年 2月	市営乗合自動車経営の件について議決
28年 1月	元・日乃出バス(株)の営業権及び財産を阪急バス(株)から譲受する件について、議決
29年 2月	一般乗合・一般貸切旅客自動車運送事業の事業開始
30年 4月	国鉄北(現:JR高槻駅北)駅横営業所を第一営業所として、桃園車庫内に第二営業所を新設
31年 5月	桃園車庫に位置する第二営業所を国鉄高槻南(現:JR高槻駅南)駅前に移転
7月	田能車庫新設認可
32年 4月	地方公営企業法の全面適用
6月	第一・第二営業所をそれぞれ廃止(国鉄高槻南駅(現:JR高槻駅南)に第一営業所を新設)
37年 5月	乗合バスの運賃改定(基準運賃を3円→4円、対キロ制を対キロ区間制に変更)
39年 2月	10周年
40年 8月	乗合バスの運賃改定(基準運賃を4円→5円20銭)
41年 6月	運賃収受において整理券方式実施
44年 5月	ワンマンバスの運行開始、国鉄高槻西口バスターミナル開設
6月	乗合バスの運賃改定(基準運賃5円20銭→6円50銭、市内平坦部を) 特殊区間制に変更(1区25円、2区45円、3区60円)
46年 1月	乗合運賃 知的障がい者に対する割引実施(普通運賃半額、定期3割5分引き)
3月	高槻市公営企業審議会答申
4月	緑が丘車庫新設、緑が丘営業所設置
47年 5月	緑が丘車庫拡張 収容能力を65両→80両に増強
11月	乗合バスの運賃改定(基準運賃6円50銭→8円50銭、1区40円、2・3区50円、) 全線無料乗車証を障がい者、知的障がい者、高齢者(70歳以上)に交付)
48年 7月	貸切バスの運賃・料金改定
10月	循環式運賃箱(自動両替器付き)導入

## 「20周年から30周年」

49年 2月	20周年
49年 4月	乗合バスの運賃改定（特殊区間制から均一制50円に変更、均一制地域では、 地域定期券制度導入）
11月	芝生車庫を新設、桃園車庫を廃止（営業所、整備、事務所は昭和50年1月に移転） 車庫前での乗務員交代、無担当者制実施
50年 7月	貸切バスの運賃・料金改定
9月	乗合バスの運賃改定（均一制70円）
10月	尺代、柳谷線の廃止（五領～阪急山崎～柳谷）
11月	国鉄南（現：JR高槻駅南）駅前駐車場を弁天駐車場へ移転
51年 3月	田能車庫廃止、亀岡線・中畠線・二料線・田能線のワンマン化（原大橋において中型車に乗り継ぎ）
11月	乗合バスの運賃改定（均一制90円）
52年 6月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
7月	貸切バスの運賃・料金改定
53年 9月	乗合バスの運賃改定（均一制100円）
54年 2月	時刻表入りバス路線図発行 25周年記念乗車券発売
4月	路線貸切廃止
6月	観光貸切廃止
7月	乗合バスの運賃改定（均一制110円） 昼間割引回数券発売
55年 5月	国鉄富田北口（現：JR富田駅）乗り場を第四中学校プール横に移設 携帯用停留所別時刻表及び「たかつき行楽マップ」発行
56年 5月	バス優先信号設置

6月	貸切バスの運賃・料金改定
	乗合バスの運賃改定（均一制130円）
57年3月	上の口滞留所開設 国鉄高槻北口（現：JR高槻駅北）滞留所廃止
4月	阪急京都線高槻市駅付近連続立体交差事業のため、線路北側路線（阪急高槻駅～医大前）休止
5月	会葬バス運行開始
6月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
12月	高槻市公営企業審議会答申
58年6月	亀岡線廃止（杉生までとする）、中畑・杉生・二料の各線を中型から大型ワンマンに切り替え（原大橋乗継廃止）

## 「開業30周年から40周年」

59年 2月	30周年
4月	乗合バスの運賃改定（均一制140円）
	持参人式定期券発売開始
	貸切バスの運賃・料金改定
	停留所名変更
	「昭和湯前」→「ひかり診療所前」、「水源地前」→「昭和台2丁目」、
	「昭和台」→「昭和台1丁目」、「芥川校前」→「芥川小学校前」、
	「碎石場」→「三島の郷前」、「下村」→「山手町」
10月	乗合バスの運賃改定（均一制150円）
	市営バスモニター発足
60年 5月	停留所新設 「日吉台口」
	停留所名変更 「西公園」→「日吉台西」
9月	貸切バス 大型バスによる貸切ワンマンバス運行
61年 4月	停留所名変更
	「東岡本」→「福祉センター前」、「氷室北」→「氷室」、
	「氷室」→「巡礼橋」、「富田口」→「四中前」、「国鉄富田北口」→「国鉄富田駅」
10月	貸切バスの運賃・料金改定
62年 5月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
7月	停留所名変更
	「国鉄高槻北口」→「JR高槻駅北」、「国鉄高槻西口」→「JR高槻駅西」、
	「国鉄高槻南口」→「JR高槻駅南」、「国鉄富田駅」→「JR富田駅」

## 平成

元年 7月	高槻市公営企業審議会答申
2年 1月	乗合バスの運賃改定（均一制170円）
	貸切バスの運賃・料金改定
3年 9月	老人バス「ことぶき号」更新
11月	交通労組と共に、「市バスまつり」を開催（城跡公園）
4年 3月	緑が丘営業所管理棟建て替え完成
	レトロバス「ふれあい」号運行開始
4月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
8月	高槻市公営企業審議会答申
10月	再雇用制度発足
5年 4月	乗合バスの運賃改定（均一制180円）
	貸切バスの運賃・料金改定
	1日乗車券発売、通勤定期を全て無記名（ファミリー定期券）に変更
8月	ミステリーバスの実施（行先：神戸フルーツフラワーパーク）
10月	乗合バスの運賃改定（均一制190円）
	回数券車内販売開始
	阪急高槻駅前乗り入れに伴う路線延長、廃止、ダイヤ改正、停留所廃止
	南部地域路線に行先表示番号制を導入

## 「開業40周年から50周年」

6年 2月	40周年
4月	北部地域路線に行先表示番号制を導入
	停留所新設「西之川原橋」、「平安女学院前」、「関西大学」、「萩谷」「中畠西」
	停留所名変更
	「平安女学院前」→「平安女学院東」、「萩谷」→「中萩谷」
	「特定旅客自動車運送事業」の開始（高槻市立うの花養護幼稚園児送迎）
5月	停留所新設 「真如苑」
	停留所名変更 旧「真如苑」→「真如苑東門」
8月	ミステリーバスの実施（行先：甲賀忍術村）
7年 5月	停留所名変更 「公団阿武山西」→「大阪薬大前」
8月	ミステリーバスの実施（行先：甲賀忍術村）
8年 3月	高齢者福祉施策の増進のため増車された「寿2号」の移管
4月	ペインティングバスの運行開始（両営業所各1台）
8月	ミステリーバスの実施（行先：陶の郷（兵庫・立杭））
9月	高槻市自動車運送事業懇話会から提言の提出
12月	芝生営業所管轄で、「低床式バス」の運行開始
9年 3月	停留所新設「唐崎北」、「下田部団地（往路のみ）」、「芝生住宅南」「芝生住宅（復路のみ）」
6月	乗合バスの運賃改定（均一制200円）
	「特定近距離割引回数券」「特定近距離割引定期券」を新たに発売
7月	緑が丘営業所管轄で、「低床式バス」運行開始
8月	ミステリーバスの実施（行先：能勢の郷（大阪府）及び水分れ（兵庫県））

9月	停留所新設「富田丘町」「大和北（復路のみ）」「萩谷公民館前」
	停留所名変更「将来寺」→「萩谷総合公園」
	停留所遠隔放送システム設置
10月	停留所移設「萩谷総合公園」を公園内に移設
	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
12月	乗合バスの運賃改定（均一制210円）
10年3月	停留所新設「大蔵司北」「名神町」
5月	停留所新設「消防署前」
7月	前島・番田プールシャトルバスの運行開始
	停留所新設「北郵便局前」
8月	イベントバスの実施（行先：福井県三方町）
11年4月	定期券利用者の利便性改善（①新規発売日の繰上げ、②土日祝の発売時間の延長）
5月	停留所新設「下田部団地口」
8月	バスボディー広告採用
11月	イベントバスの実施（行先：福井県三方町）
12年4月	阪急電鉄㈱との「連絡定期券」の委託販売開始
5月	停留所新設「芥川小学校前」、「若松町」、「唐崎橋」
	停留所名変更、旧：芥川小学校前→「真上南」、「高槻校前」→「沢良木町」
8月	イベントバスの実施（行先：福井県三方町）
9月	芝生車庫用地の一部所管替え、移転先として車庫南側の用地を取得
12月	貸切バスの運賃・料金改定（消費税率を3%から5%へ）（車掌が乗務しない場合の運賃5分引き）
13年4月	貸切バスの運賃・料金改定
	富田地区定期券予約受付制度、定期券購入申込FAX受付制度の開始
	市内大学の講義日程に合わせた「学期定期券B」の発売を開始
5月	新「芝生営業所」の移転完工式

	停留所名変更「松下電子前」→「松下電器前」
	「㈱スルッとKANSAI」に対する出資として、額面普通株式2株を購入
9月	市営バスオリジナル「チョロQ」の発売
14年5月	停留所新設「塚原口（復路）」
	停留所名変更 旧：塚原口→「日赤病院前」、「野呂橋」→「フラワーパーク前」
10月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
15年3月	運賃箱の更新及び企画カードの種類の拡大
6月	ホタル観賞臨時バスの運行
8月	新型音声合成放送機器への切り替え
9月	第3回スルッとKANSAIバスまつりへの参加（京都市・近畿運輸局京都運輸支局）
12月	車両の更新とLEDデジタル行先表示器の設置

## 「開業50周年から60周年」

16年 2月	50周年
	市営バス50周年記念式典の開催とラッピングバス発車式
	車内ギャラリー展、ラッピングバス、チョロQ発売、記念乗車カードの発売、
	50周年エンブレムの搭載、記念誌の発刊を実施
5月	無料乗車証を精神障がい者に交付
	高槻の文化遺産、史跡を巡るバスツアー「高槻の古代ロマンを求めて」を運行
6月	LED（発光ダイオード）デジタル行先表示器への更新
17年 7月	さよならレトロ調バス「ふれあい号」撮影会開催
11月	高槻、茨木、箕面3市の観光協会との連携による観光実験事業として、 「高槻市営バスで誘う秋の西国街道」を運行。（今城塚古墳～茨木市、椿の本陣～箕面の滝）
18年 2月	「高槻TMO共通駐車・駐輪・バス券事業」へ参加
4月	停留所新設「西塚原」 停留所名変更 旧：西塚原→「塚原二丁目」
19年 3月	JR摂津富田駅北に市営バス富田案内所を開設、営業開始
5月	旅客に同伴する幼児の無賃化を拡大（旅客に同伴する幼児の無料運賃を1人から2人へ）
6月	停留所新設「梶原西」
10月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
20年 3月	特定旅客自動車運送事業の廃止
4月	ICカードシステムの運用開始
21年 4月	停留所名変更「本山寺口」→「原碎石場」、「上の池滯留所前」→「上の池公園」、旧：上の池公園→「上の池公園南」 「大阪薬大前」→「大阪薬科大学」、「松下電器前」→「パナソニック前」、「明治電々前」→「明治製菓前」

22年 4月	停留所名変更「古曽部中央公園」→「古曽部防災公園」、「しょうぶ園前」→「中畠口」、 旧：中畠口→「櫻船神社」、「しょうぶ園口」→「田能口」
	営業所の営業時間を変更（芝生及び緑が丘営業所の営業日を、年末年始を除く毎日に変更）
	制服のリニューアル
6月	全路線乗客実態調査（OD調査）の実施
23年 3月	市営バス経営改善計画を策定
4月	停留所新設「高槻カントリー倶楽部」 停留所名変更「福祉センター前」→「今城塚古墳前」、「靈導教前」→「南平台三丁目西」
24年 4月	停留所廃止 「平安女学院大学」
11月	市営バス改革実施計画を策定
25年 3月	乗合バスの全車両をバリアフリー対応車両に更新 高槻市営バスご利用ガイドを作成
4月	停留所新設「五領公民館前」、「国道上牧南」、「阪急上牧駅」、「淀の原北」、 「淀の原南」、「東上牧」、「上牧南」、「上牧中央」、「上牧北」 バス停名追加「西之川原中」（西之川原の下の口系統のみ）
6月	停留所名変更「浦堂東」→「服部図書館前」
7月	市バスでぶらりキャンペーンの展開（市営バス開業60周年を記念して、大人1人につき 同伴の小学生5人まで無料になるキャンペーンを実施）
8月	夏季限定でアイドリングストップの停止
10月	はにたん号（ラッピングバス）の運行開始 市営バス開業60周年記念磁気カードの発売
12月	市営バス60周年記念「絵画展」の開催

## 「開業60周年から70周年へ」

26年 2月	60周年
3月	市営バス開業60周年記念冊子の発行
4月	乗合バスの運賃改定（均一制220円）
7月	市バスでぶらりキャンペーンの継続実施
9月	「あれもこれも叶う街、高槻に住もう！どっちもたかつき」キャンペーンの展開
	大阪モノレールと基本デザインを統一したラッピングバス（4両）の運行を開始
27年 3月	スマートフォン用バスの発車時刻検索アプリサービス「高槻おでかけなび」の開始
4月	ネーミングライツの導入開始
	全国相互利用サービスの開始（全国の交通系ICカードの利用が可能）
7月	市バスでぶらりキャンペーンの継続実施
9月	高槻市営バスのマスコットキャラクター「たかつき ばすお」が誕生
28年 3月	高槻市営バス経営計画を策定
4月	停留所廃止「高槻カントリー倶楽部」
7月	市バスでぶらりキャンペーンの継続実施
9月	第16回スルッとKANSAIバスまつりへの参加（大阪府堺市 大浜公園）
29年 3月	バスロケーションシステムの導入
4月	停留所新設「北大樋町」「南大樋町」「竹の内小学校前」「番田」 「鷺打橋」「西切」「唐崎（復路）」「平安女学院大学」
7月	市バスでぶらりキャンペーンの継続実施
30年 4月	乗降方式の変更（ICカード2タッチ方式）
6月	大阪府北部地震の発生
	・古曽部防災公園で自衛隊の入浴支援実施（JR高槻駅南からシャトルバスを運行）
	・ボランティアセンターと拠点を結ぶボランティアバスの運行
7月	市バスでぶらりキャンペーンの継続実施

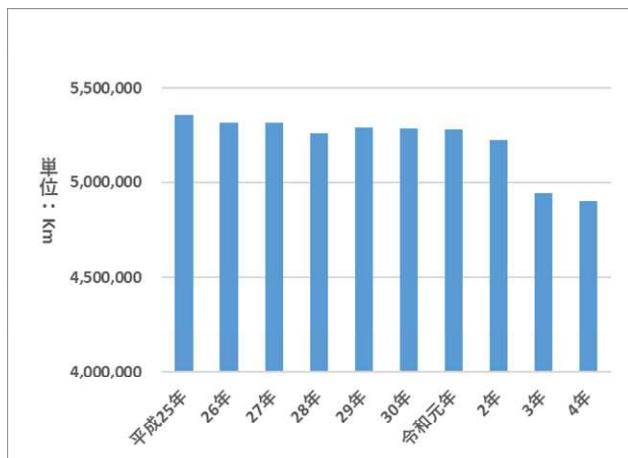
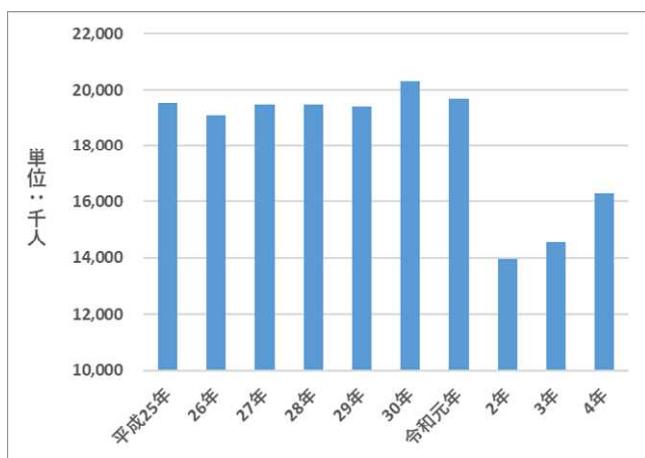
9月	台風21号及び24号の上陸に伴い、全線運休
	回数券の販売終了（令和元年9月末まで使用可）
10月	こうのとりバスの開始（妊婦とその同伴者の運賃を1乗車につき全線100円とする特別運賃制度）
	Tsukica（ツキカ）の販売・利用開始
31年1月	市営バスホームページの開設
4月	昭和台線を休止 休止バス停「西の町」「西垣内」「昭和台1丁目」「昭和台2丁目」「富田校前」「ひかり診療所前」 停留所新設「富田支所」「北柳川町」「栄町一丁目（往路）」「井尻」

## 令和

元年 6月	第19回スルッとKANSAIバスまつりへの参加（京都市左京区 平安神宮前岡崎公園） (市営バス開業65周年を記念して「高槻市営バスオリジナルトミカ」を先行販売)
7月	市バスでぶらりキャンペーンの継続実施
9月	65周年事業こども絵画ギャラリーバスに係る絵画選定
10月	定期券料金及びTsukicaの昼間割引改定
2年 7月	大雨による土砂崩れのため、翌8日から31日まで樫田線（三島の郷前以北）が運休
8月	市営バス公式Twitter（現X）を開設
12月	「ぽけバス」の販売開始
3年 3月	緑町滞留所の完成
4月	高齢者割引乗車券（通称：100円バス）の運用開始
5月	新型コロナワクチンの集団接種の送迎事業を開始（～7月31日まで）
6月	市バスでぶらりキャンペーンの制度を見直し、小中学生を対象におでかけバス「U-12」「U-15」を発売
10月	市内出身の声優「福山潤」さんが車内アナウンスを担当する「イケボバス」の運行開始
11月	Tsukicaの昼間割引適用時間帯を「10:00～15:30」から「9:30～16:00」に変更
4年 1月	高槻市観光協会が運営する「たかつき観光アプリ」内で、「高槻市営バス1dayスマート乗車券」の販売開始
3月	JR高槻駅南案内所改修工事が完了し、リニューアルオープン
	休憩所廃止「平安女学院大学東」
6月	PiTaPaの割引制度（利用額割引）の廃止
	昨年度に続き、おでかけバス「U-12」「U-15」を発売
	第22回スルッとKANSAIバスまつりへの参加（奈良市 平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」）
8月	高槻将棋ライナーお披露目会への参加（市制施行80周年記念事業）
10月	高槻やよいライナー及びたかつき観光アーティスト号の運行開始（市制施行80周年記念事業）

11月	かるがもバスの開始（乳児とその同伴者2名の運賃を1乗車につき全線100円とする特別運賃制度）
	こうのとりバスの利用期限を出産予定月から5箇月に変更
	たかつき産業フェスタ2022（安満遺跡公園）に参加
12月	滞留所廃止「JR高槻駅西滞留所」
	停留所新設「川西滞留所」
5年3月	前島・安満遺跡公園線（安満遺跡公園）の開業記念式典を開催
	市の観光大使（「高槻やよい」さん）を起用した記念乗車券の先行販売・高槻やよいライナーの車番を「841」に変更
6月	昨年度に続き、おでかけバス「U-12」「U-15」を発売
	第23回スルッとKANSAIバスまつりへの参加（神戸市 神戸市交通局西神車庫）
11月	市営バス開業70周年記念イベントの実施（安満遺跡公園） 市制施行80周年記念フェスタと同時開催
	（市営バス開業70周年を記念して「高槻市営バスオリジナルトミカ」を先行販売）
12月	梶原線の経路変更に伴い停留所新設「梶原中」

## ～市営バスの各指標について～

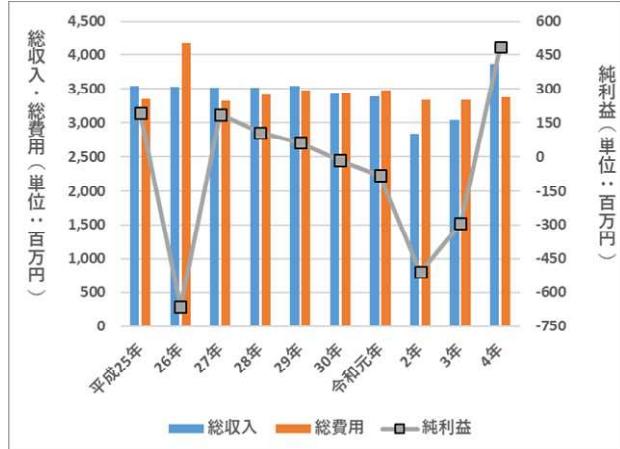


### ～輸送人員（乗合）の推移～

新型コロナウイルスの影響から輸送人員は大幅に減少したものの、令和4年度末時点では令和元年度対比約83%まで回復しました。

### ～走行キロ（乗合）の推移～

令和元年度後半からの新型コロナウイルスの影響による乗合人員の減少や、ODデータ（乗降データ）の分析結果などをふまえ、利用実態に即したダイヤの見直しを行いました。



### ～総収入・総費用・純利益の推移～

収支均衡の維持に努めてまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により収入が大幅に減少となりました。この影響をふまえ、様々な事業の見直しを実施しています。

### ～開業から10年毎の職員数と保有車両数の推移～

\*職員数は「正規職員数」、保有車両は「乗合車両数」

車両や職員数を増加することで、輸送人員の増加に対応しました。昭和49年度以降はバスのワンマン化などの業務の見直しを行い、適切な人員配置につとめました。

令和4年度末の主な指標	
収入総額	38億5, 952万4, 831円
支出総額	33億7, 510万5, 849円
当年度純利益	4億8, 441万8, 982円
繰越利益剰余金	27億9, 782万5, 298円
総走行キロ数	497万6, 977. 9Km
輸送人員	1, 642万6, 020人

\*総走行キロ数及び輸送人員は、乗合・貸切の合計値

## 2章 60周年以降の主なできごと



## 2-1 路線・系統・ダイヤ

【平成29年4月1日】下田部団地経由、玉川橋団地系統の一部経路を変更し、竹の内・番田方面への運行を開始しました。新設したバス停は「北大樋町」「南大樋町」「竹の内小学校前」「番田」「鷺打橋」「唐崎(復路)」「西切」となります。

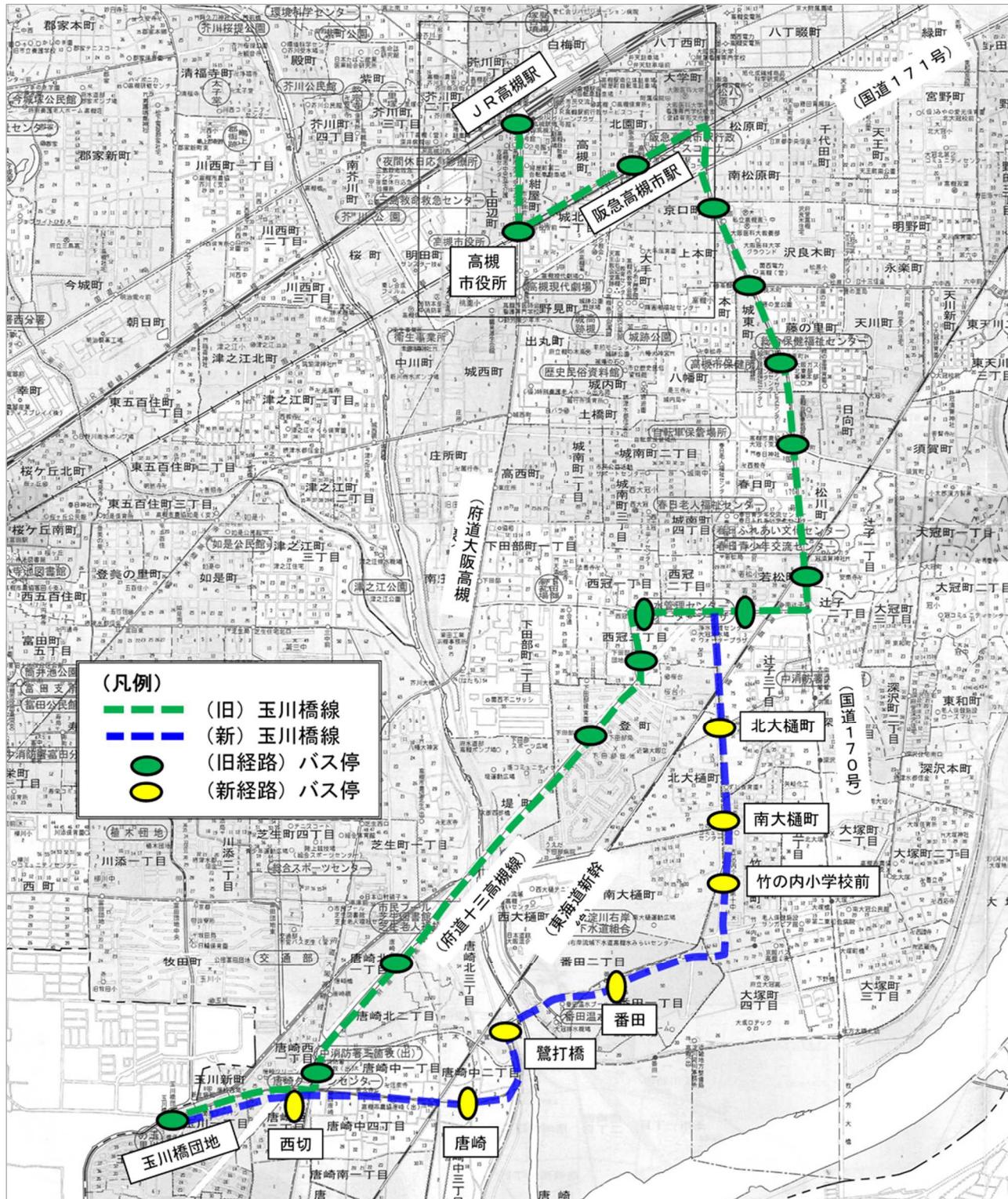
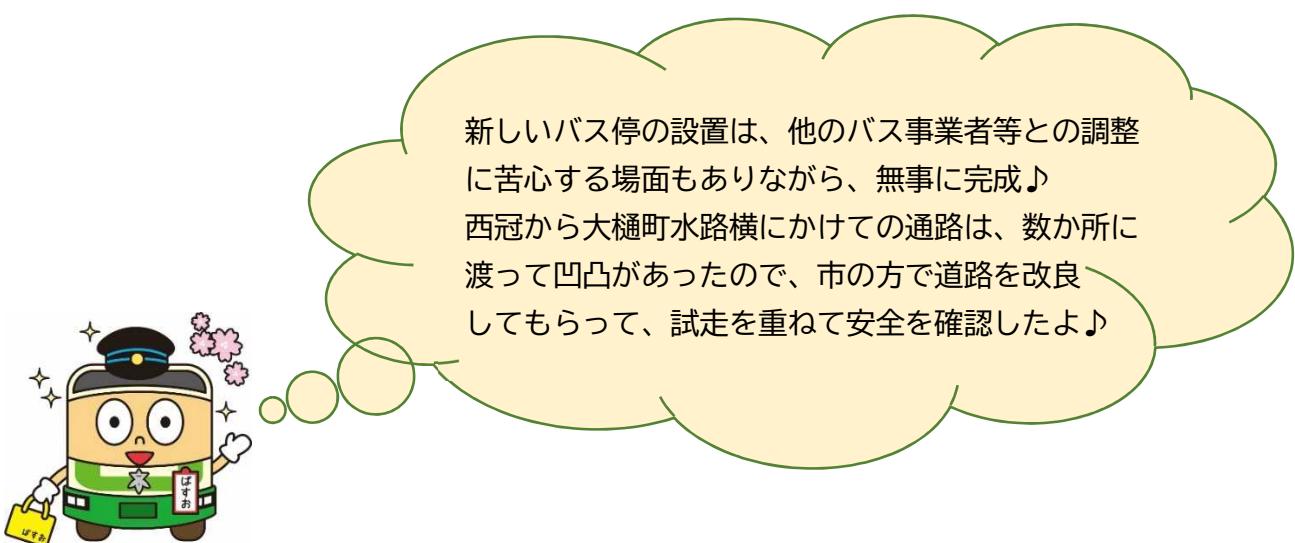


図 2-1-1 玉川橋線 運行経路変更図



図 2-1-2 玉川橋線 新設バス停写真



【平成 29 年 4 月 1 日】平安女学院大学からの要望を踏まえ、南平台東線の「西之川原橋」と「上奈佐原」バス停間に、新たに「平安女学院大学」バス停を設置しました。



図 2-1-3 平安女学院大学バス停

「平安女学院東」バス停から平安女学院大学まで、結構な距離があるので、安全な通学に配慮してこのバス停が設置されたんだよ♪



【平成 31 年 4 月 1 日】ご利用が極端に少なく、市営バス全 24 路線の中で最も営業係数が厳しかった、昭和台線の運行を休止しました。休止したバス停は「西の町」「西垣内」「昭和台 1 丁目」「昭和台 2 丁目」「富田校前」「ひかり診療所前」となります。



図 2-1-4 昭和台線 休止バス停

昭和台線の「西垣内(にしがいち)～西の町」は、市営バスの中でも1、2を争う距離が短いバス停だったんだ♪また、平成の初期までは、阪急富田踏切を横断するためにJR富田駅～踏切の間、添乗員を乗せていたんだ♪平成18年以前は中型車両で運行、それ以降は小型車両で運行していたよ♪



【平成31年4月1日】昭和台線の運行休止に合わせて、新たに供用を開始した（市道）富田芝生線を通る富田芝生線の運行を開始しました。

新たに設置したバス停は「富田支所」「北柳川町」「栄町一丁目（往路のみ）」となります。

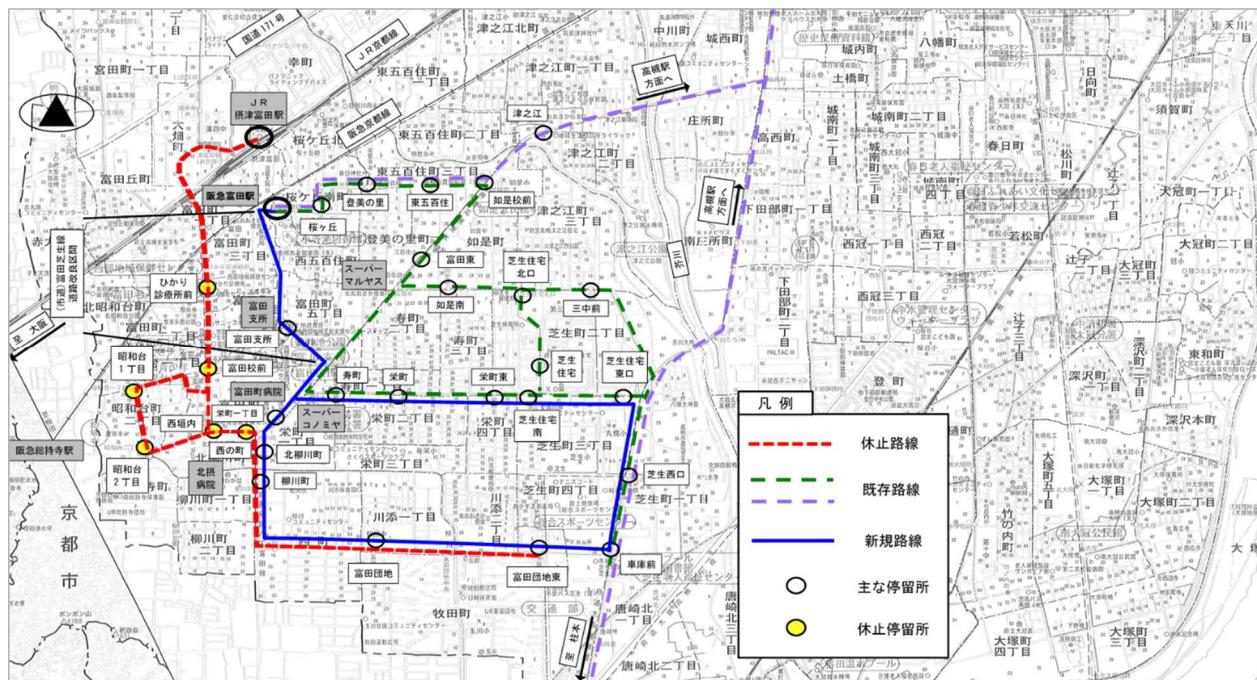


図2-1-5 昭和台線・富田芝生線運行経路図

富田芝生線の「栄町一丁目」バス停は、道路や沿線利用など様々な事情から「往路のみ」となっているよ♪

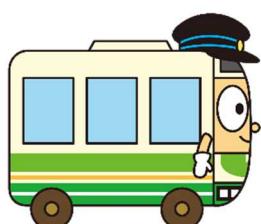




図 2-1-6 富田芝生線 新設バス停



富田芝生線の「富田支所」バス停は、道路の完成に合わせてバスベイが設けられていたけど、ようやく活躍することができたよ♪  
 ※バスベイとは・・・歩道に切れ込みを入れたような形で設けられる、バスが停車するためのスペースのこと

【平成31年4月1日】道鶴線の「梶原南」と「道鶴町北口」バス停間に、新たに「井尻」バス停を設置しました。



図 2-1-7 井尻バス停

【令和3年4月1日】土曜日ダイヤと日祝日ダイヤを同一ダイヤに変更しました。

【令和5年4月1日】前島・六中線のうち、前島系統の一部経路を変更し、安満遺跡公園方面への運行を開始しました。新設したバス停は「高垣町」「安満遺跡公園東」「安満遺跡公園（子ども未来館）」となります。

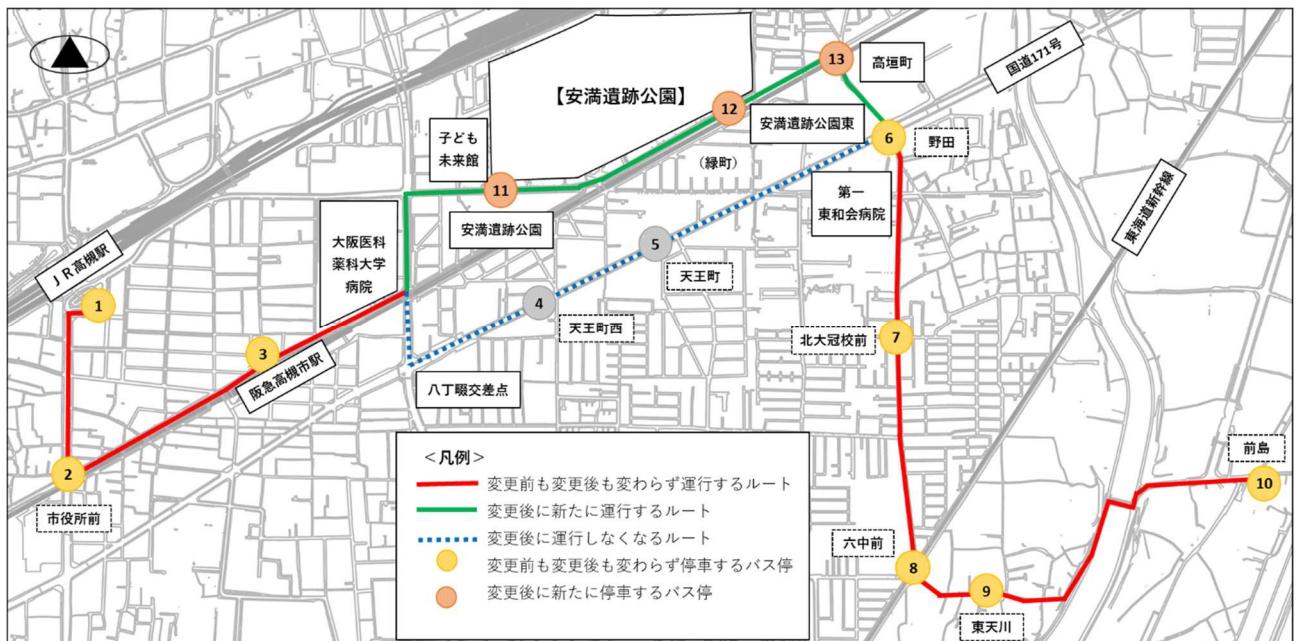


図 2-1-8 前島・安満遺跡公園線 運行経路変更図

前島・六中線は平成10年以前は大型車両で運行、それ以降は中型車両で運行しているよ♪  
平成14年頃までは、「東天川」バス停～「前島」バス停の間、添乗員を乗せていたんだ♪





図 2-1-9 前島・安満遺跡公園線 新設バス停

【令和5年12月1日】NEXCO西日本による新名神高速道路建設に伴い、（府道）西国街道の一部区間が通行止めとなることを踏まえ、梶原線の萩之庄バス停から梶原東バス停間の運行経路を西国街道から（府道）西京高槻バイパスを通るルートに変更しました。運行経路の変更に伴って移設したバス停は「梶原西」「梶原」「梶原東」で、「梶原西」と「梶原」バス停間に「梶原中」バス停を新設しました。

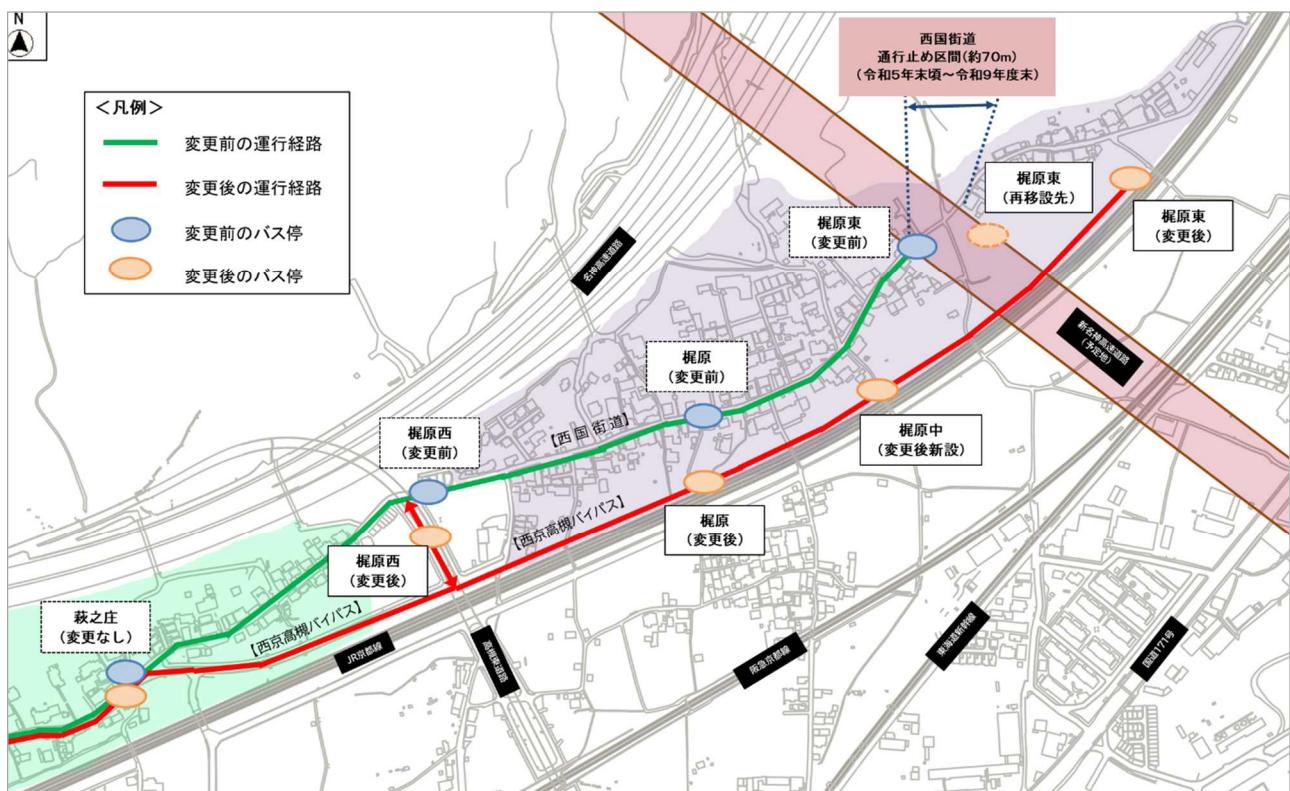


図 2-1-10 梶原線 運行経路変更図



図 2-1-11 梶原線（旧バス停）



図 2-1-12 梶原線（新設バス停）

## 2-2 路線図

10年前の【平成26年4月1日】時点の路線図は「図2-2-1」のとおりであり、【平成25年4月1日】に道鵜線を延長する形で新たな系統とした上牧線が反映されたものとなっています。

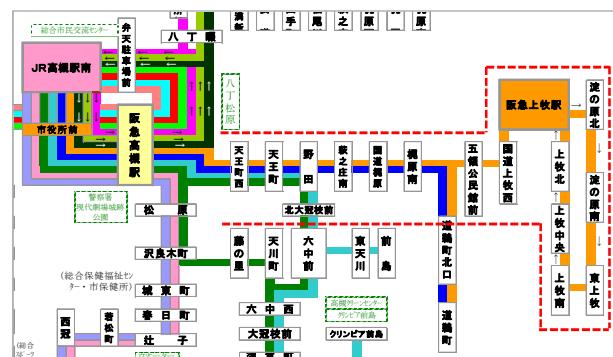


図2-2-2 道鵜線・上牧線詳細図

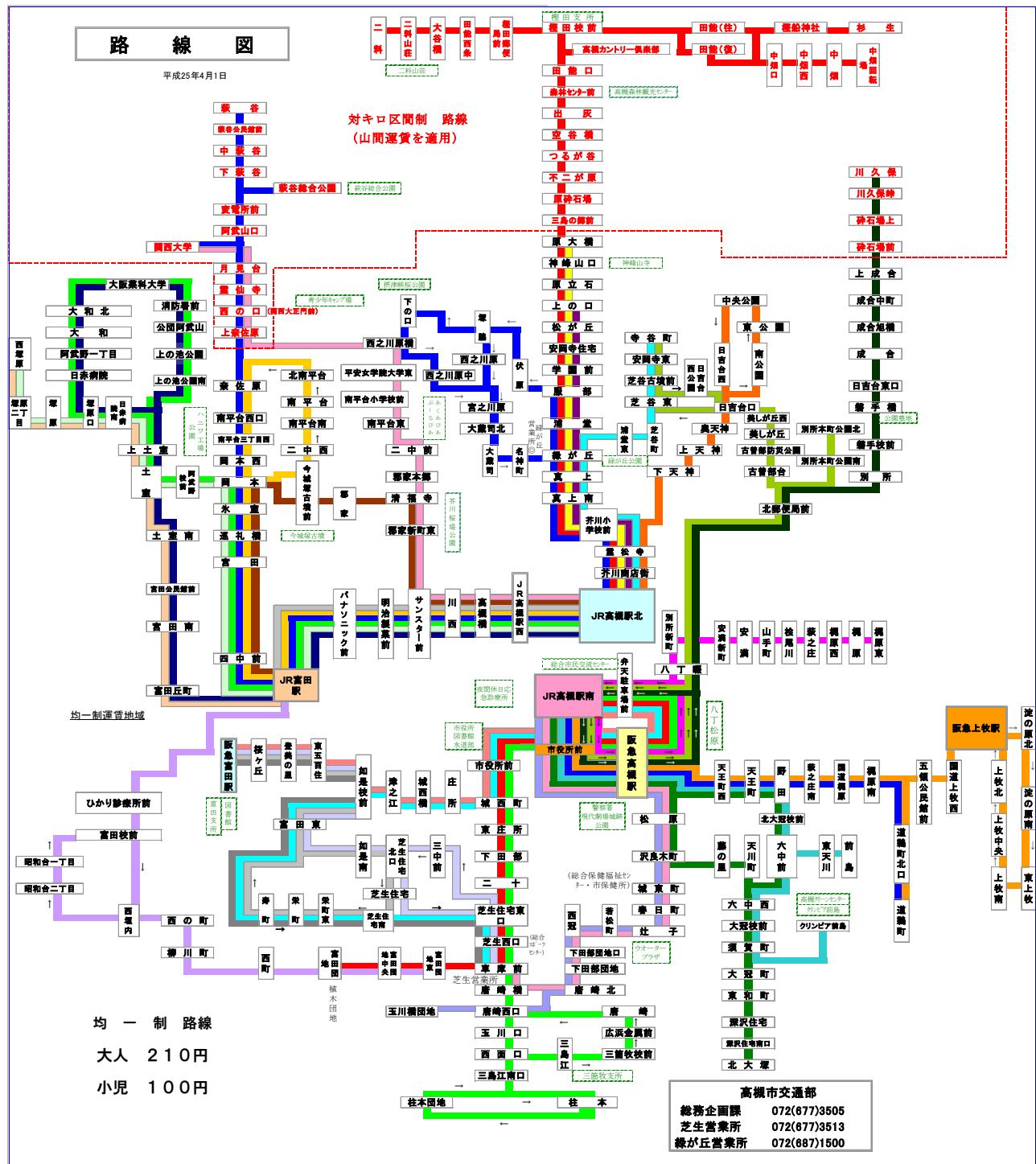


図2-2-1 平成26年4月1日時点の路線図

【平成 28 年 4 月 1 日】時点の路線図では、田能線の「高槻カントリー倶楽部」バス停廃止を反映しました。

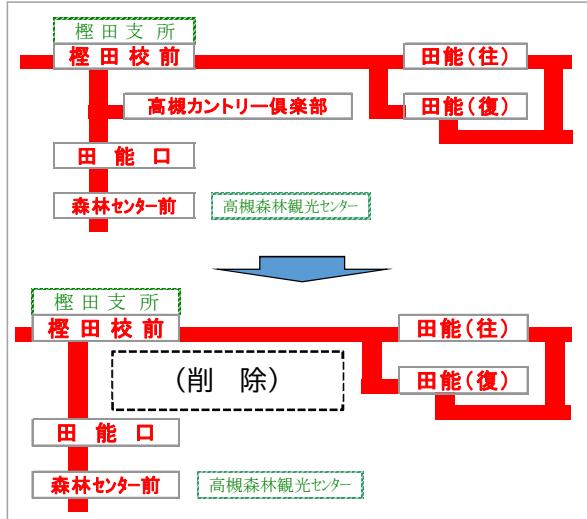


図 2-2-3 平成 28 年 4 月 1 日時点の改定箇所

【平成 29 年 4 月 1 日】時点の路線図では、「玉川橋線」の一部経路を変更し、竹の内・番田方面への運行開始を反映しました。

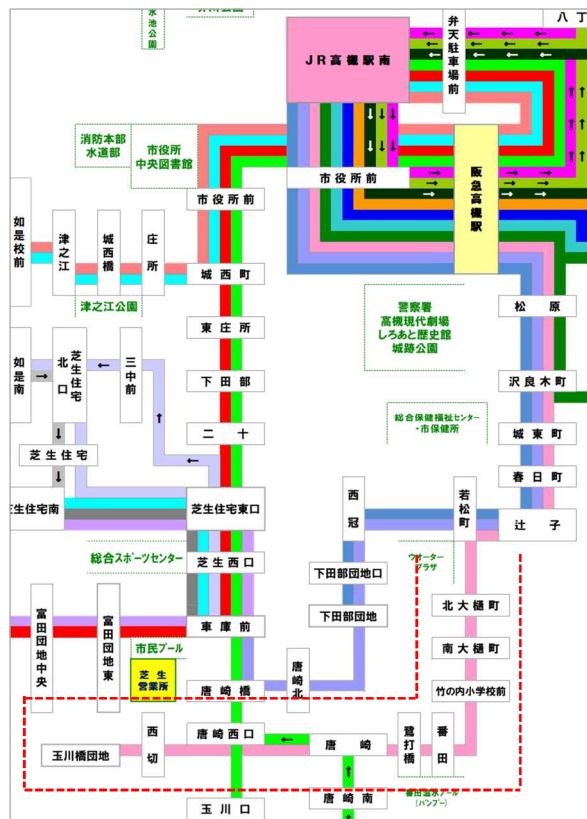


図 2-2-4 平成 29 年 4 月 1 日時点の改定箇所

【平成 31 年 4 月 1 日】時点の路線図では、「富田芝生線」の運行開始及び「昭和台線」の休止を反映しました。

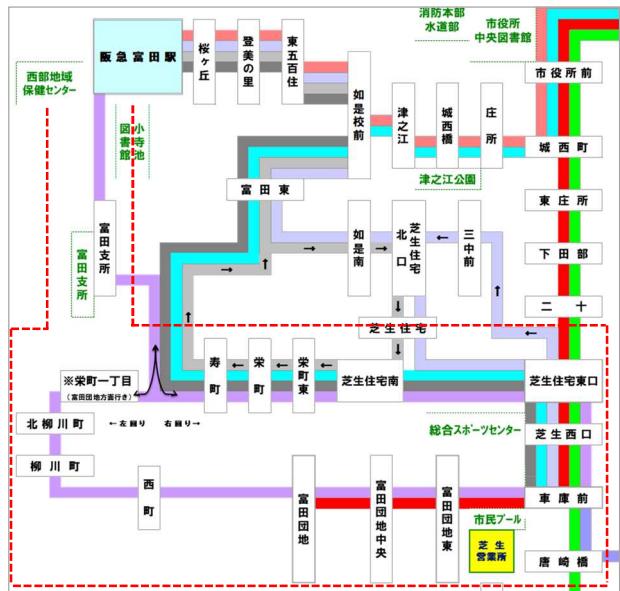


図 2-2-5 富田芝生線詳細図

「富田芝生線」の運行開始と昭和台線の休止は、路線図の修正が大変だったよ♪

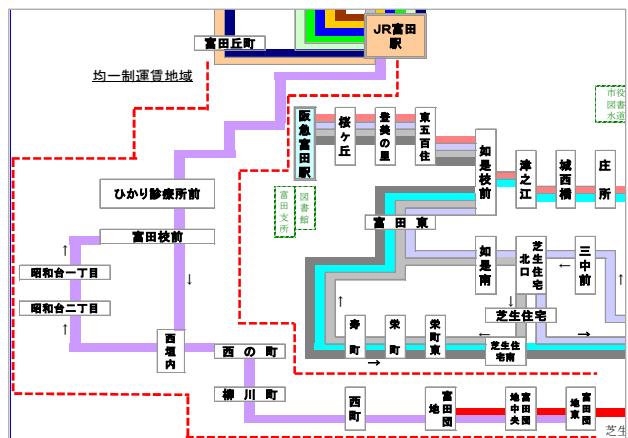
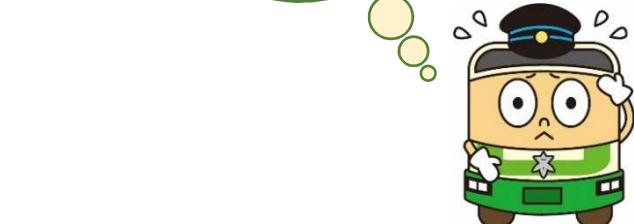


図 2-2-6 昭和台線詳細図

【令和4年12月1日】時点の路線図では、「川西滞留所」を開設し、同敷地内に新たなバス停を設置したことを反映しました。

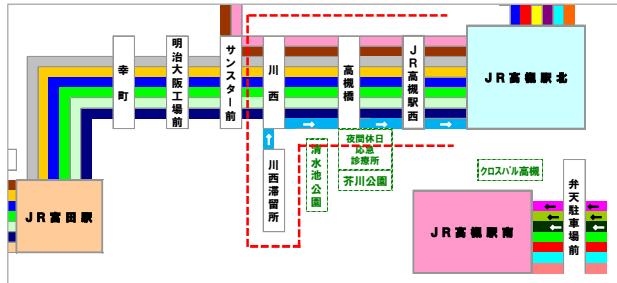


図 2-2-7 川西滞留所詳細図

【令和5年12月1日】時点の路線図では、「梶原線」の一部経路を変更し、「梶原中」バス停を新設したことを反映しました。

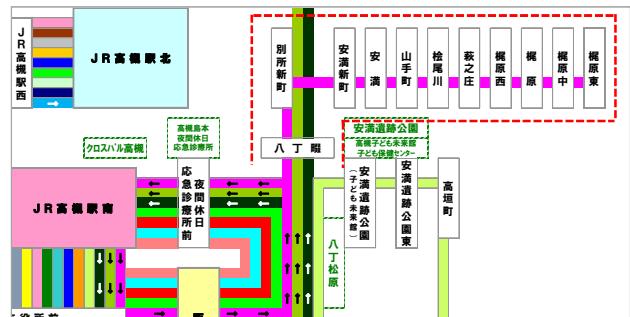


図 2-2-9 梶原線詳細図

【令和5年4月1日】時点の路線図では、「前島線」の一部経路を変更し、安満遺跡公園方面への運行を開始したことを反映しました。

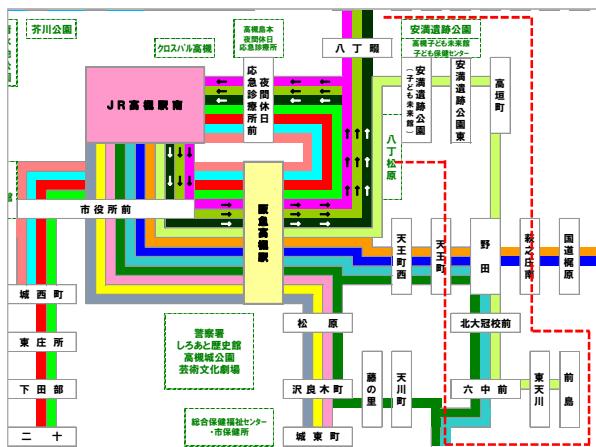


図 2-2-8 前島・安満遺跡公園線詳細図

「梶原線」の運行経路変更に伴う路線図の修正は、どこを変更したのかが分かりづらいよね♪



【令和6年2月25日】時点の路線図は「図2-2-10」とおりとなっています。

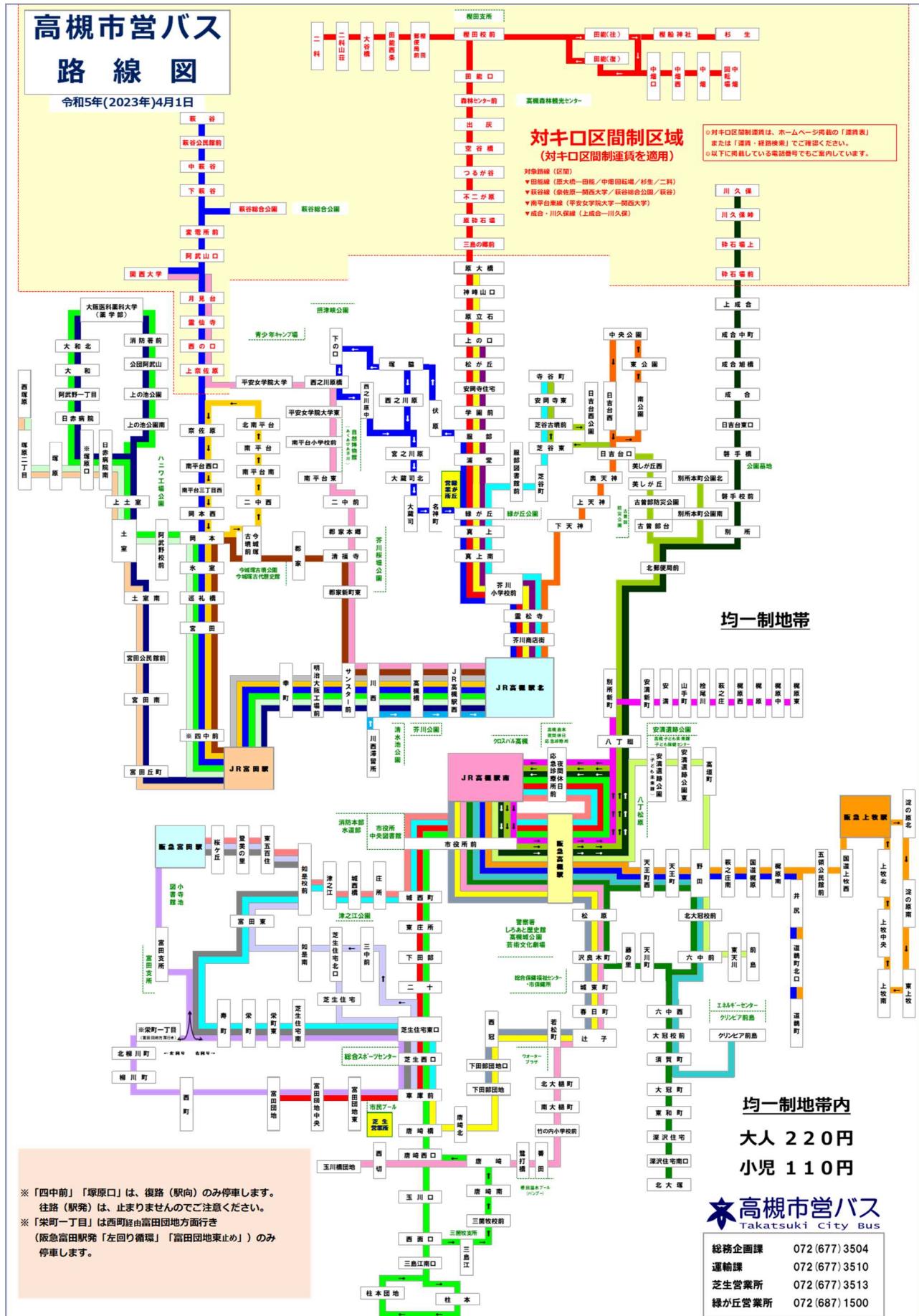


図2-2-10 令和6年2月25日時点の路線図

## 2-3 案内所・滞留所・バス停上屋等

バス停標識柱について、既存標識柱の老朽化等を踏まえ、平成28年度～平成29年度にかけて、新たなデザインの標識柱に更新しました。



図2-3-1 既存標識柱の事例



図2-3-2 新型標識柱デザイン①



図2-3-3 新型標識柱デザイン②

【令和3年4月1日】高槻島本夜間休日応急診療所の建設に係る、弁天駐車場バス滞留所の一部機能縮小に伴い、「緑町滞留所」を開設しました。



図2-3-4 緑町滞留所

【令和4年3月14日】開設から約40年が経過し、老朽化に伴う美観性やお客様の利便性改善が課題となっていた「市営バスJR高槻駅南案内所」をリニューアルオープンしました。また、同案内所及び「JR摂津富田駅案内所」に防犯カメラを設置しました。



図2-3-5 JR高槻駅南案内所

「JR高槻駅南案内所」は、市の玄関口でもあり、ポップなデザインにしたよ♪



【令和4年4月1日】（市）都市創造部で整備された「JR 摂津富田駅北側バスターミナル」の拡充に合わせ、乗務員の運行を効率化するため、「JR 摂津富田駅北休憩所」を設置しました。



図 2-3-6 JR 摂津富田駅北休憩所

「川西滞留所」の設置検討段階で、住民の方（特に国道より南側にお住まい）からのご要望もあって、「川西滞留所」バス停が設置されたよ♪



【令和4年12月1日】（公益社団法人）日本将棋連盟による関西将棋会館の高槻市への移転に伴い、「JR 高槻駅西滞留所」を廃止し、「川西滞留所」の運用を開始しました。合わせて、国道線に「川西滞留所」バス停を設置しました。



図 2-3-7 川西滞留所



図 2-3-8 JR 高槻駅西滞留所

宝くじの助成金によるモデル・バス停留所施設設置事業として、平成 30 年度は「明治大阪工場前（復路）」、令和元年度は「成合（復路）」、令和 2 年度は「服部図書館前（復路）」、令和 3 年度は「二十（復路）」、令和 4 年度は「岡本（復路）」、令和 5 年度は「日赤病院（往路）」に上屋を設置しました。

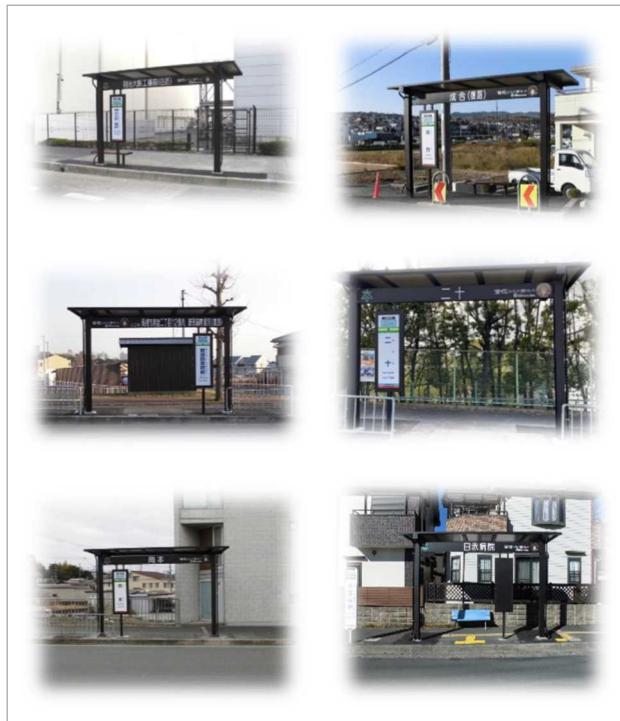
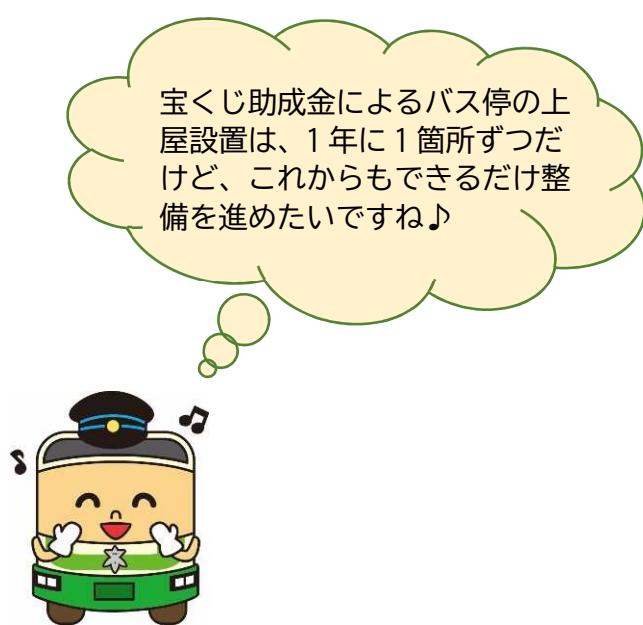


図 2-3-9 宝くじ助成金によるバス停上屋設置



## 2-4 乗車券（ICカードを含む）・割引乗車制度

平成20年4月1日に運用を開始したスルッとKANSAIのPiTaPaシステムによるICカード（PiTaPa、ICOCA）に加え、平成27年4月17日から、その他全国で利用されている主要な交通系ICカード8種（Kitaca、PASMO、Suica、manaca、TOICA、はやかけん、nimoca、SUGOCA）の運用（相互利用）を開始しました。



図2-4-1 全国交通系 ICカード

【平成30年4月1日】市の健康福祉部と連携し、高齢者及び障がい者福祉乗車券をICカード化しました。合わせて、詳細なODデータの取得等を目的として、利用可能なICカード全てを対象に、乗降方式を「2タッチ方式」に変更しました。



図2-4-2 ICカード化された福祉乗車券



図2-4-3 ICカードの2タッチ方式



【平成 30 年 10 月 1 日】市の子ども未来部と連携し、市内在住の妊婦とその同伴者 1 名までの運賃を 1 乗車につき全線 100 円とする「妊婦特別運賃制度（こうのとりバス）」の運用を開始しました。



図 2-4-4 こうのとりバス

【令和 3 年 4 月 1 日】高齢者福祉乗車券の適用年齢をそれまでの 70 歳以上から 75 歳以上に、段階的に引き上げました。合わせて、市営バス全線 1 乗車につき 100 円で利用できる「高齢者割引乗車制度（100 円バス）」の運用を開始しました。



図 2-4-6 高齢者割引乗車券

【平成 30 年 10 月 1 日】乗車券類の IC カード化推進の一環として、これまで運用していた紙の回数券及び磁気カードに換えて、市営バス専用 IC カードとして「Tsukica」の運用を開始しました。



図 2-4-5 Tsukica カード

【令和 3 年 6 月 1 日】小・中学生を対象に、夏・冬・春の長期休暇期間中、市営バスが全線乗り放題となる「おでかけバス」の販売及び運用を開始しました（小学生用：U-12、1,500 円）（中学生用：U-15、3,000 円）。令和 4 年度から、冬休み前に価格を 1/3 に値下げして販売しました。



図 2-4-7 おでかけバス (U-12、U-15)

【令和4年1月20日】市の観光協会と連携し、スマートフォン等で購入及び利用が可能となる「1dayスマート乗車券」の販売及び運用を開始しました。



図 2-4-8 1day スマート乗車券

【令和4年11月1日】平成30年10月1日に運用を開始した「こうのとりバス」に引き続き、市内在住の乳児とその同伴者2名までの運賃を1乗車につき全線100円とする「乳児保護者等特別運賃制度（かるがもバス）」の運用を開始しました。



図 2-4-9 かるがもバス

【令和5年3月25日】市の観光大使である高槻やよいさんをメインキャラクターとする「安満遺跡公園運行開始記念乗車券」の販売を開始しました。



図 2-4-10 安満遺跡公園運行開始記念乗車券

高槻やよいさんの記念乗車券は、市営バスでは初めての本格的な記念乗車券になったよ♪



## 2-5 システム関係

【平成 27 年 3 月 27 日】JR 高槻駅（南北）及び阪急高槻市駅に、バスの発車時刻を案内する「モニター（デジタルサイネージ）」を設置しました。



図 2-5-1 バス発車時刻案内板

【平成 29 年 4 月 1 日】バス車内前方に大型で見やすい「カラー液晶モニター」を設置しました。合わせて、駅ターミナル等の始発バス停では、バス車外の行先表示器に「発車時刻」を表示するようにしました。



図 2-5-3 バス車内カラー液晶モニター

【平成 29 年 4 月 1 日】市営バス利用者への新たな情報提供サービスとして、バスの現在位置や到着予定等がスマートフォンや携帯電話、パソコンで簡単に検索できる「バスロケーションシステム」の運用を開始しました。



図 2-5-2 バスロケーションシステム



図 2-5-4 バス車外行先表示器

【平成30年5月23日】レジスター連動型の「タッチパネル式窓口端末」の稼働を開始しました。



図2-5-5 タッチパネル式窓口端末

【平成30年10月1日】新たな「収入管理システム」の稼働を開始しました。

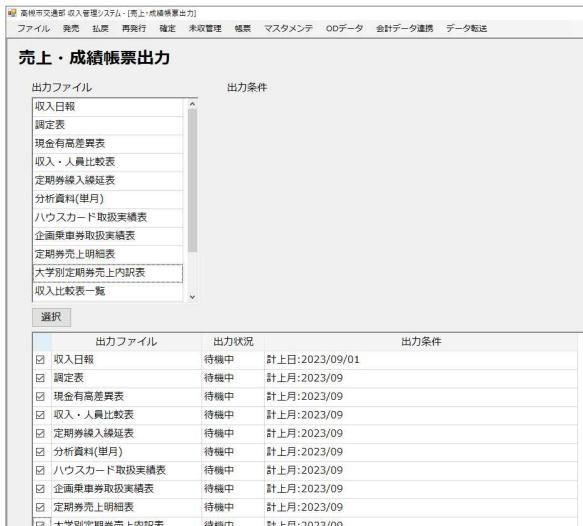


図2-5-6 収入管理システム

【平成31年1月8日】それまで市のホームページの一部として運用していたお客様への情報提供について、「市営バス専用の独立したホームページ」の運用を開始しました。

市営バスホームページの閲覧回数の累計は、令和5年12月末時点で「約12,600,000」ビューとなっているよ♪

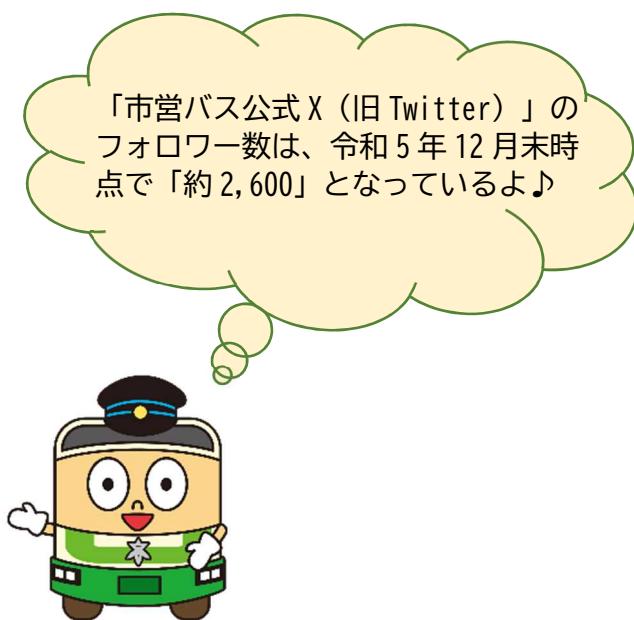


図2-5-7 市営バス専用ホームページ

【令和2年8月27日】市営バス専用ホームページと連携する形で、「市営バス公式X（旧Twitter）」の運用を開始しました。



図2-5-8 市営バス公式X（旧Twitter）



## 2-6 その他

【平成 27 年 3 月 31 日】「上の口」「塚脇」「神峰山口」バス停に、周辺の歴史、文化、自然、レジャー施設等の観光スポットを記した案内板を設置しました。



図 2-6-1 観光案内板

【平成 27 年 4 月 1 日】広告収入増加の一環として、「バス停ネーミングライツ制度」の運用を開始しました。令和 5 年 4 月 1 日現在のネーミングライツ制度導入バス停は計 10 箇所となっています。



図 2-6-2 ネーミングライツ制度導入バス停事例①



図 2-6-3 ネーミングライツ制度導入バス停事例②

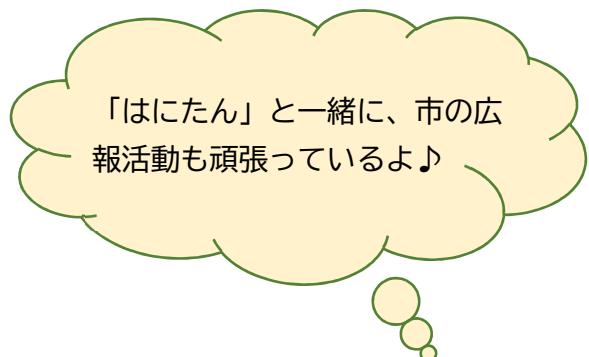
「ネーミングライツ」とは・・・バス停の副停名に企業名や施設名を付与する権利のことだよ♪  
ネーミングライツ制度を導入しているバス停を探してみてね♪



【平成 27 年 9 月 14 日】市営バスのマスコットキャラクター名を公募し、「たかつきばすお」に決定しました。



図 2-6-4 市営バスマスコットキャラクター



【平成 28 年 3 月 17 日】計 10 回開催した高槻市自動車運送事業審議会でとりまとめられた答申書を踏まえ、「高槻市営バス経営計画」を策定しました。



図 2-6-5 高槻市営バス経営計画

【平成 28 年 11 月 30 日】JR 高槻駅の南北デッキ上に、「バス乗り場等の案内板」を設置しました。



図 2-6-6 JR 高槻駅南北 乗り場等案内板

【平成 28 年 11 月 30 日】JR 高槻駅南広場再整備工事に伴い、「バス乗り場の時刻表案内板」を更新しました。



図 2-6-7 JR 高槻駅南 乗り場時刻表案内板



【令和元年 6 月 16 日】市営バス開業 65 周年を記念し、「高槻市営バスオリジナルトミカ」を販売しました。また令和 5 年 11 月 11 日、開業 70 周年を記念し、「高槻市営バスオリジナルトミカ」を販売しました。



図 2-6-8 市営バスオリジナルトミカ

【令和元年 9 月 19 日】市営バス開業 65 周年を記念し、「子ども絵画ギャラリーバス」を制作しました。



図 2-6-9 子ども絵画ギャラリーバス

【令和3年2月26日】市の子ども未来部と連携し、子ども達に寄り添ったデザインをあしらった車両の寄贈を踏まえ、「ステーション保育事業」を開始しました。



図2-6-10 ステーション保育事業車両



【令和3年12月】計8回開催した自動車運送事業審議会でとりまとめられた答申書を踏まえ、「高槻市営バス経営戦略」を策定しました。

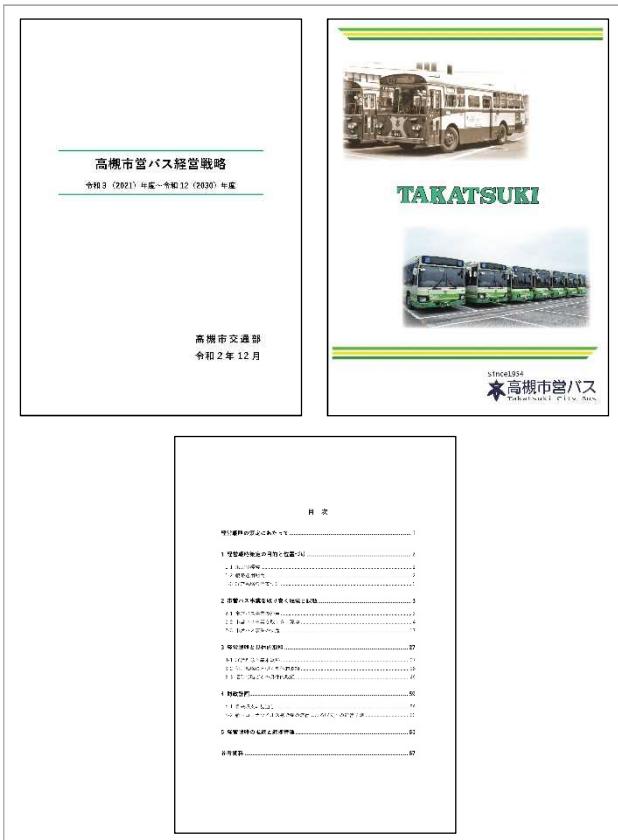


図2-6-11 高槻市営バス経営戦略

## 3章 70周年記念事業



### 3-1 記念事業の全体概要

市営バスは「動く市道」として昭和29年2月に事業を開始し、令和6年2月25日で開業70周年を迎えました。これを記念して、お客様や市民とともに70周年をお祝いするというコンセプトを踏まえ、様々な記念イベント等を計画実施しました。

- ① 記念トミカ（ミニカー）
- ② 記念ラッピングバス
- ③ 記念フロントマスク・ステッカー
- ④ 記念切手
- ⑤ 記念誌
- ⑥ 記念イベント
- ⑦ 写真・絵画公募

### 3-2 各記念イベントの概要

#### ① 記念トミカ（ミニカー）

- ・65周年で発売し好評を得た、タカラトミーのミニカー「トミカ」を、車種を変更して製作しました。
- ・後述の「⑥記念イベント」で先行販売し、開業日の2月25日から、市営バスJR高槻南案内所で一般販売を開始しました。



図3-2-1 トミカ（いすゞエルガ）

## ② 記念ラッピングバス

- ・市民やバス利用者、特に子どもたちに市営バスに親しみを持っていただけるようなデザインのラッピングバスを制作。車体外装のラッピング（両側面+後面）に加え、車内内装においても座席カバーやつり革部分など各所に同じコンセプトによる装飾を施しました。
- ・これまで、高槻市営バスのマスコットキャラクター「たかつき ばすお」をモチーフにしたラッピングバスは存在しておらず、高槻市マスコットキャラクター「はにたん」とコラボレーションした待望のデザインとなっています。
- ・芝生営業所及び緑が丘営業所に各1台（計2台）配置し、後述の「⑥記念イベント」でお披露目後、同日から市内各路線で一般路線バスとして運行を開始し、高槻市内で愛嬌を振り撒いています。



図3-2-2 ラッピングバス「たかつき ばすお号」

### ③ 記念フロントマスク・ステッカー

- ・バスの前面に掲示するフロントマスク及び車体に掲出するステッカーを製作しました。
- ・市営バス開業70周年を市民等に視覚的に訴求するため、フロントマスクは路線バス全車両の前面に設置し、令和5年11月から順次運行を開始しました。
- ・ステッカーも路線バス全車両に掲出し、乗車口付近のお客様が目にしやすい箇所に掲出しました。
- ・車体掲出用のステッカーと別に、お客様に配布する「たかつき ばすお」をモチーフにしたステッカーも製作、イベント等で配布しました。



図3-2-3 記念フロントマスク



図3-2-4 記念ステッカー（車両掲出用）



図3-2-5 記念ステッカー（イベント配布用）

#### ④ 記念切手

- 本市と日本郵便株式会社との包括連携協定を踏まえ、市営バスオリジナルバージョンのフレーム切手を企画しました。高槻市営バスがモチーフになった切手シートの発売は市営バス70年の歴史で初めての事例となっています。
- 「②記念ラッピングバス」のコンセプトと同様、市営バスに親しみを持ってもらえるようなデザインとし、市営バスのマスコットキャラクター「たかつき ばすお」と市のマスコットキャラクター「はにたん」がコラボレーション。春夏秋冬の季節感が感じられる「ばすお」のイラストを中心に構成されたシールタイプの切手が高槻市内に郵便局の協力を得て制作しました。
- 販売は市営バス開業70周年記念日翌日の2月26日から、高槻市内の郵便局（一部、島本町内を含む）や郵便局のネットショップで開始されました。



図 3-2-6 オリジナル フレーム切手（日本郵便）

## ⑤ 記念誌（※本誌）

- ・開業から約 10 年ごとに制作している記念誌の 70 周年版を制作しました（本誌）。
- ・前回の記念誌（平成 26 年 1 月発行）の後に発生した事項を中心に記載することを編集方針の基本としました。



図 3-2-7 記念誌「市営バス 70 年のあゆみ」

## ⑥ 記念イベント

- ・令和5年11月11日（土）に安満遺跡公園で開催された「市制施行80周年記念フェスタ」（市主催）と連携し、「市営バス開業70周年記念イベント」を実施しました。
- ・記念イベントでは、先述の「②ラッピングバス（愛称：たかつき ばすお号）」を初お披露目すると同時に車内を一般公開しました。
- ・同時に高槻市制80周年を記念し、車体に「市制施行80周年記念ロゴ」を施してデザインされたラッピングバスである「高槻将棋ライナー」及び「高槻やよいライナー」並びに「たかつき観光大使アーティスト号」の3両も一堂に会し、合計4両のラッピングバスが祝典に華を添えました。
- ・会場内の市営バスブースでは、市営バス70周年を記念して制作した市営バスグッズ「①トミカ（ミニカー）」の先行販売を行いました。
- ・別途、お子様向けのブース「まちがいさがし」コーナーを設置、缶バッジなどオリジナルグッズのプレゼントもを行い、人気を博しました。
- ・【参考】「市制施行80周年記念フェスタ」来場者数：約13,000人

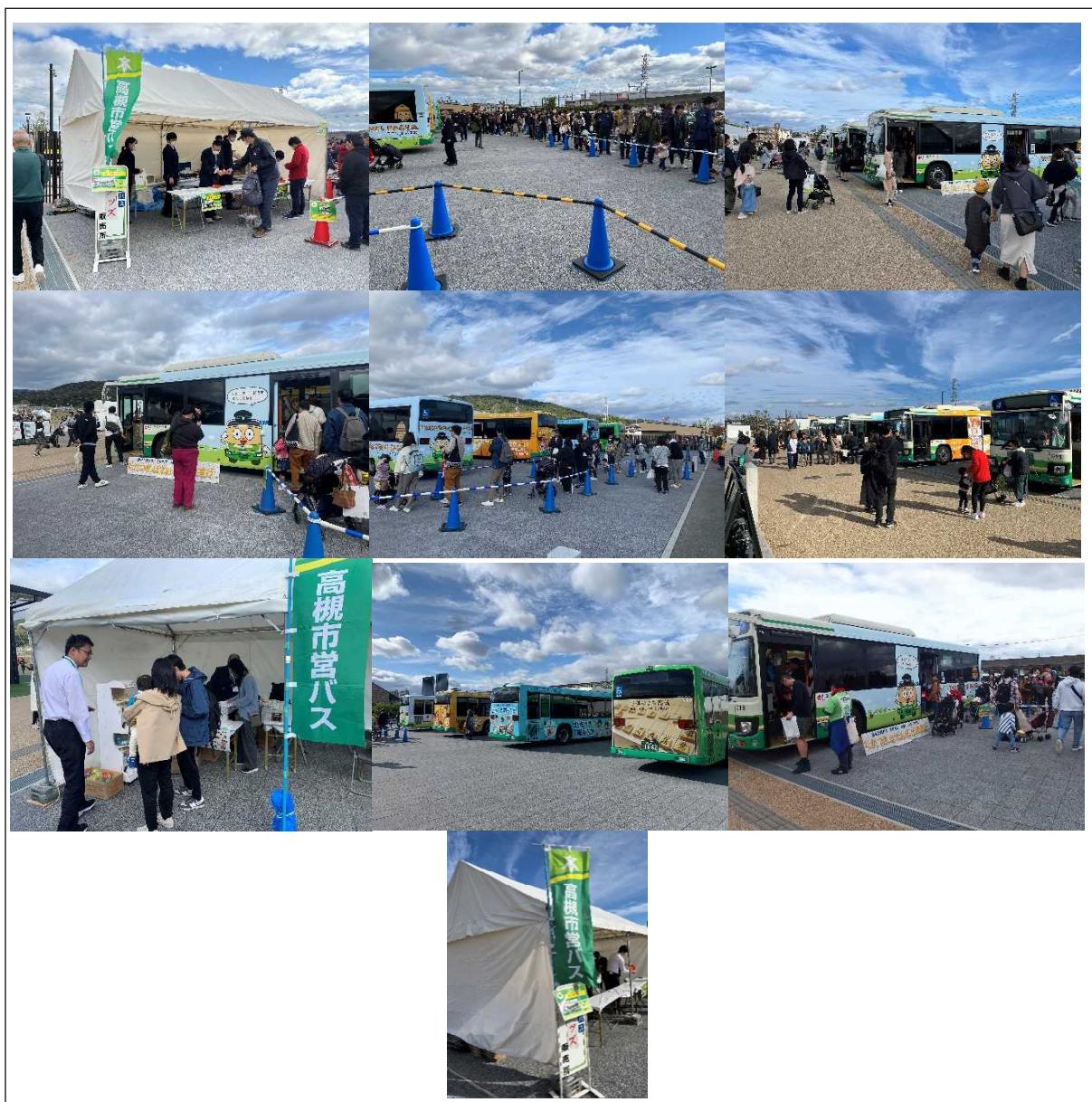


図 3-2-8 市営バス開業70周年記念イベント（市制施行80周年記念フェスタ）

## ⑦ 写真・絵画公募

- ・開業 70 周年を記念し市営バスをお客様の視点で自由に表現していただこうと、高槻市営バスを被写体とした「写真」と「絵画」を公募しました。
- ・年齢制限は設けず、お子さまから高齢者まで幅広い世代のお客さまからご応募いただきました。
- ・応募いただいた作品は、市営バス 70 周年記念で誕生したラッピングバス「たかつき ばすお号」車内のポスター枠で展示し、「走るギャラリー」として市営バス 70 周年イヤーを彩っています。



図 3-2-9 写真・絵画募集（ポスター・応募用紙）



「snow day」  
巴士藤



「駅前の夕暮れ帰宅の人を待つバス」  
hime



「夕暮れ。駅前で帰宅を待つバス」  
hime



「平日 2 便 48 分発」  
芥カワセミ

写真・絵画応募作品(2/10)



「緑に囲まれた岡本停留所」

田上 太一



「私のお気に入りの一枚」

元榮 大地



「墓参の思い出をのせて山を下る」

しばみどり

写真・絵画応募作品(3/10)



「懐かしの市営バスカラーのエルガ」  
坂本友紀



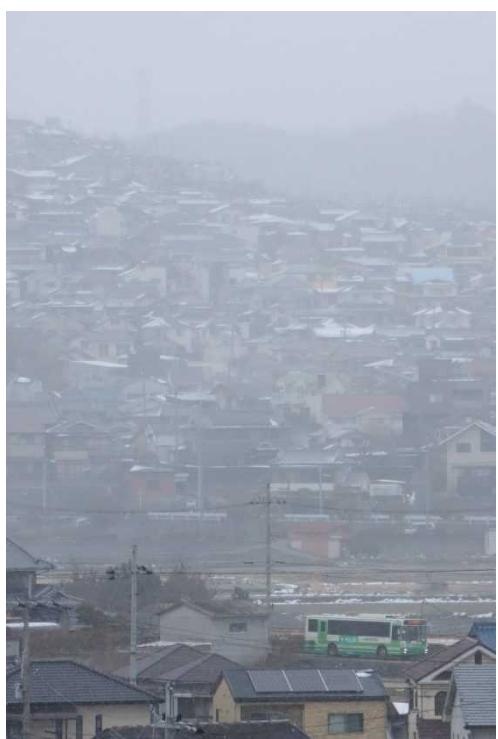
夜の JR 高槻駅北口  
池田 信道



「2023 年の年末」  
ハッピー



「雪化粧の高槻市営バス」 1/3  
かものはし



「雪化粧の高槻市営バス」 2/3  
かものはし



「雪化粧の高槻市営バス」 3/3  
かものはし



「寒い朝」  
日乃出ばすお

「夕暮れ時」  
日乃出ばすお



「バックオーライ」  
日乃出ばすお



「魅惑の変身」  
日乃出ばすお

写真・絵画応募作品(6/10)

「新緑の中走る高槻市営バス」  
松久 直樹

「市バスは便利」  
湊玄 惺

「70周年感謝ポスター」  
Nabenko Mansaku



「ハッピーレインボーwithばすおくん」

高槻市立高槻認定こども園分室



「夢の5階建てバス」

福井 恒太朗



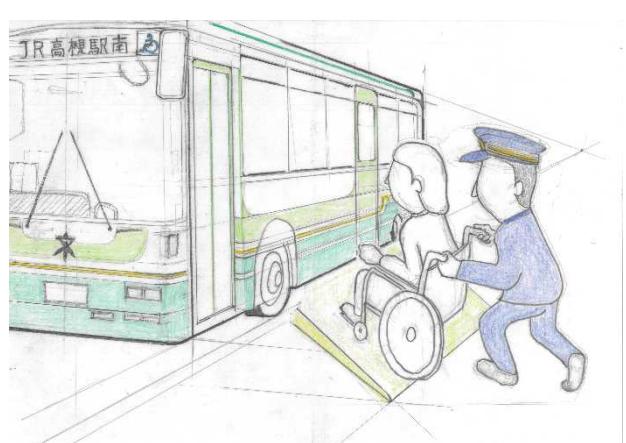
「たかつきのあおいそらとバス」

ちはる



「たかつきしバス」

あむ



「市バスと車イス」

湊玄 惺

写真・絵画応募作品(8/10)



写真・絵画応募作品(9/10)



「白馬がいわっている高槻市営バス」  
もっちゃん



「にじのバス」  
れい



「爽快に走る市バス」  
八木 昭大



「道路をはしって走る高槻市営バス」  
松田 日和



「森の中を走るバス」  
松田 蓮二郎



「ひこうきバス」  
ほのか

写真・絵画応募作品(10/10)



「(パウパトロール)スカイのそらとぶバス」  
あやね



「虹を渡るバス」  
雄心



「空を飛ぶバス」  
真源



「お城に行くバス」  
祈恵



「将棋バス」  
宮崎 悠史



「Takatsuki Citybus」  
乗り物イラストレーター井上広大

※敬称略・順不同

## 4章 資料編



#### 4-1 運賃改定の変遷

市内特定地域		実施年月日	対キロ区間制	
特殊区間制	均一区間制		基準運賃	最低運賃
—	—	昭和29年2月25日	3円00銭	10円
—	—	昭和37年6月1日	4円00銭	10円
—	—	昭和40年8月20日	5円20銭	15円
1区 25円 2区 40円 3区 60円	—	昭和44年6月12日	6円50銭	20円
1区 40円 2区 50円 3区 50円 以後10円加算	—	昭和47年11月20日	8円50銭	30円
—	50円	昭和49年4月5日	8円50銭	30円
—	70円	昭和50年9月1日	11円90銭	40円
—	90円	昭和51年11月17日	15円30銭	60円
—	100円	昭和53年9月1日	15円30銭	70円
—	110円	昭和54年7月1日	18円30銭	70円
—	130円	昭和56年6月3日	21円40銭	80円
—	140円	昭和59年4月1日	23円90銭	100円
—	150円	昭和59年10月1日	23円90銭	100円
—	160円	昭和61年10月9日	25円50銭	110円
—	170円	平成2年1月8日	27円10銭	120円
—	180円	平成5年4月1日	29円50銭	130円
—	190円	平成5年10月1日	29円50銭	130円
—	200円	平成9年6月1日	31円80銭	140円
—	210円	平成9年12月1日	31円80銭	140円
—	220円	平成26年4月1日	31円80銭	140円
—	220円	令和元年10月1日	33円30銭	140円

## 4-2 運賃三角表の変遷

### ① 昭和29年2月（開業当時）

<塚脇線>		省線高槻
塚脇	服部	10
		15

<奈佐原線>		省線高槻	
奈佐原	芥川	10	
	郡家	10	
	氷室	10	
奈佐原	10	15	15
	15	15	20

<成合線>		省線高槻	
成合	阪急高槻駅前	10	
	八丁松原	10	
	別所学校前	10	
成合	10	10	10
	10	10	15

<柳谷線>		阪急山崎駅
柳谷	国鉄山崎駅	10
	東大寺	10
	岩谷橋	10
	尺代	10
柳谷	10	20
	10	25
	浄土谷	15
	10	25
柳谷	20	25
	25	35
	浄土谷	25
柳谷	25	35
	30	40
	浄土谷	30
柳谷	30	40

<山崎線>		省線高槻
山崎	下村	10
	神内	10
	広瀬	10
山崎	10	10
	10	10
	広瀬	15
山崎	10	15

<唐崎線>		省線高槻		
		阪急高槻駅	10	10
高西	10	10	15	
芝生	10	10	15	
唐崎	10	15	15	20

<東別院線>		省線高槻		
		高志学園前	10	25
原立石	10	20	30	
碎石場	10	20	30	
出灰	20	25	40	50
田能	20	40	45	60
二料	15	35	55	60
九折	15	25	45	65
別院	10	25	50	70
			70	80
			80	90
			90	100

## ② 昭和 40 年 8 月運賃改定（全線対キロ区間制における最後の運賃改定）

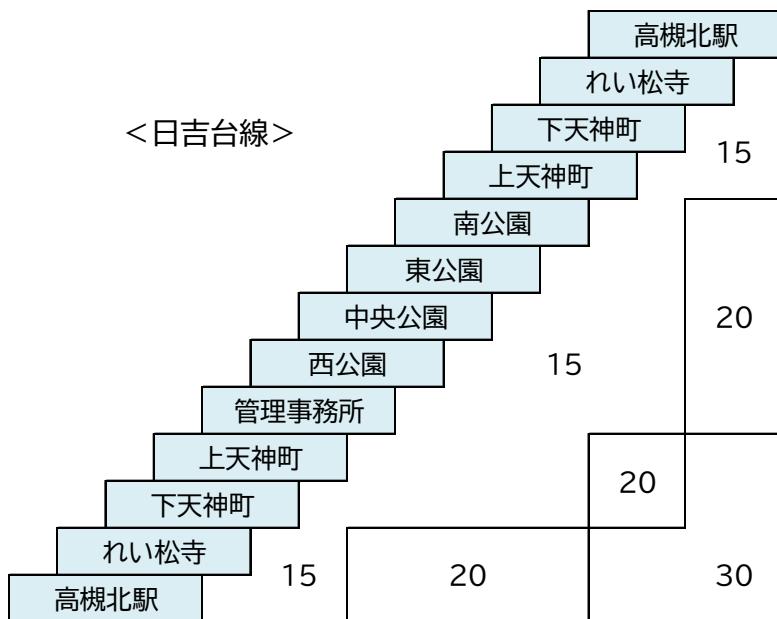
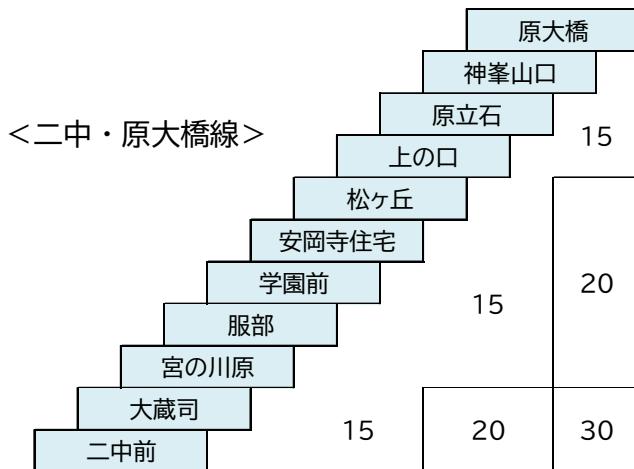
### ＜原・田能・亀岡線＞

### ＜塚脇・下の口線＞

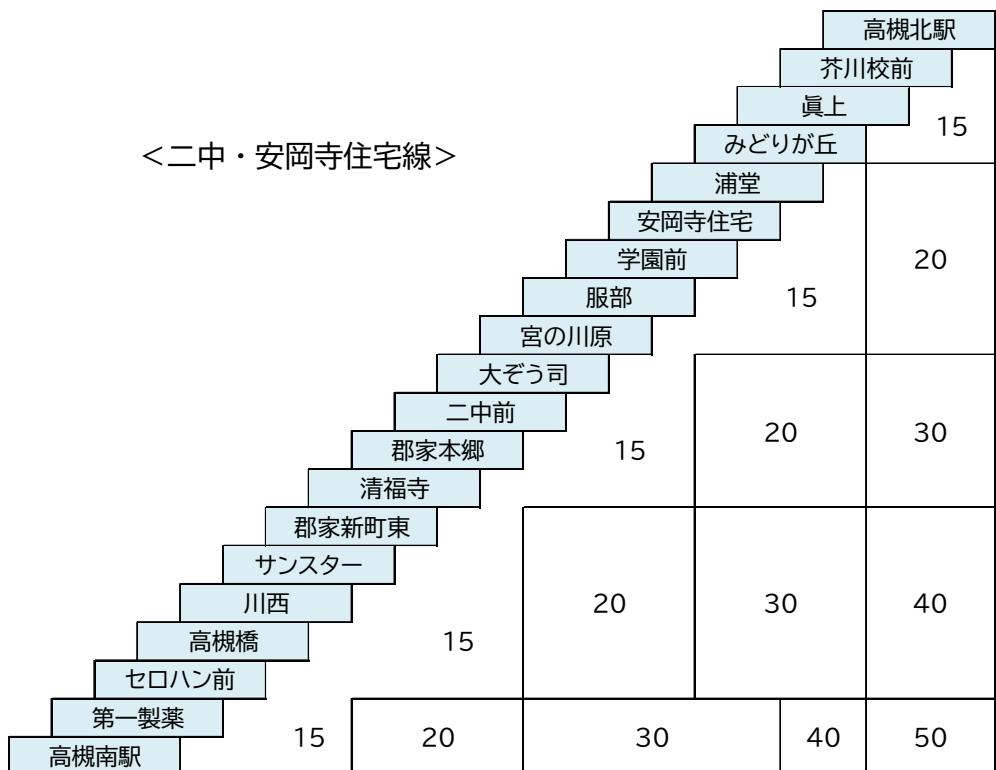
下の口	15	30
塚脇	15	20
伏原	20	
服部		20
浦堂		
緑ヶ丘	15	
眞上		
芥川校前		
高槻北駅		

〈二料線〉

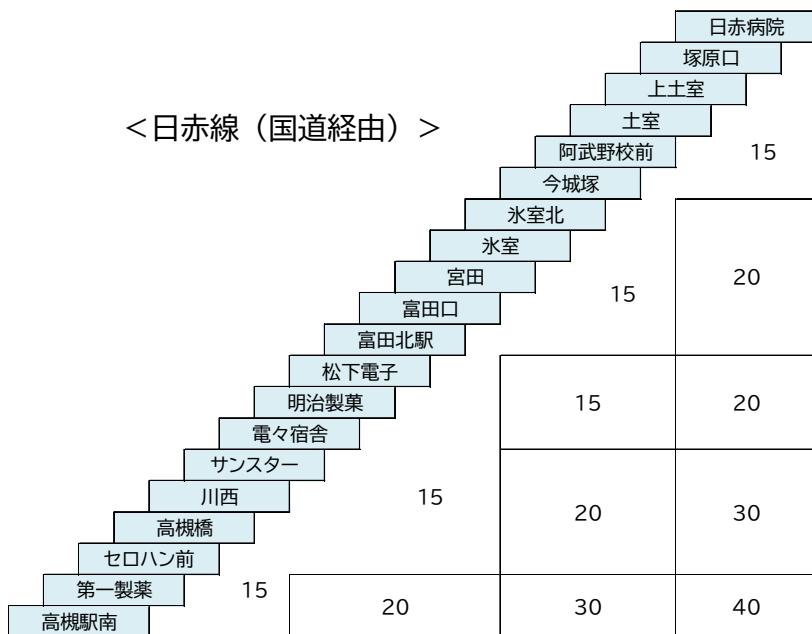
15						高槻北駅
5	20	30				芥川校前
			眞上		15	
			緑ヶ丘			15
			浦堂			20
			服部		15	
			学園前			15
			安岡寺住宅			
			松ヶ丘		20	
			上の口	15		30
			原立石			
			神峯山口	15	20	
			原大橋			30
			碎石場	15	20	40
			野呂橋	20	30	
			出灰	10 30 40	50	40
			樺田校前			50
			田能	15		50
			大谷橋		60	70
			二料上			100
			二料	15		110



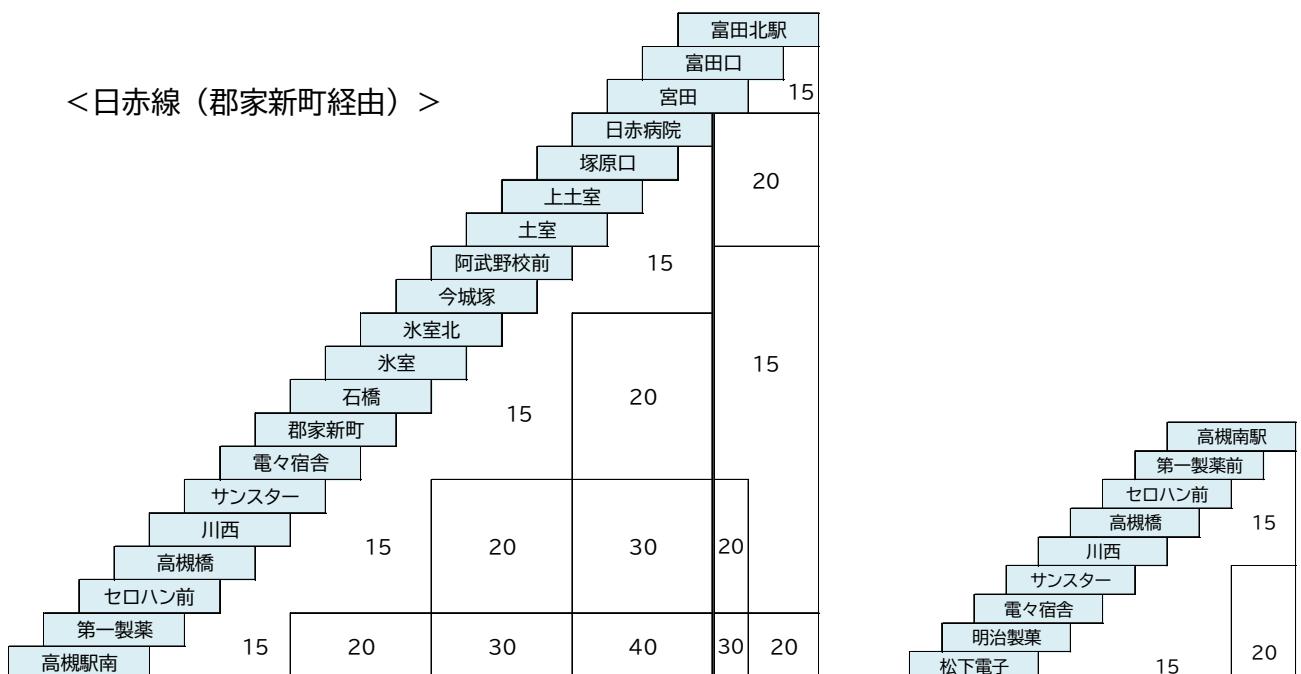
<二中・安岡寺住宅線>



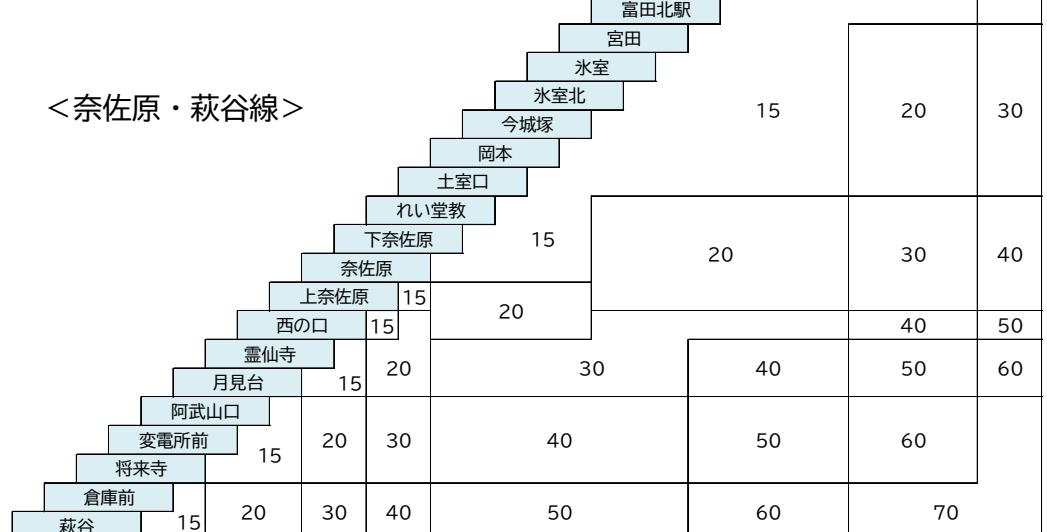
<日赤線 (国道経由) >

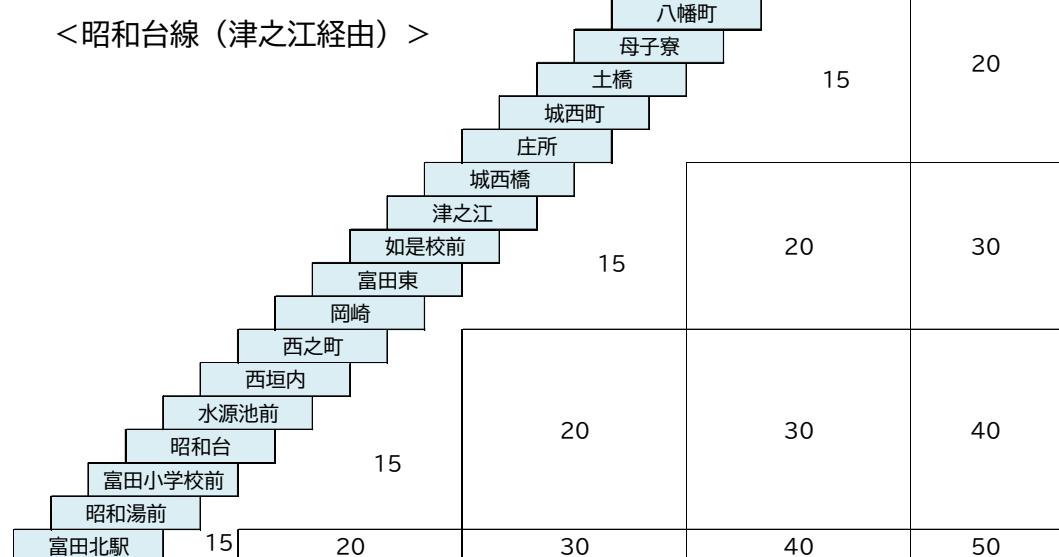
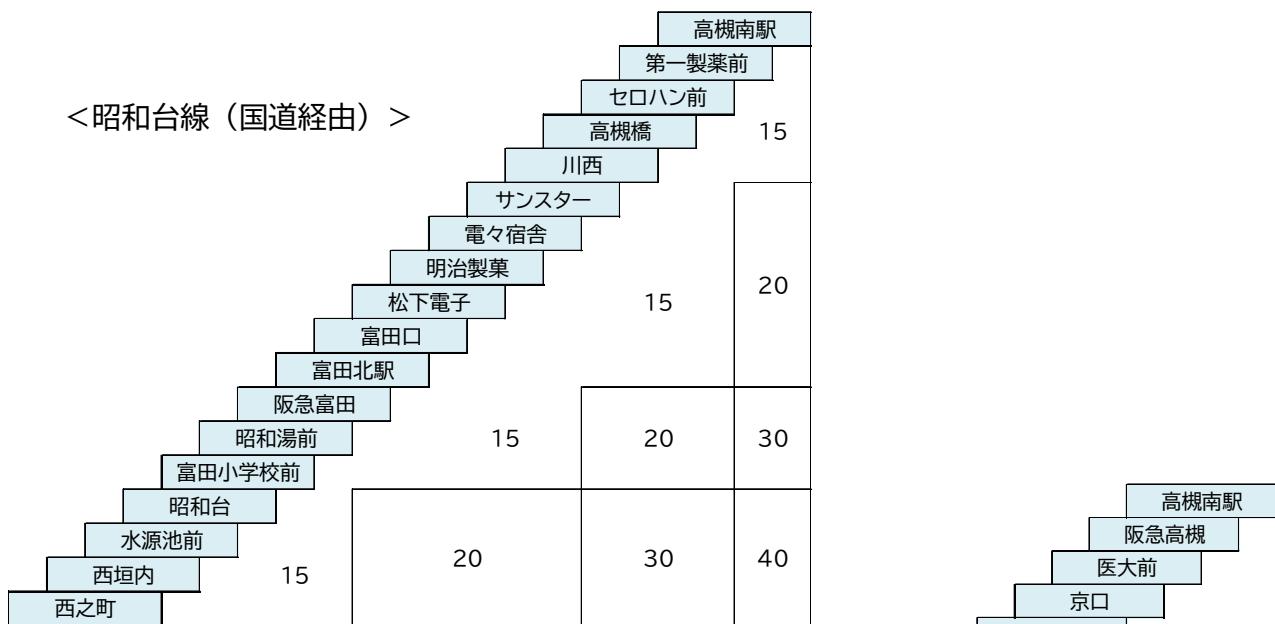
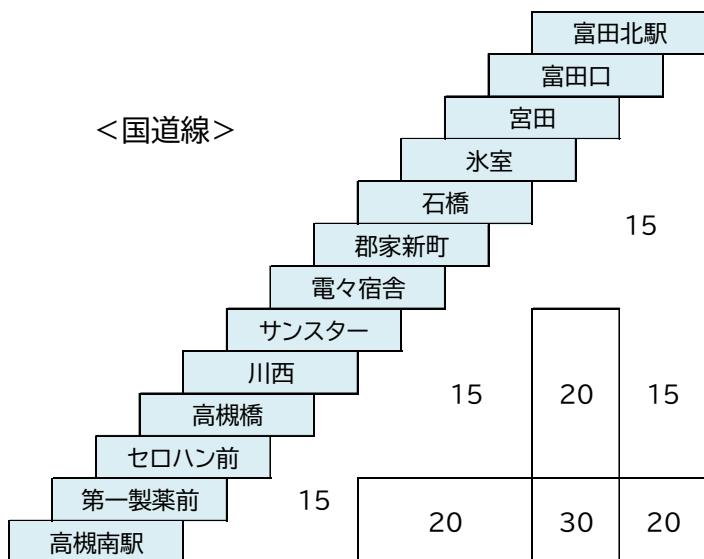


<日赤線 (郡家新町経由) >

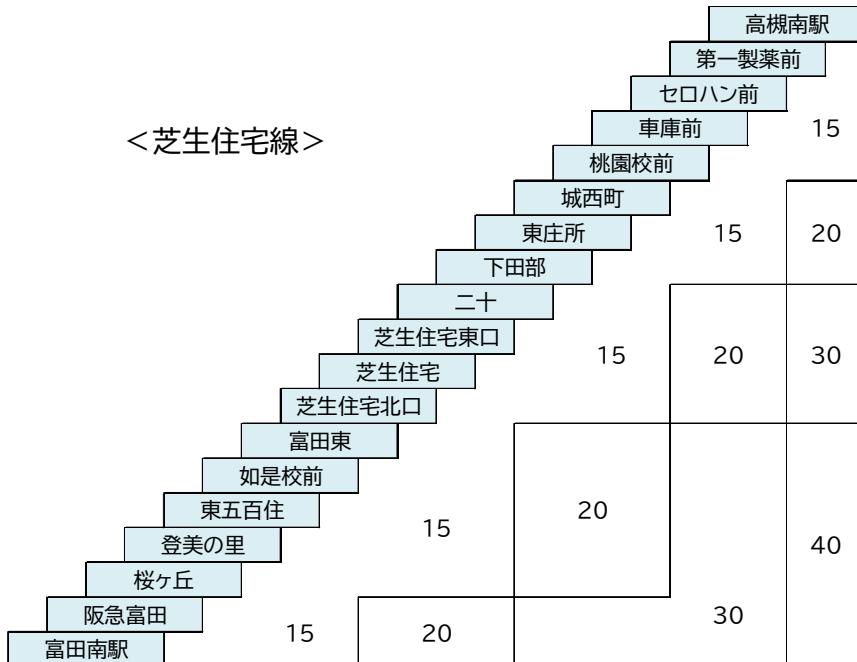


<奈佐原・萩谷線>

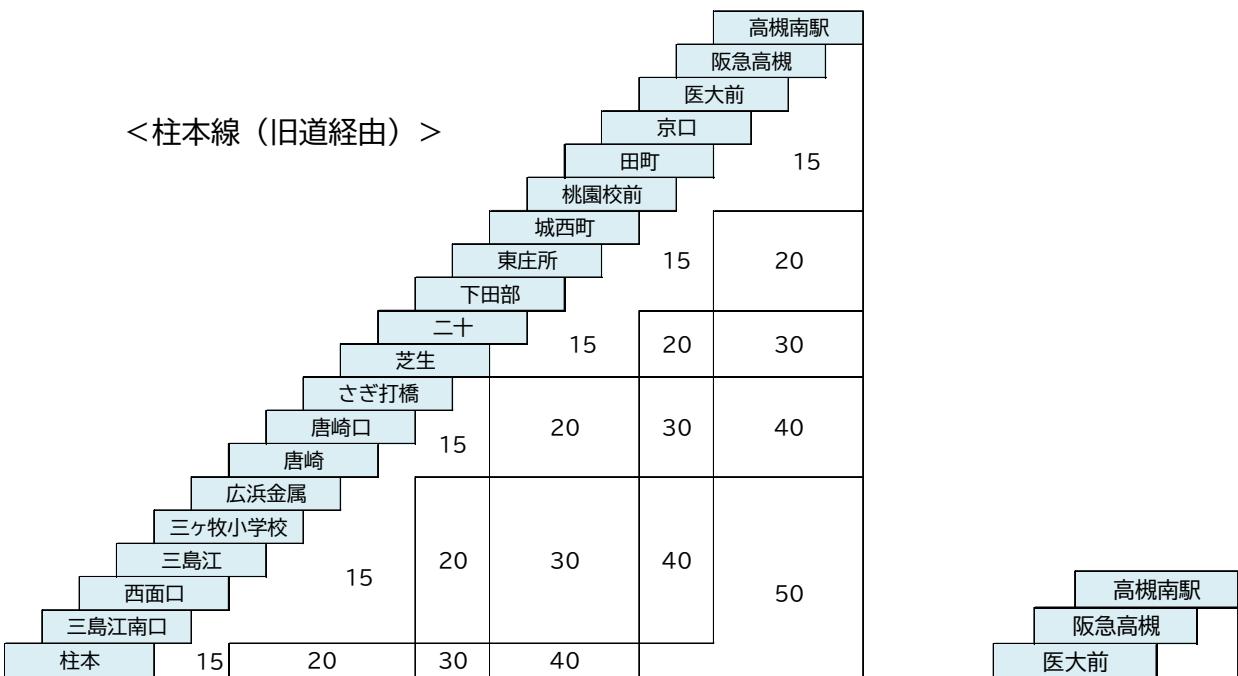




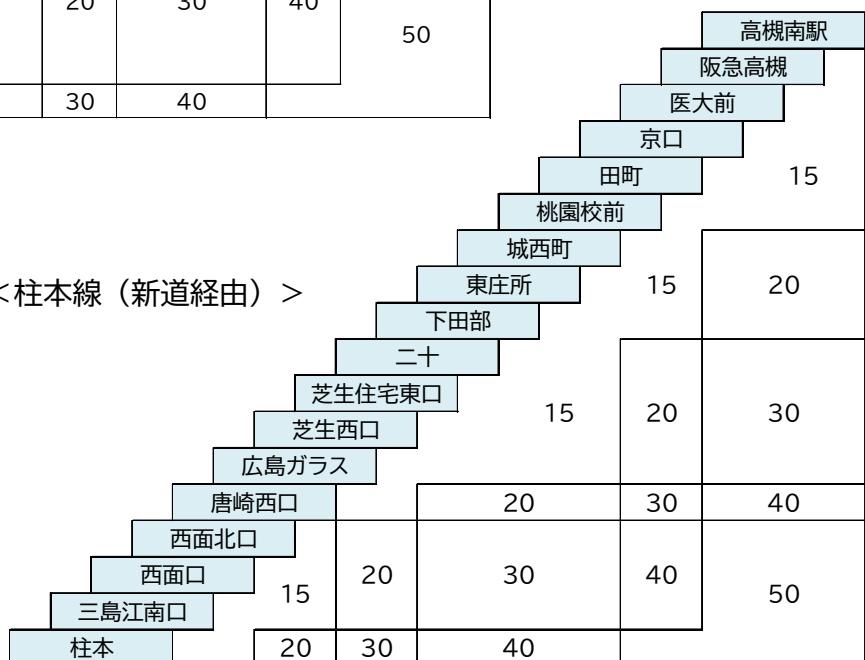
<芝生住宅線>

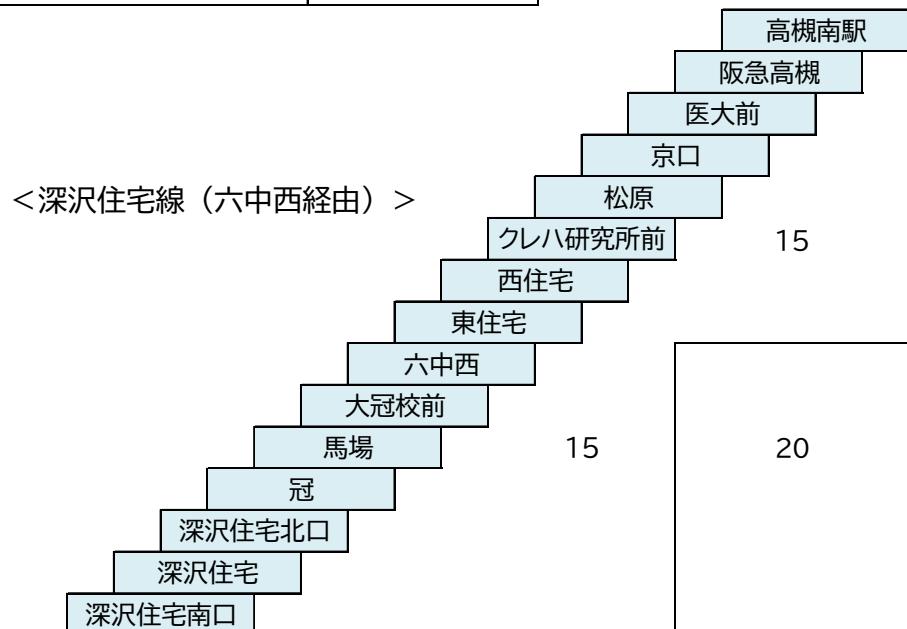
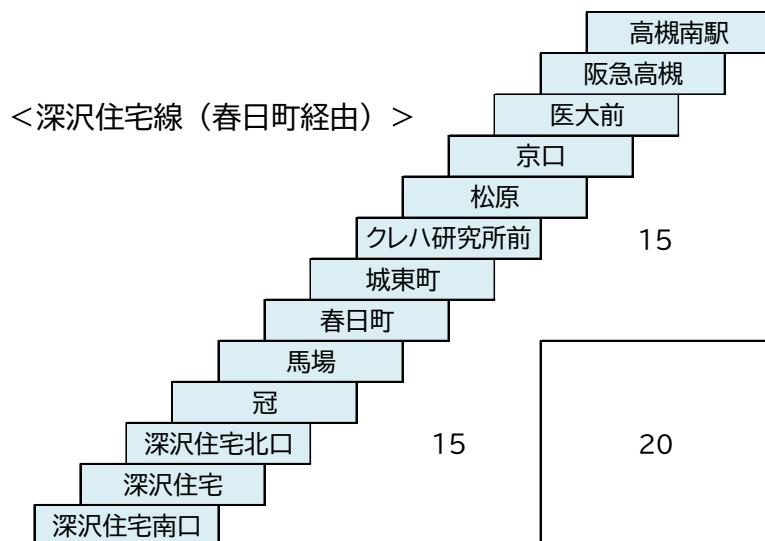
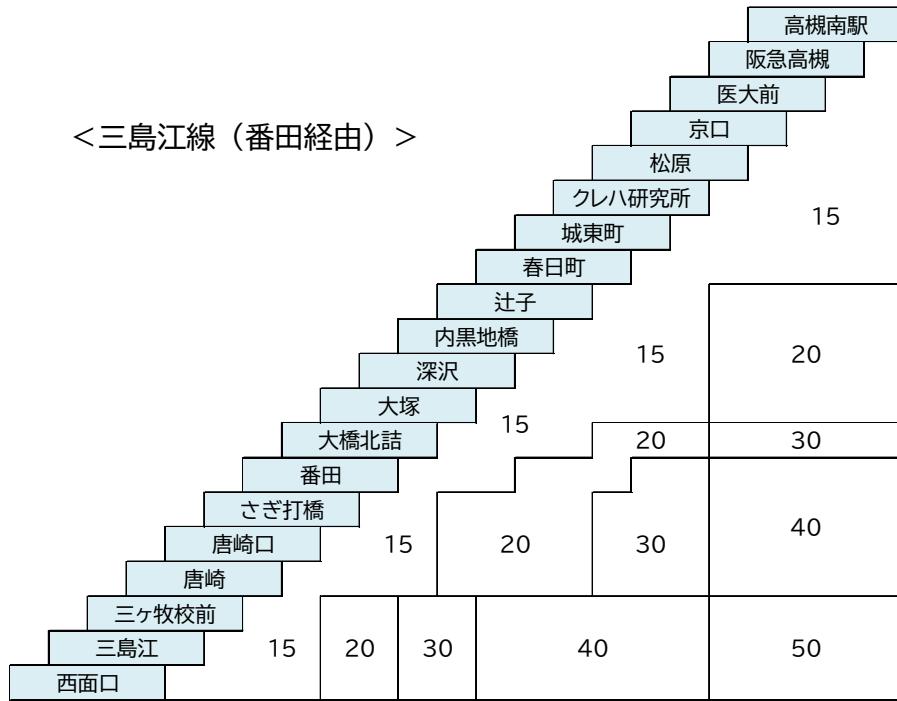


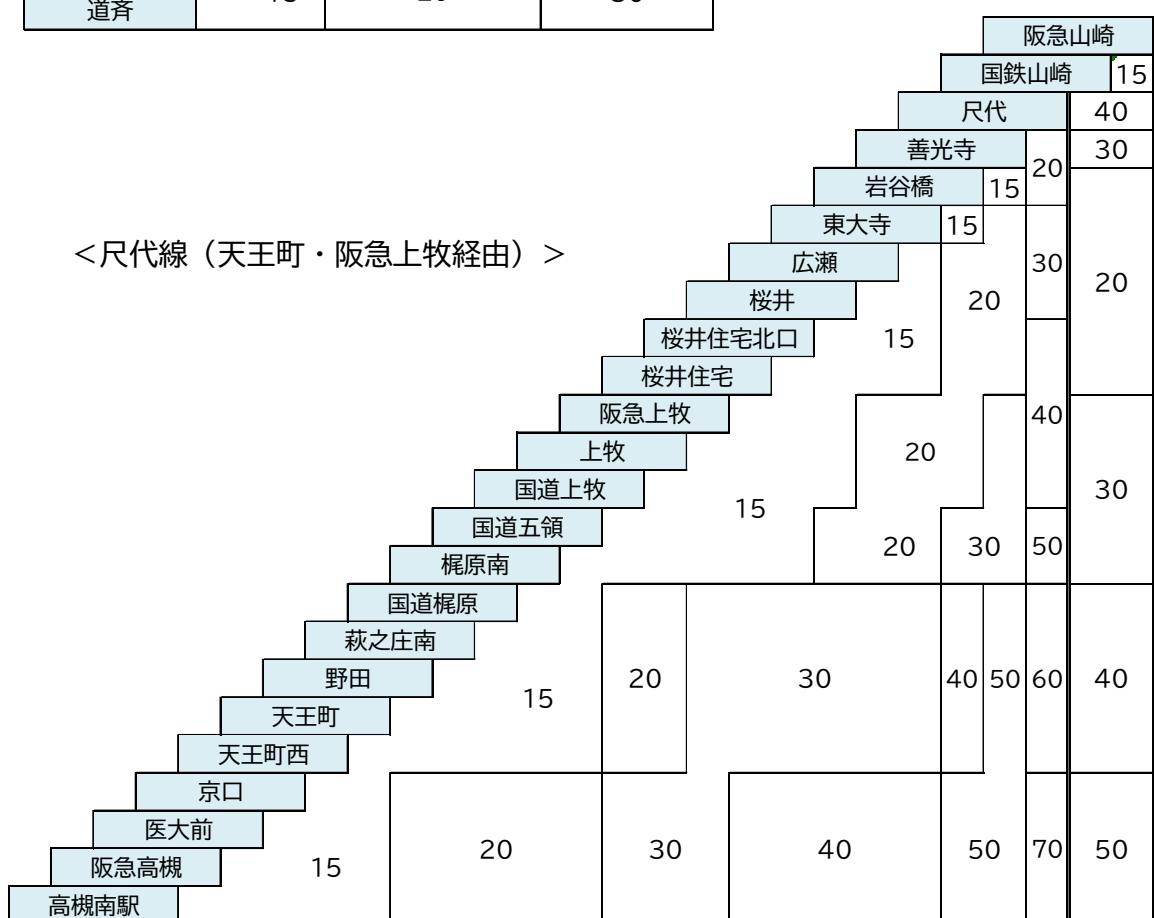
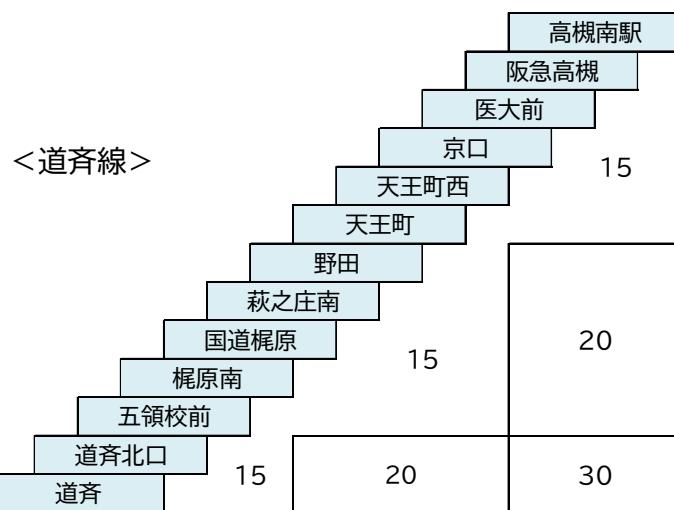
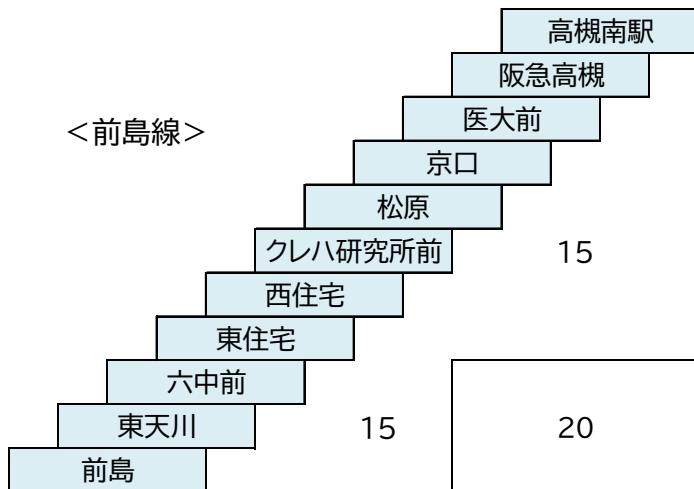
<柱本線（旧道経由）>



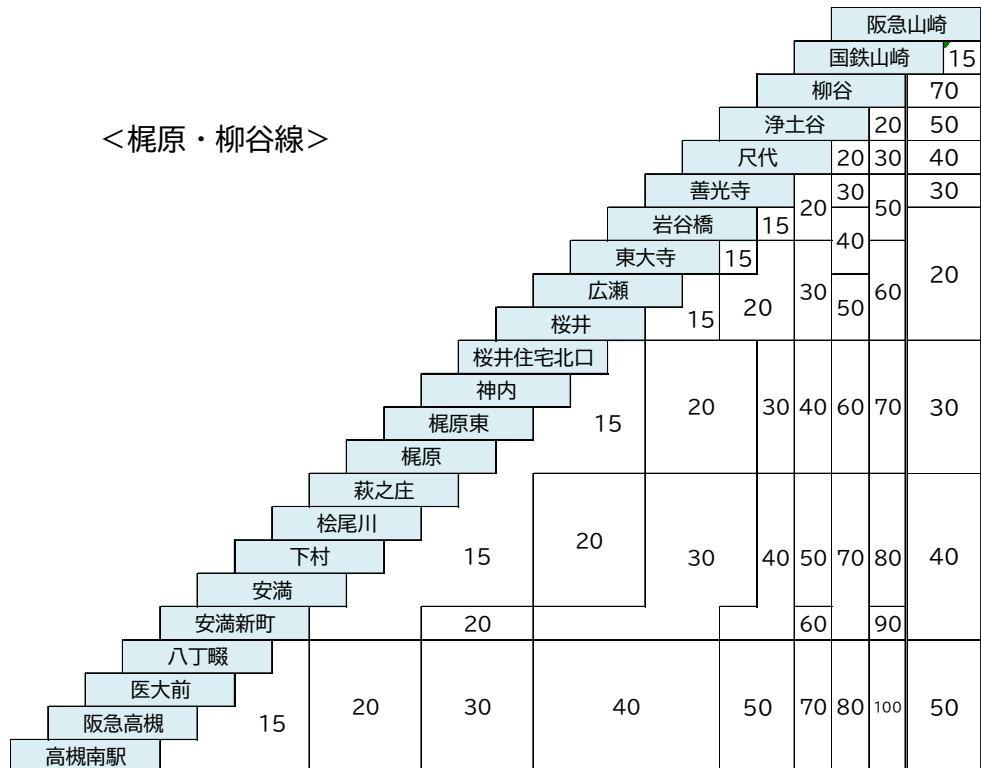
<柱本線（新道経由）>



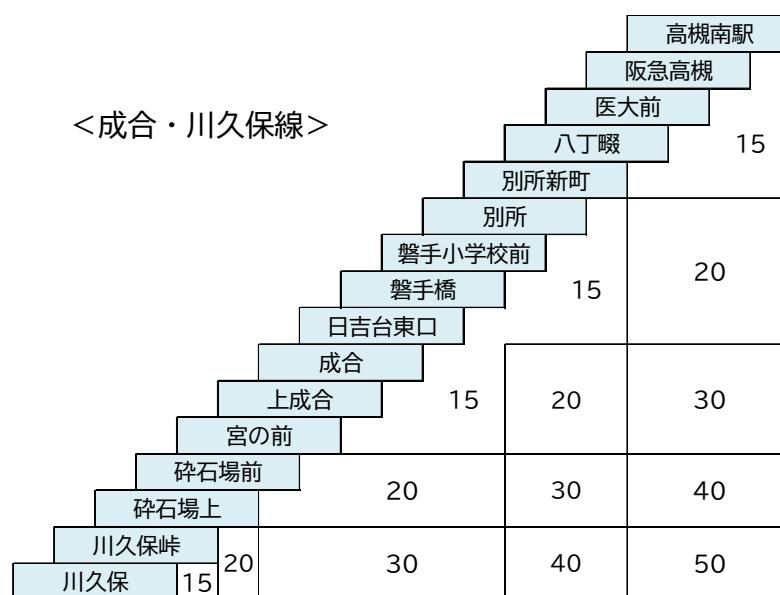




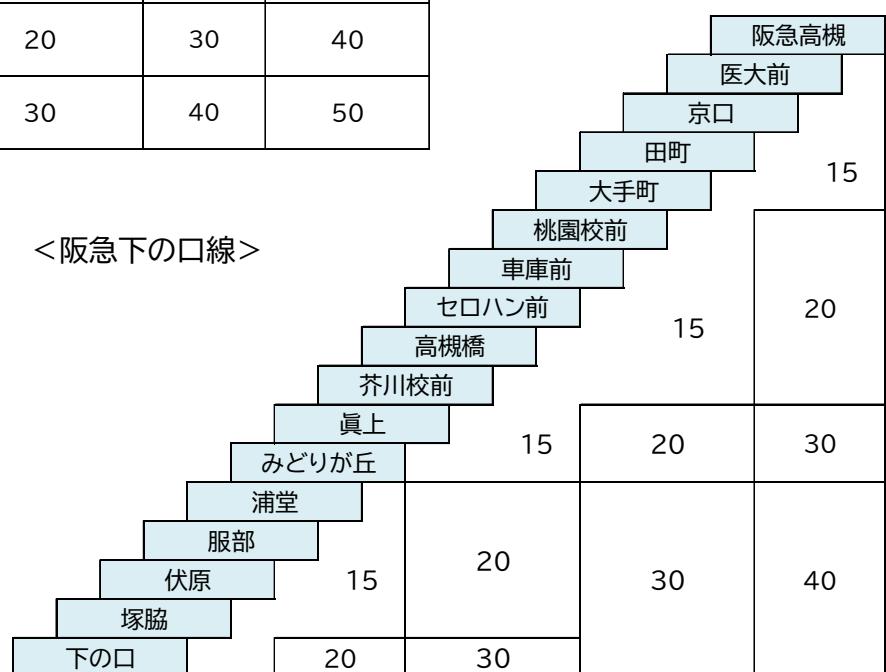
<梶原・柳谷線>



<成合・川久保線>



<阪急下の口線>



### ③ 昭和 47 年 11 月運賃改定（特殊区間制における最後の運賃改定時）

### ＜原・田能・亀岡線＞

### ＜塚脇・下の口線＞

下の口線

下の口

塚脇

伏原

服部

浦堂

緑が丘

真上

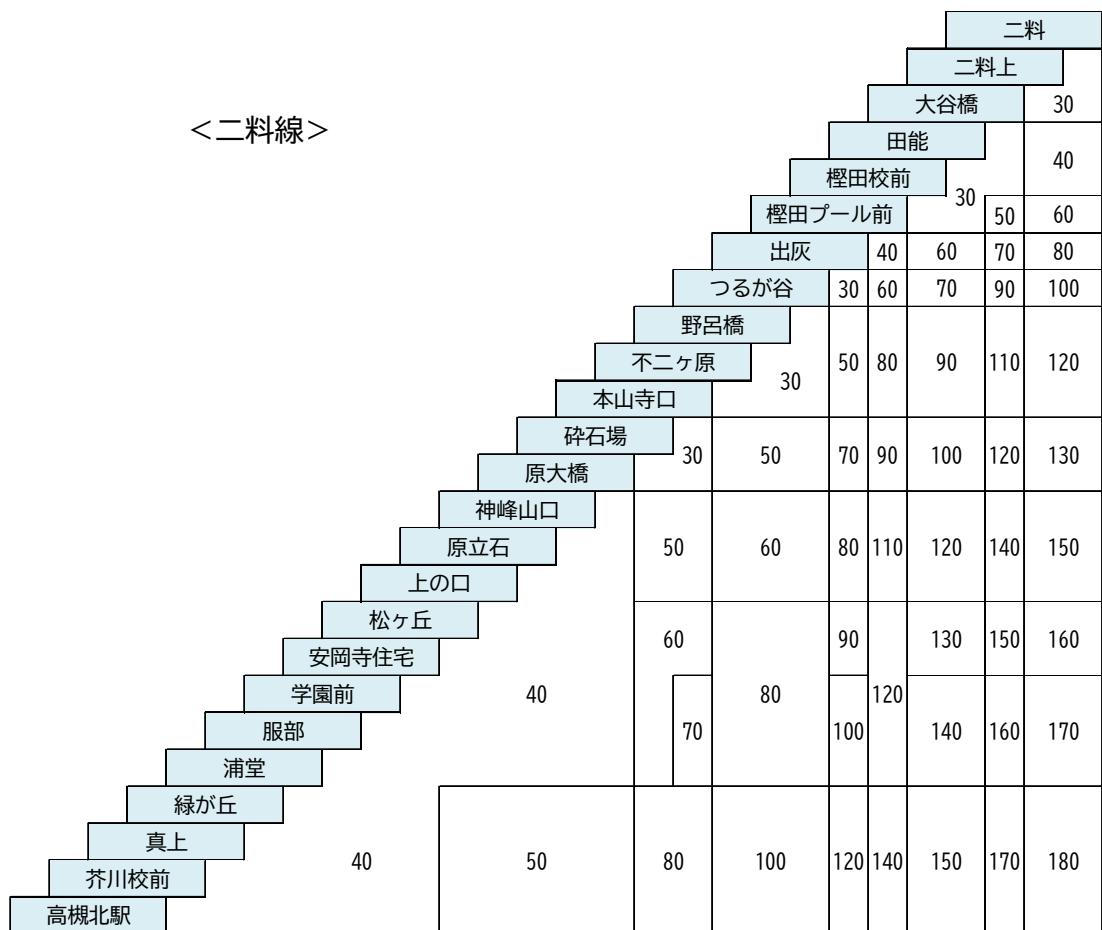
芥川校前

高槻北駅

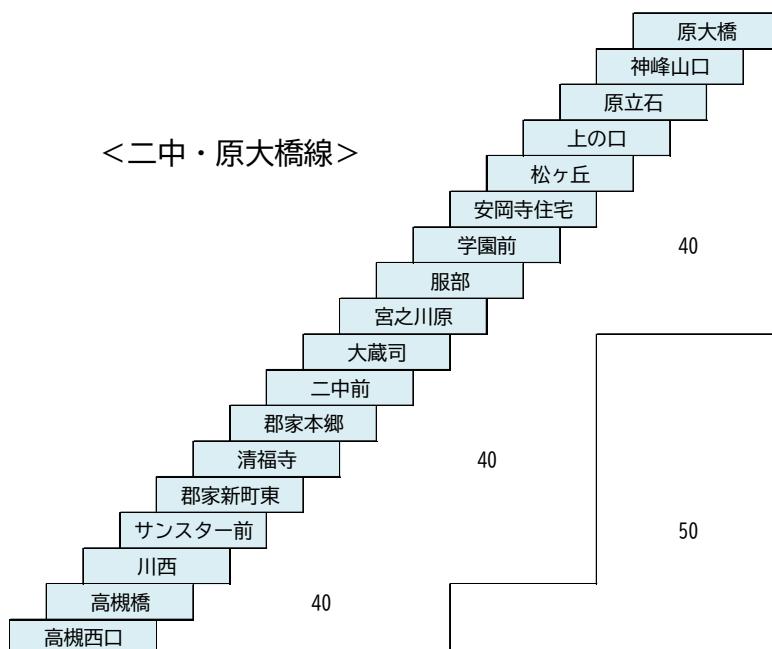
40

50

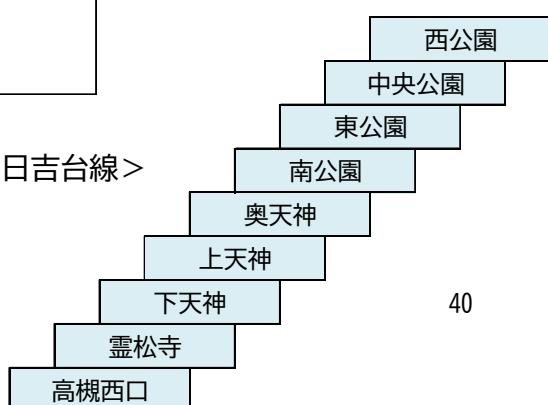
<二料線>

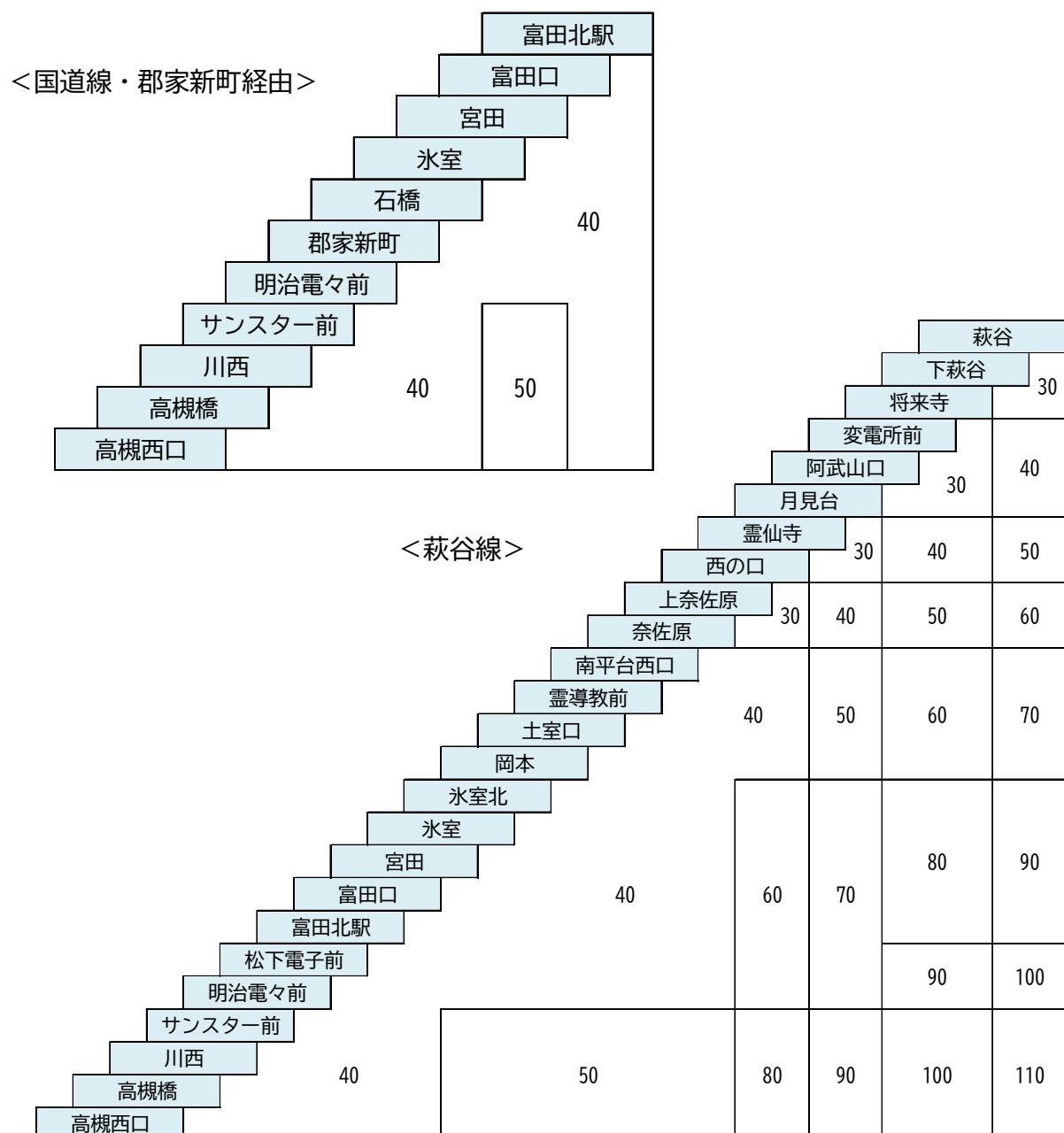
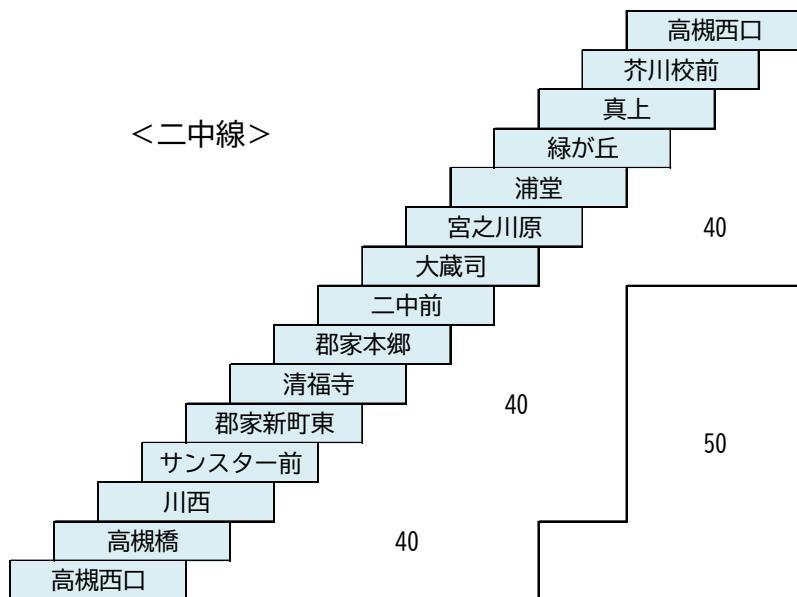


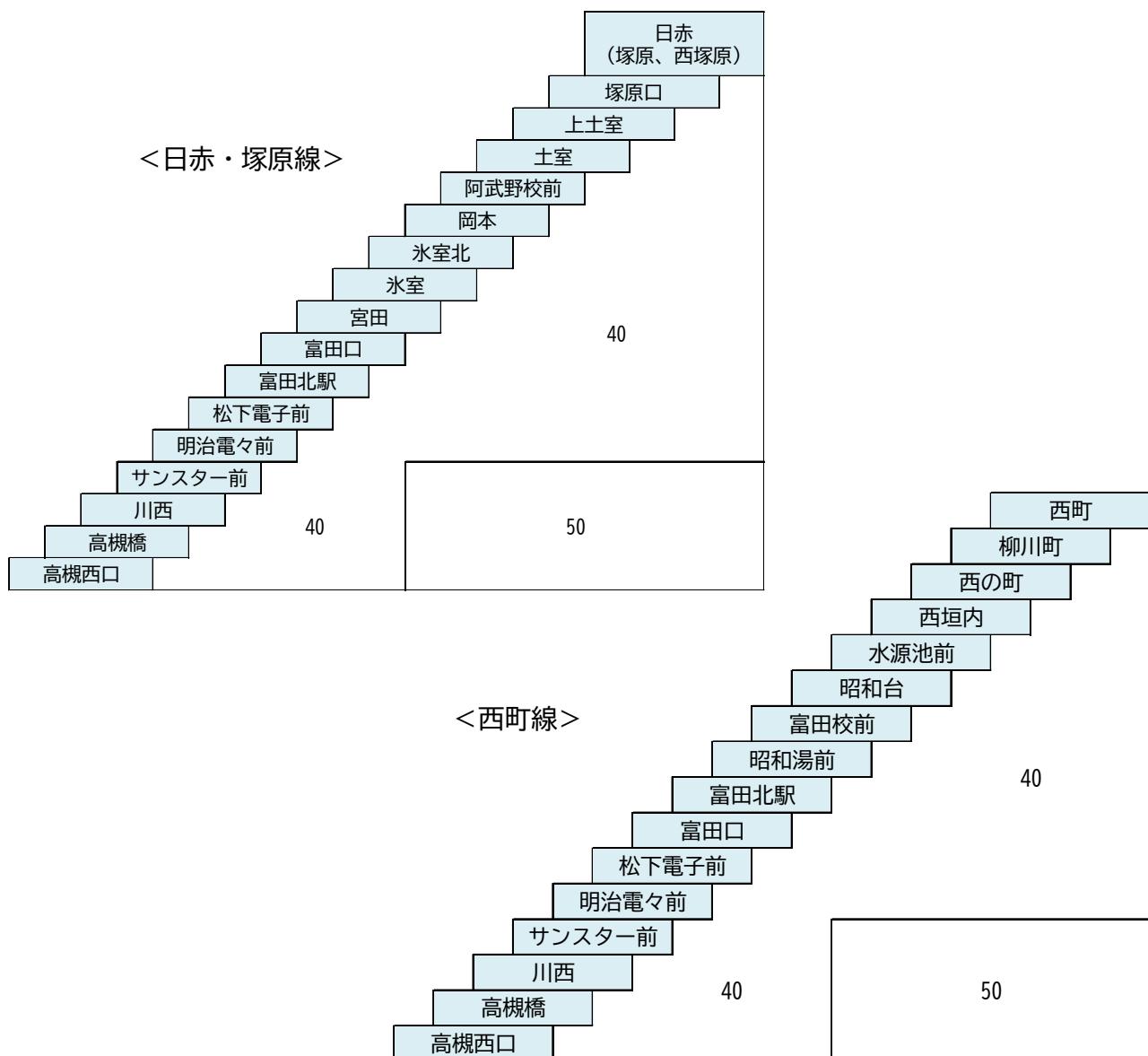
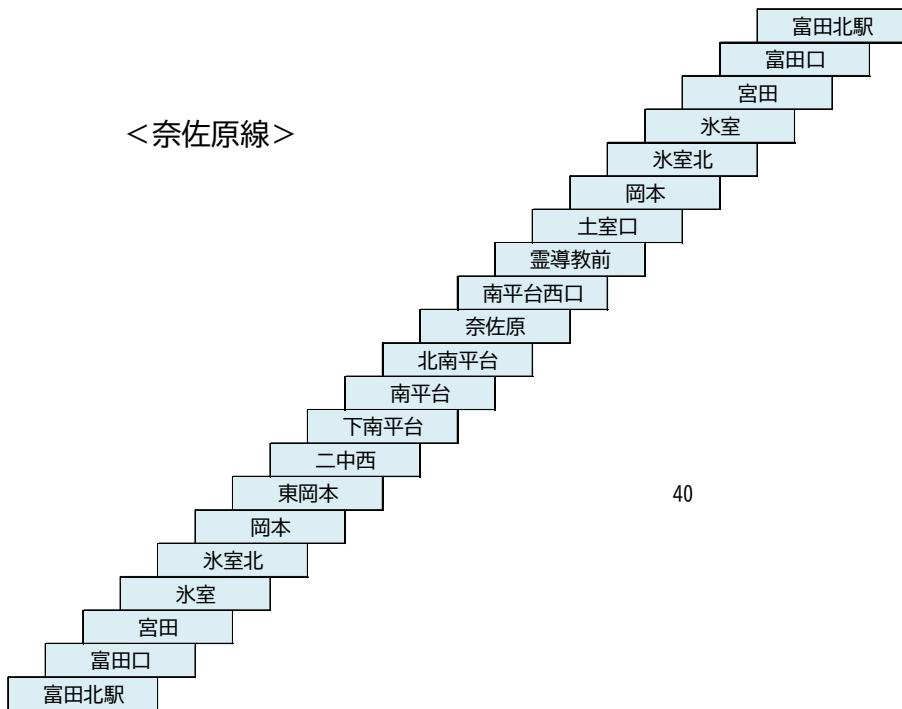
<二中・原大橋線>



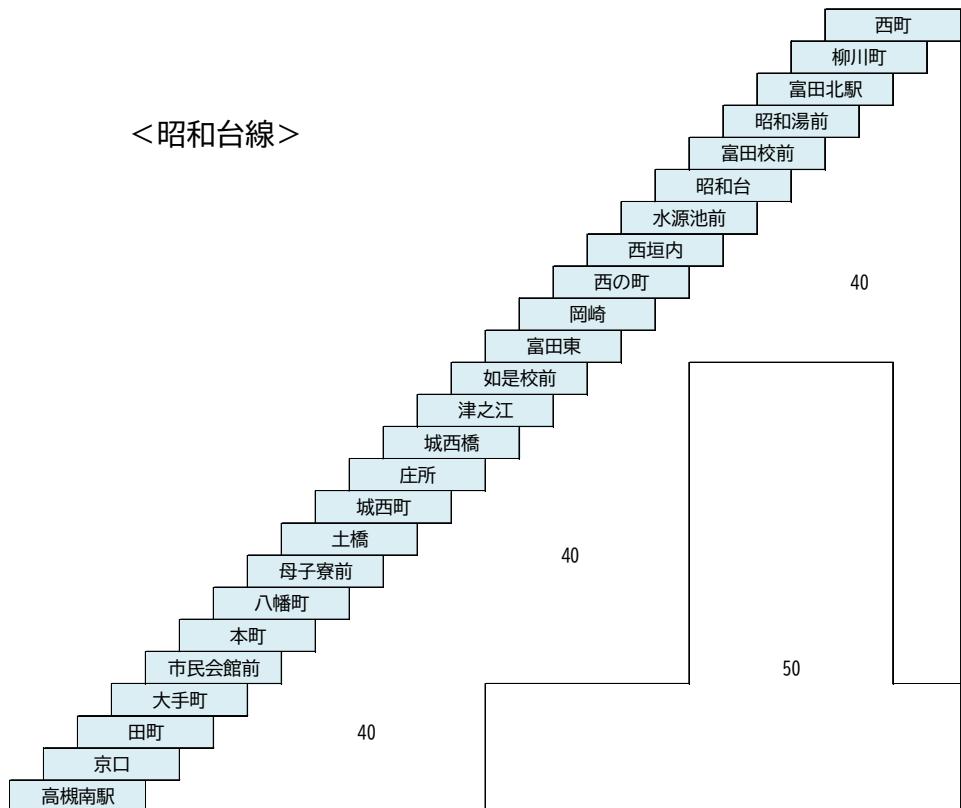
<日吉台線>



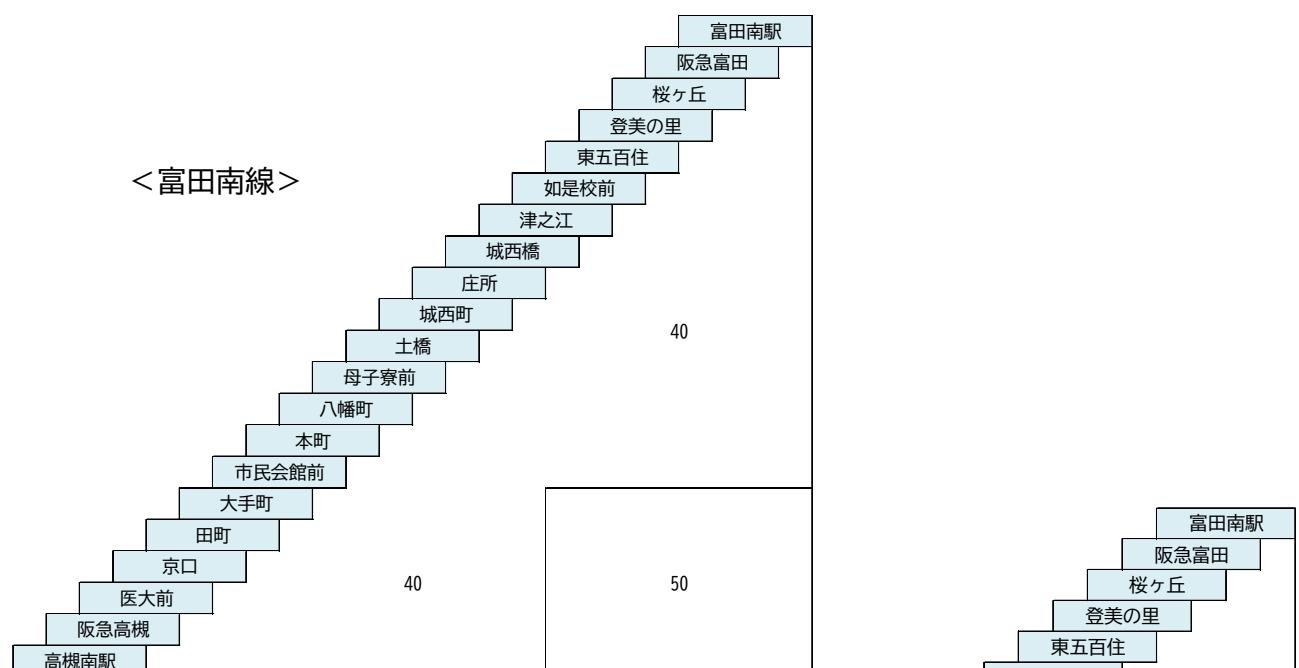




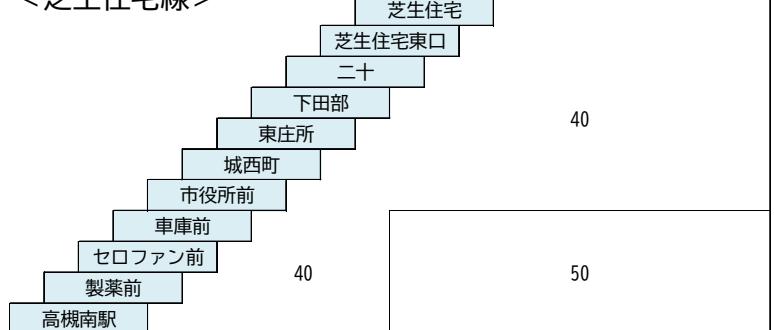
<昭和台線>

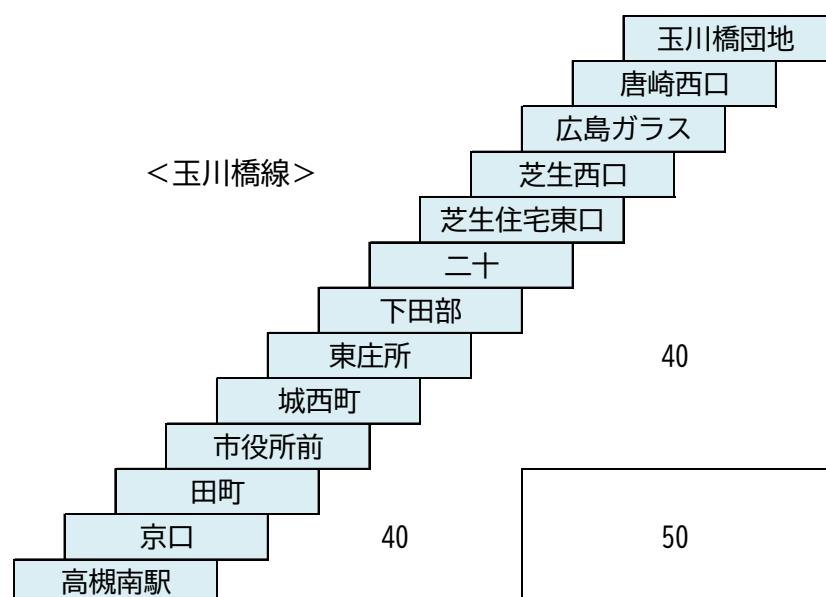
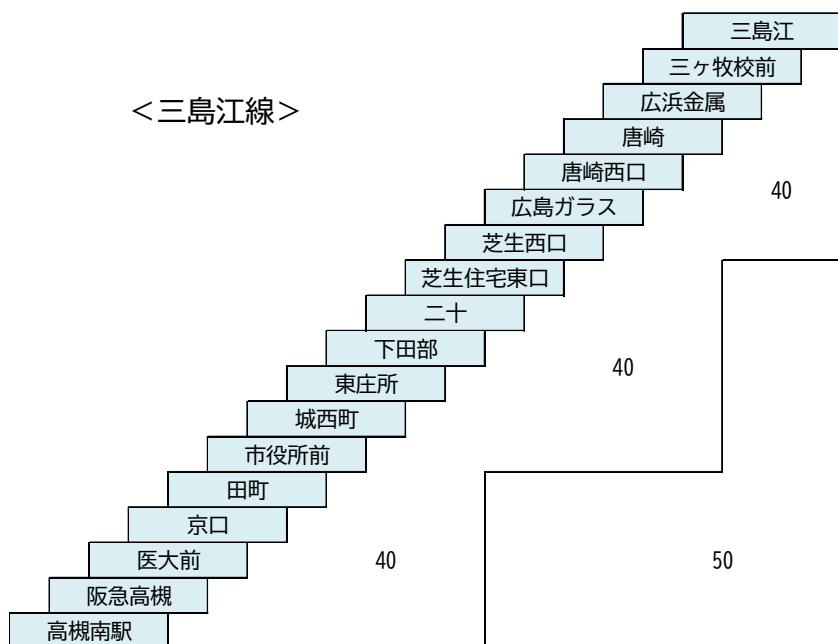
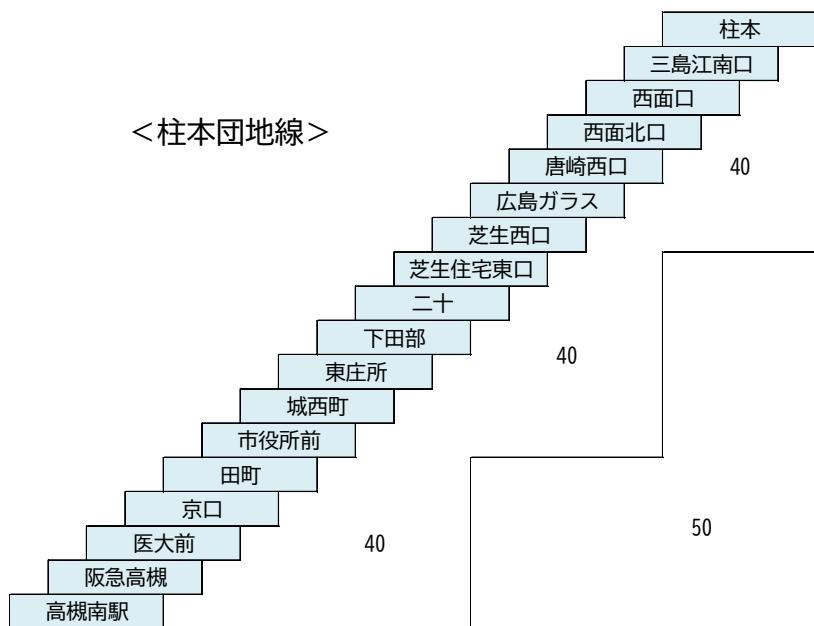


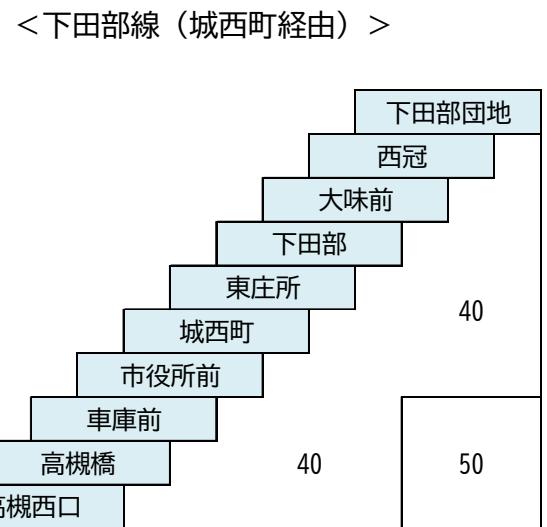
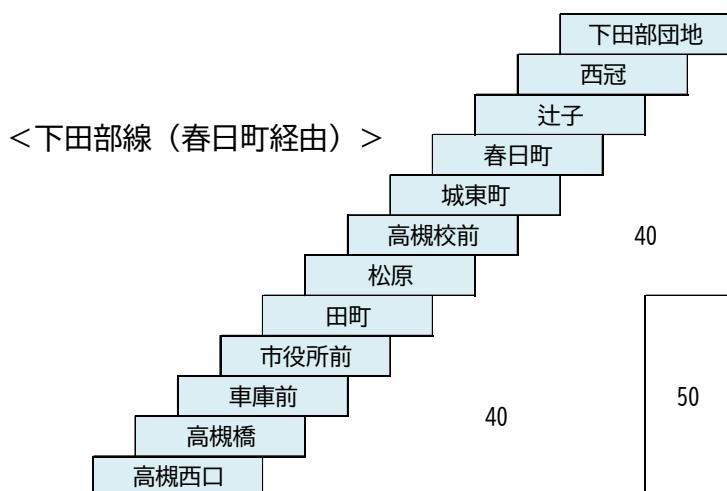
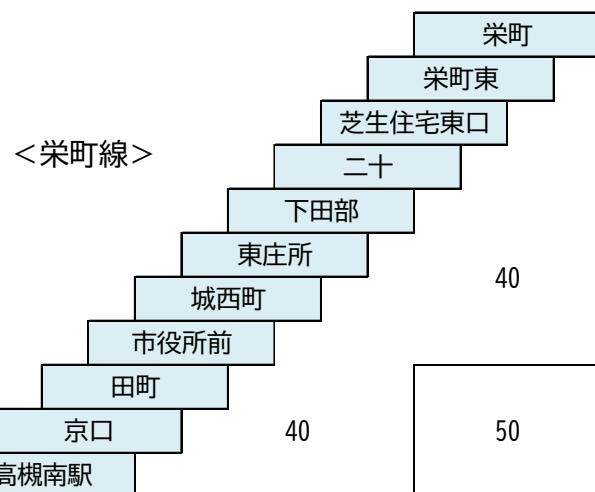
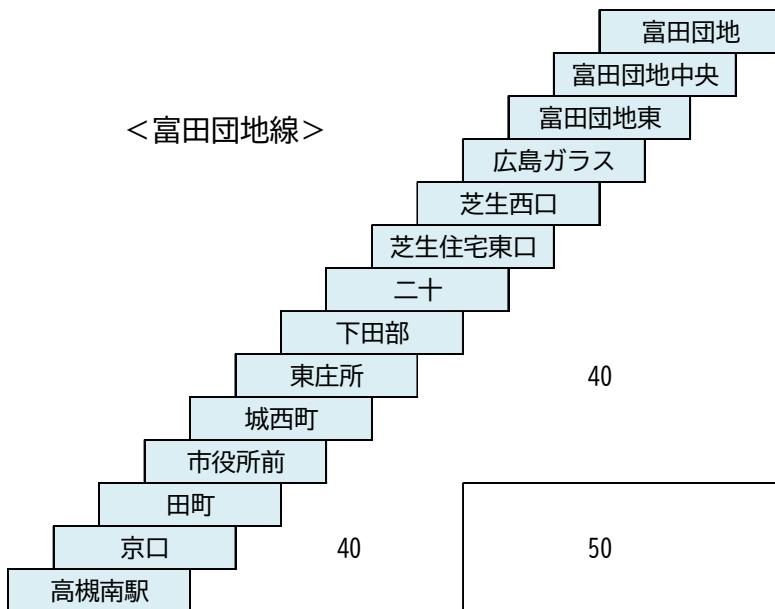
<富田南線>

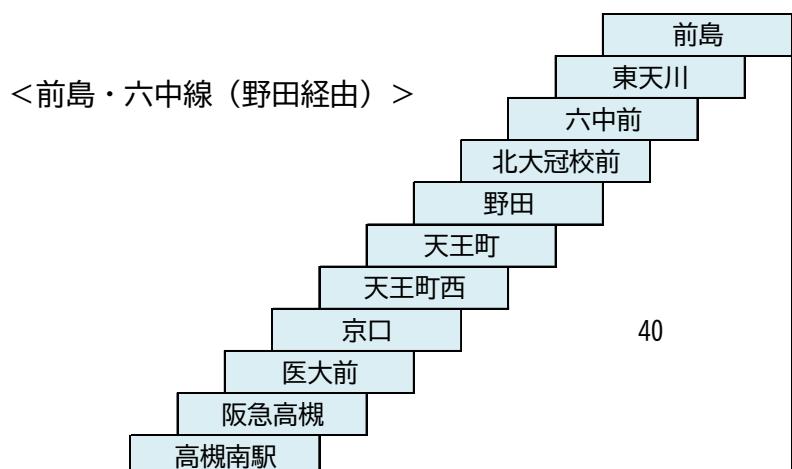
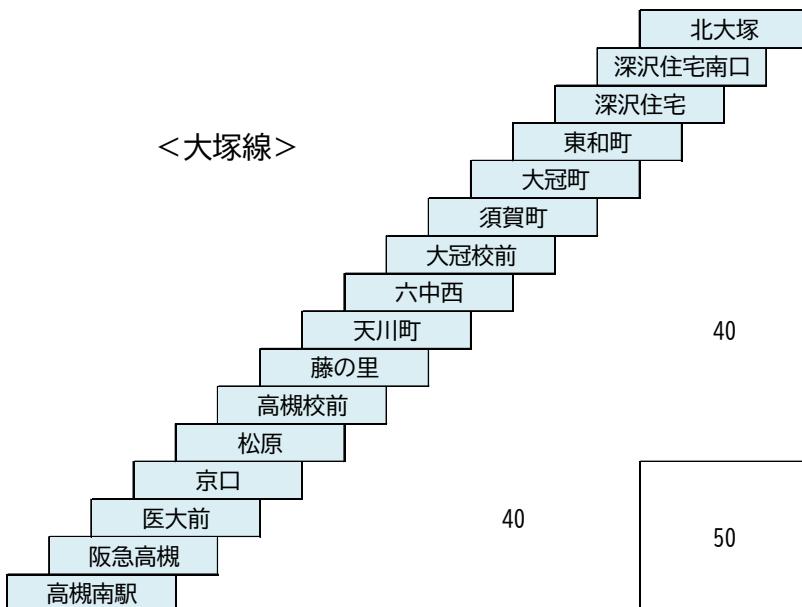
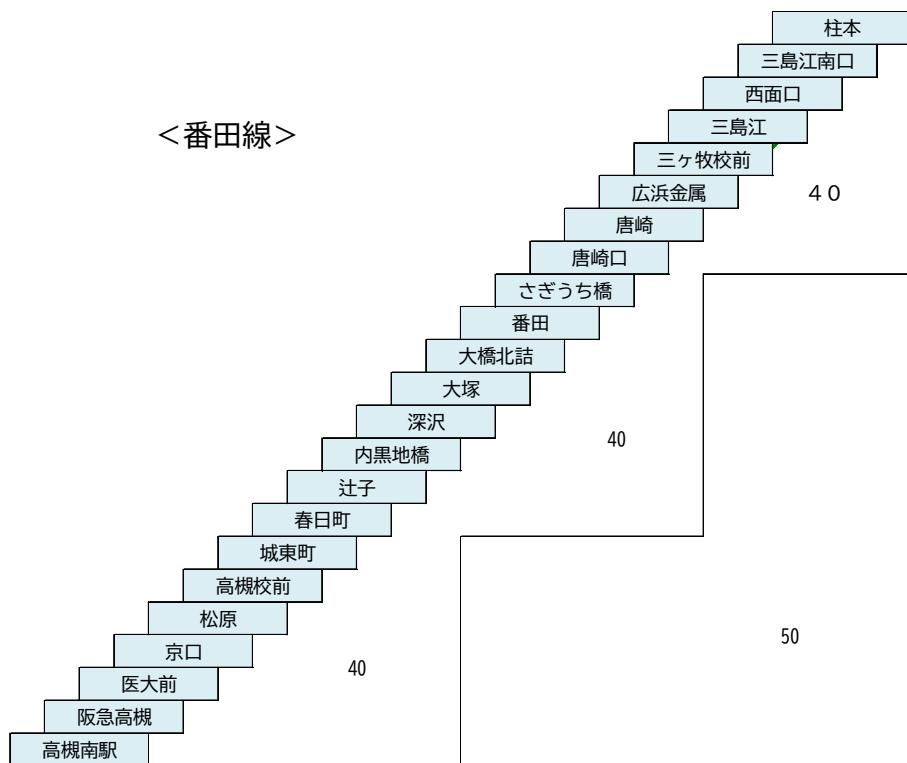


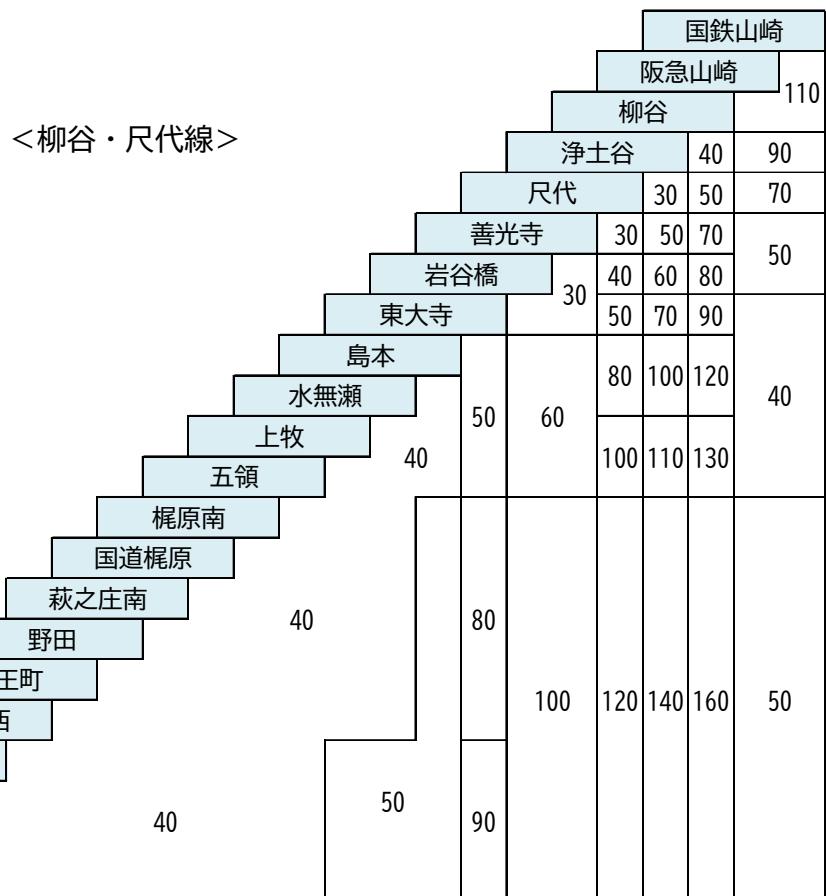
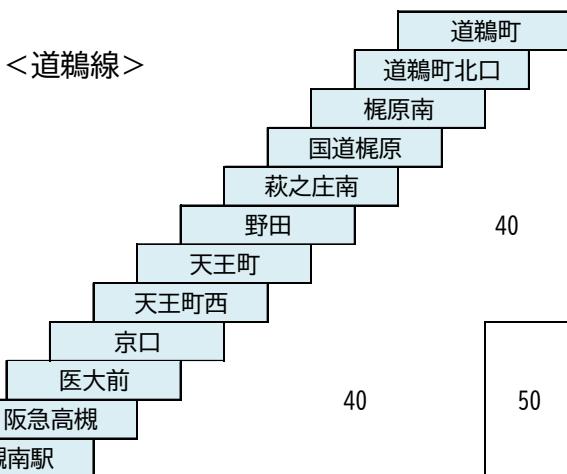
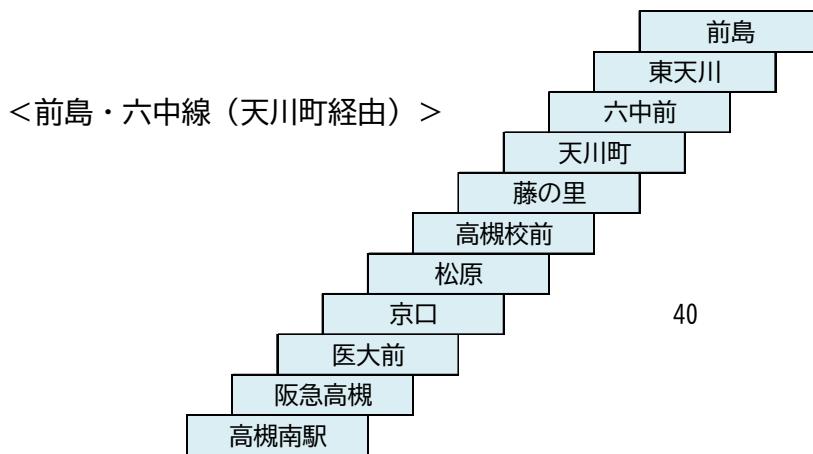
<芝生住宅線>

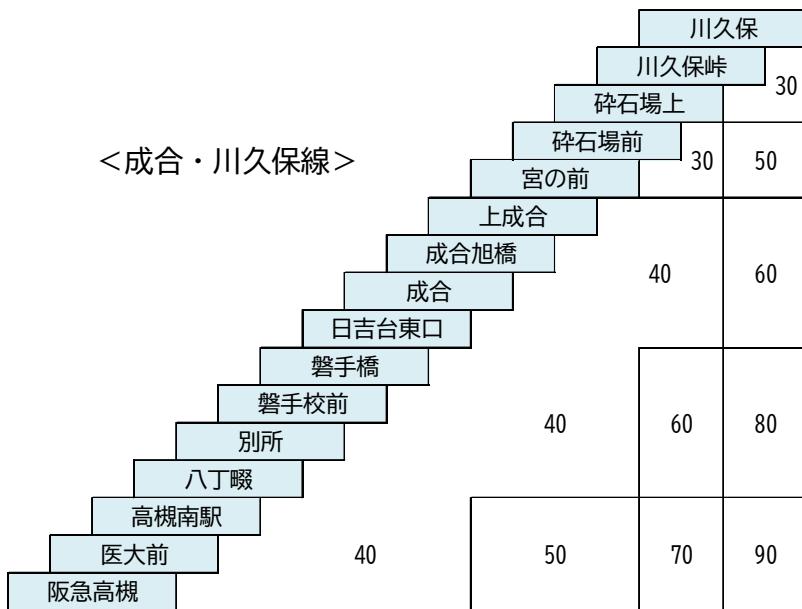
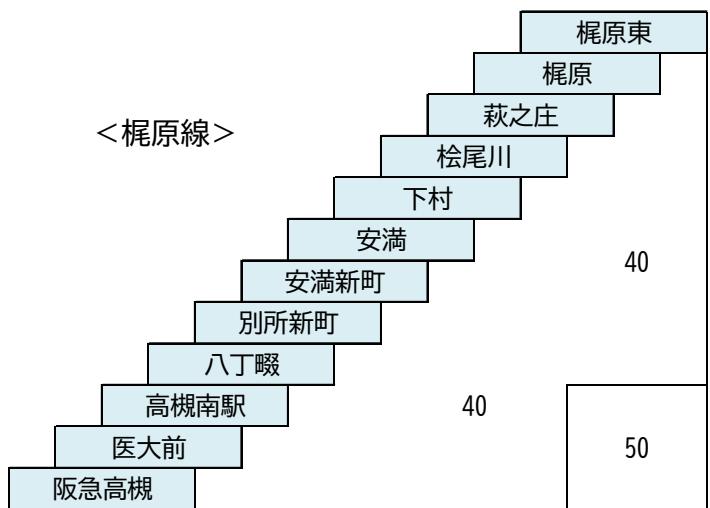












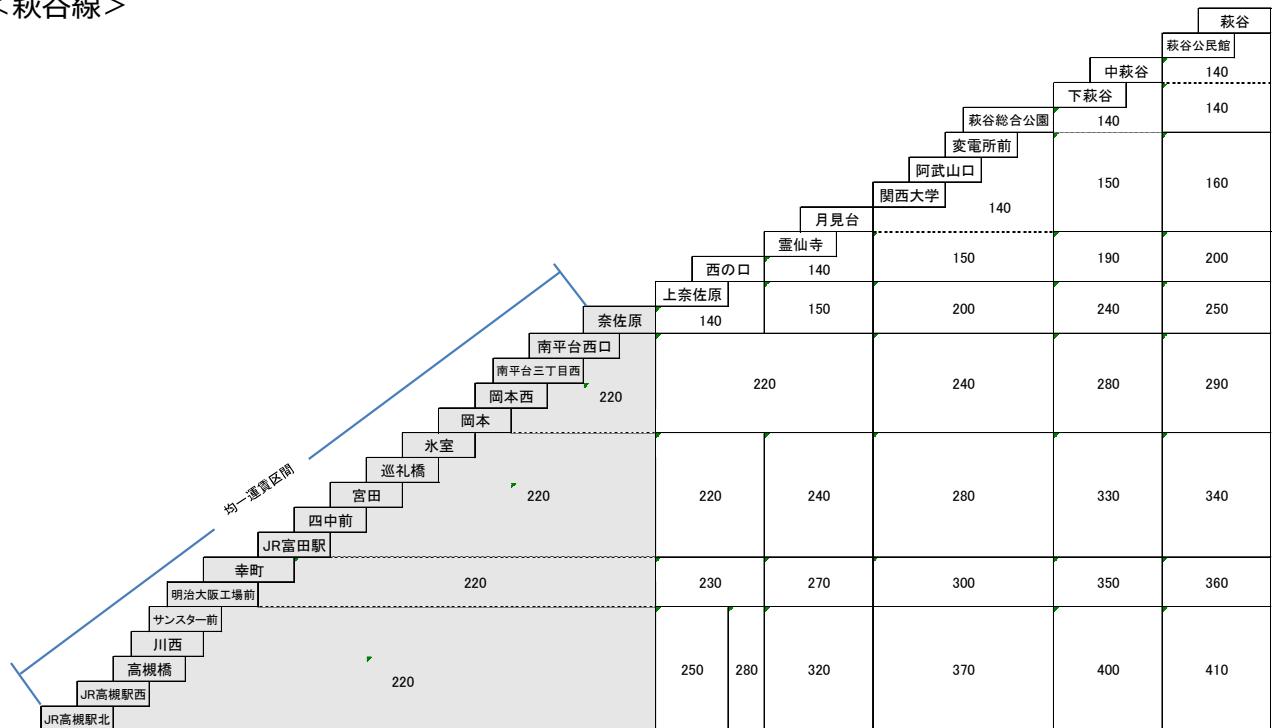
#### ④ 令和元年10月運賃改定（消費税の増税8→10%による運賃改定時）

〈田能線：田能・杉生・二料・中畠〉

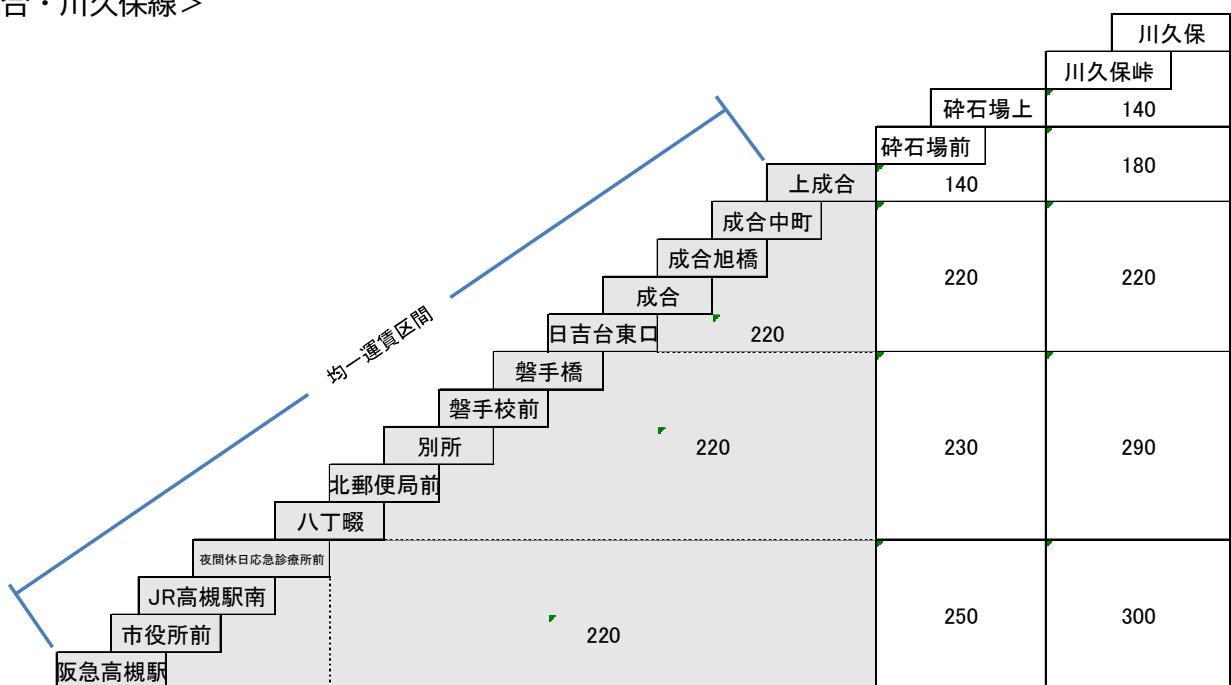
### 〈南平台東線〉

区間	料金
JR高槻駅西 → 高槻駅	220
高槻駅 → 川西	220
川西 → サンスター前	220
サンスター前 → 郡家新町東	220
郡家新町東 → 郡家本郷	220
郡家本郷 → 二中前	220
二中前 → 南平台東	220
南平台東 → 西之川原橋	220
西之川原橋 → 平安女学院大学東	220
平安女学院大学東 → 平安女学院大学	220
平安女学院大学 → 上奈佐原	150
上奈佐原 → 西の口	140
西の口 → 灵仙寺	150
灵仙寺 → 月見台	140
月見台 → 関西大学	140

<萩谷線>



<成合・川久保線>



#### 4-3 経営計画（戦略）

経営戦略とは、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画のことです、すべての公営企業に対して策定が求められています。

高槻市営バスでも開業以来、名称や適用年度は様々ですが時代に合わせて経営戦略を策定し事業運営を行ってきました。現在の市営バスがあるのは、経営戦略に基づく事業運営の積み重ねなのです。

市営バス経営戦略の一部抜粋	
適用年度	名称
昭和39年度～昭和44年度	6か年経営健全化計画
昭和47年度～昭和49年度	自主健全化計画
昭和49年度～昭和52年度	自主再建計画
昭和53年度～昭和57年度	5か年健全化計画
昭和56年度～昭和58年度	3か年健全化計画
昭和58年度～昭和62年度	5か年自主再建計画
平成5年度～平成9年度	5か年計画
平成8年度～平成17年度	経営健全化計画
平成18年度～平成22年度	市営バス経営健全化計画
平成23年度～平成27年度	高槻市営バス経営改善計画
平成24年度	市営バス改革実施計画
平成28年度～令和2年度	高槻市営バス経営計画
令和3年度～令和12年度	高槻市営バス経営戦略

#### 4-4 運輸局届出

路線バスは一般乗合旅客自動車運送事業の一種であり、原則として国土交通省から認可（許可）を受けなければ運営できません。それは道路運送法などの法令に定められており、事業を開始してからも様々な場面において認可を得たり、届出を行っています。

例えば、新規路線を運行するには3か月前までに認可申請を行い、認可（許可）を受けなければなりません。他に、認可（許可）が必要なものには運賃改定などがあり、届出が必要なものにはダイヤ改正やバス停の新設・廃止、バスの更新などがあります。

平成14年の規制緩和により、認可の手続きは一部の手続きのみとなりましたが、届出の手続きは非常に多岐にわたり、高槻市営バスにおいても毎年たくさんの手続きを行っています。平成31年1月から令和5年12月までの5年間では、239回の手続きを行いました。70年前の事業開始からだと数千にも及ぶと思われ、正確な回数については・・・正直なところ分かりません。

##### 主な手続きにおける認可・届出の別

手続きの種類	方法
乗合事業の運営	認可
路線の新設・延長	認可
路線の休止・廃止	届出
営業所等の位置の変更	届出
バスの増減	届出
バスの最大値（長さ等）の変更	認可
車庫の位置・収納能力の変更	認可
バス停の新設・廃止	届出
バス停の名称・位置の変更	届出
運行系統の新設・廃止	届出
運行回数の変更	届出
上限運賃の変更	認可
実施運賃の変更	届出
運送約款の変更	認可
事業管理者（社長等）の交代	届出

以下に、直近5年間の手続きランキングを示します。

順位	回数	手続き	備考
1	80	臨時便の運行（届出）	イベント等での臨時便の運行
2	78	バスの流用（届出）	乗合で登録しているバスを貸切で使用、又はその逆
3	26	バスの登録・抹消（届出）	新車の購入、廃車、営業所の変更等
4	20	実施運賃（届出）	上限運賃の範囲内で割引運賃の設定等
5	14	ダイヤ改正（届出）	
6	5	上限運賃の変更（認可）	乗合運賃や貸切料金の上限値
7	4	バス停の移動（届出）	
8	3	運送約款の変更（認可）	乗合・貸切含む
8	3	新規路線の開設（認可）	
8	3	路線の休止・廃止（届出）	
11	2	バス停の名称変更（届出）	
12	1	事業管理者の変更（届出）	

## 4-5 ラッピングバス

ラッピングバス(1/13)













ラッピングバス(7/13)











ラッピングバス(12/13)





## 4-6 車外広告

車外広告(1/4)









## 4-7 車内広告

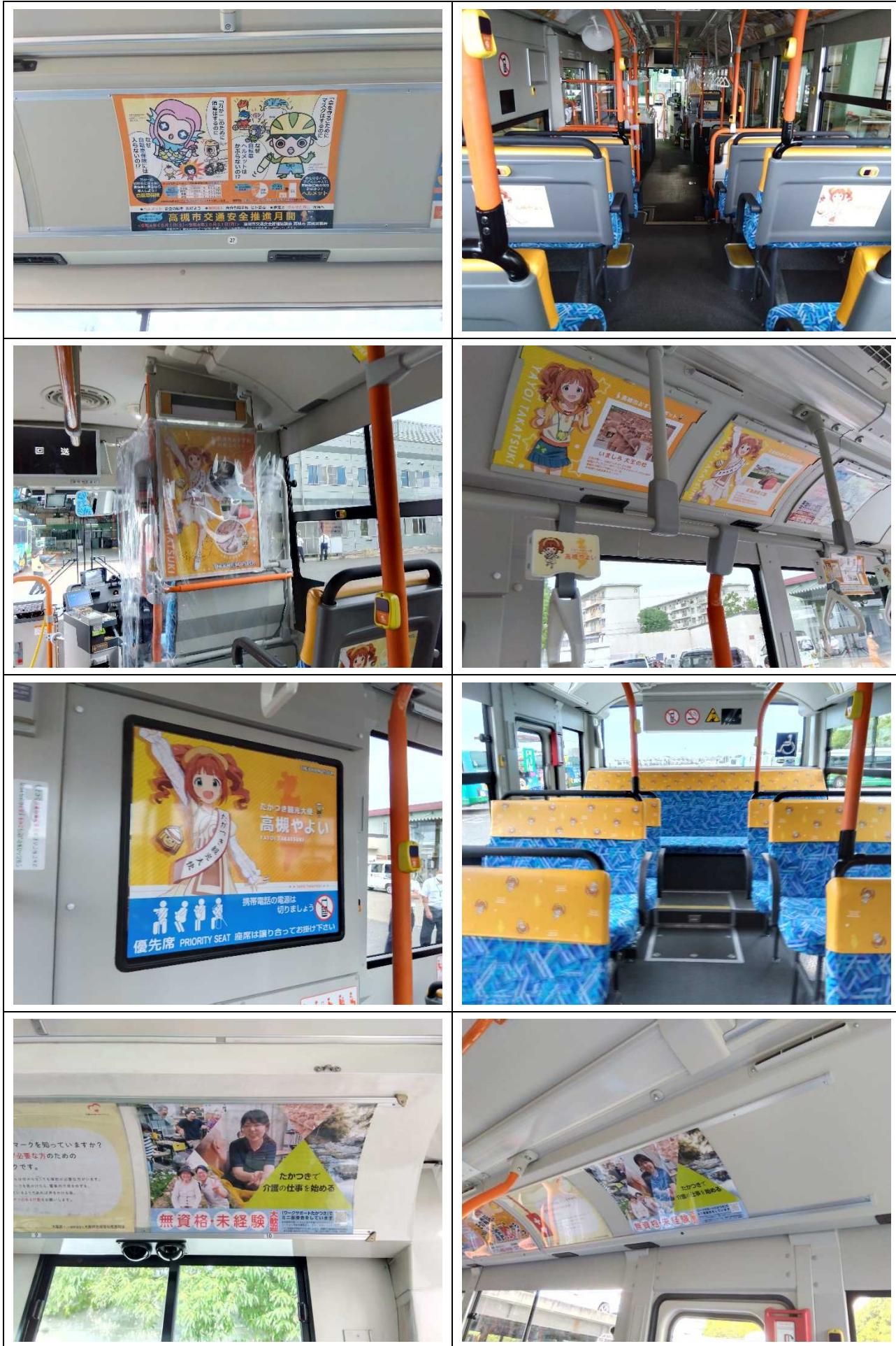
車内広告(1/6)

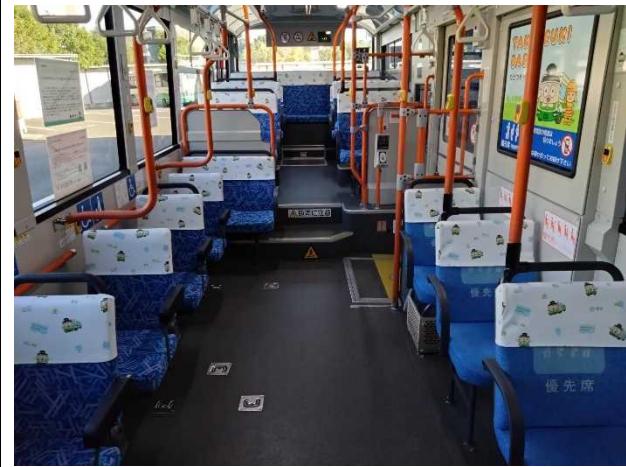






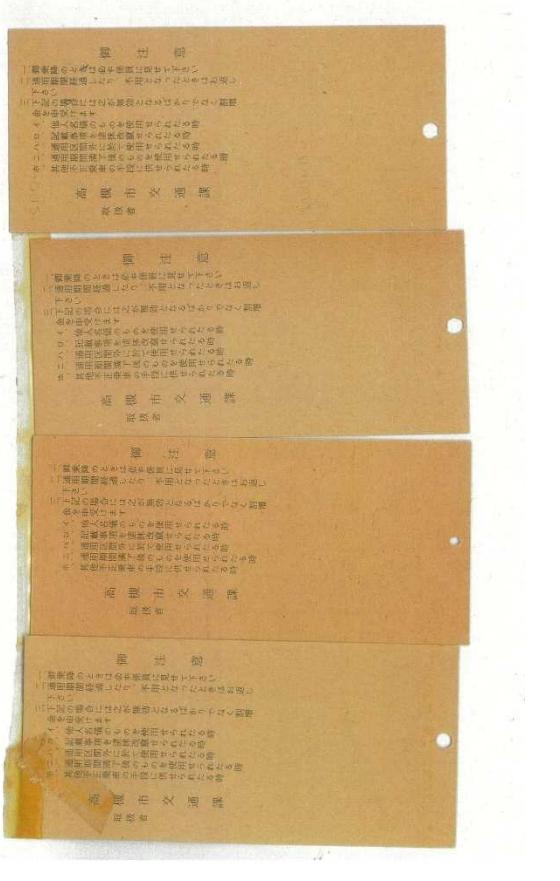
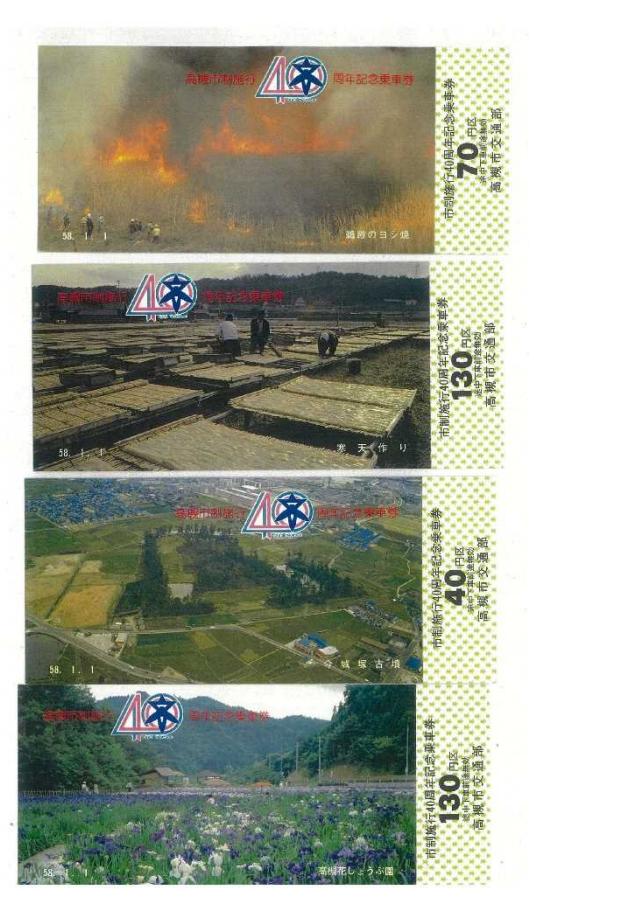
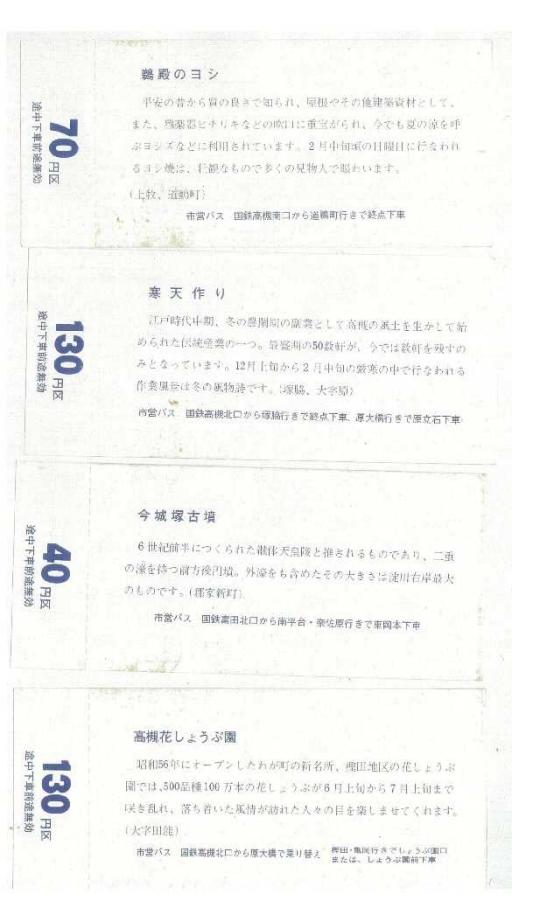






## 4-8 記念乗車券

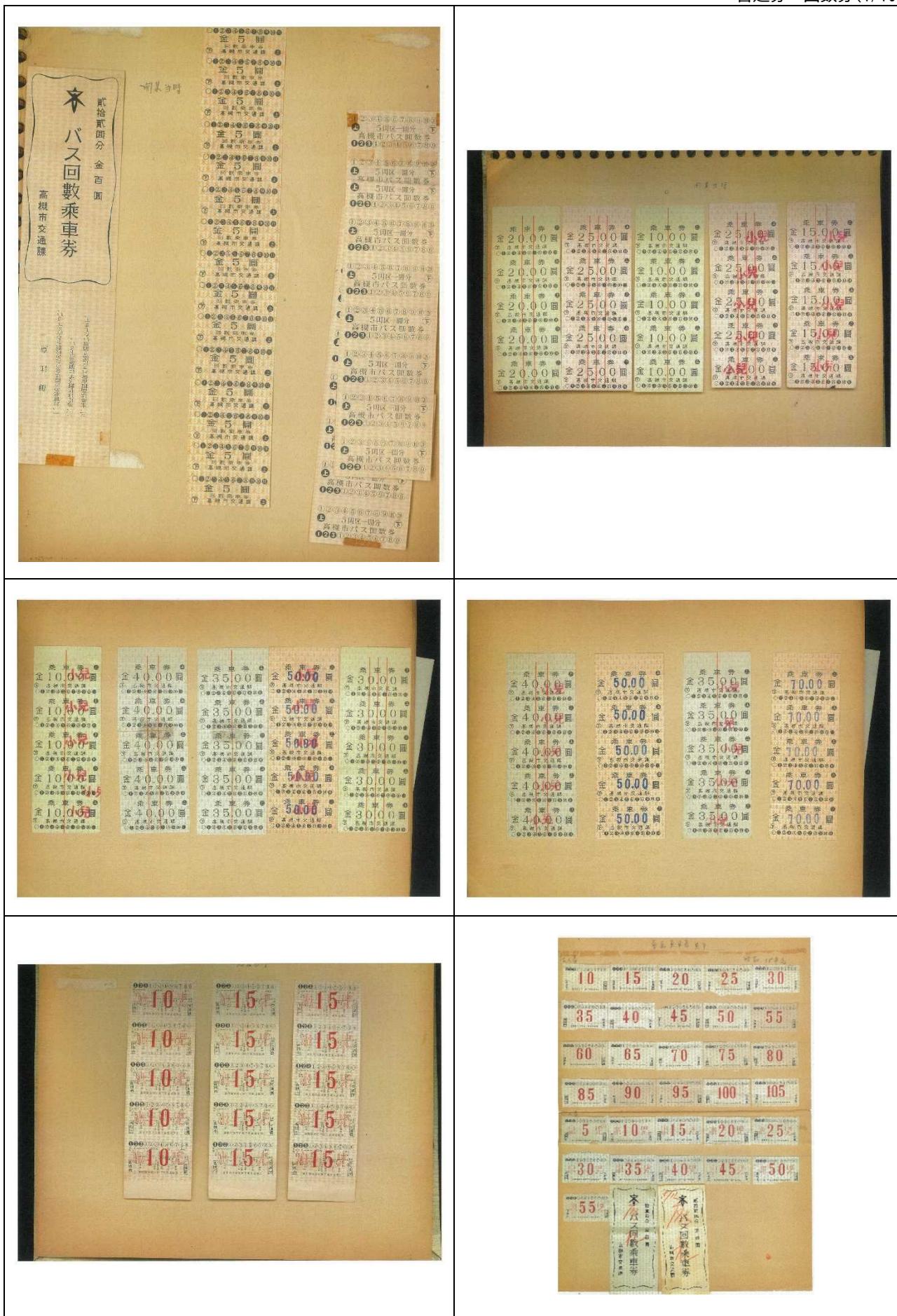
記念乗車券(1/2)

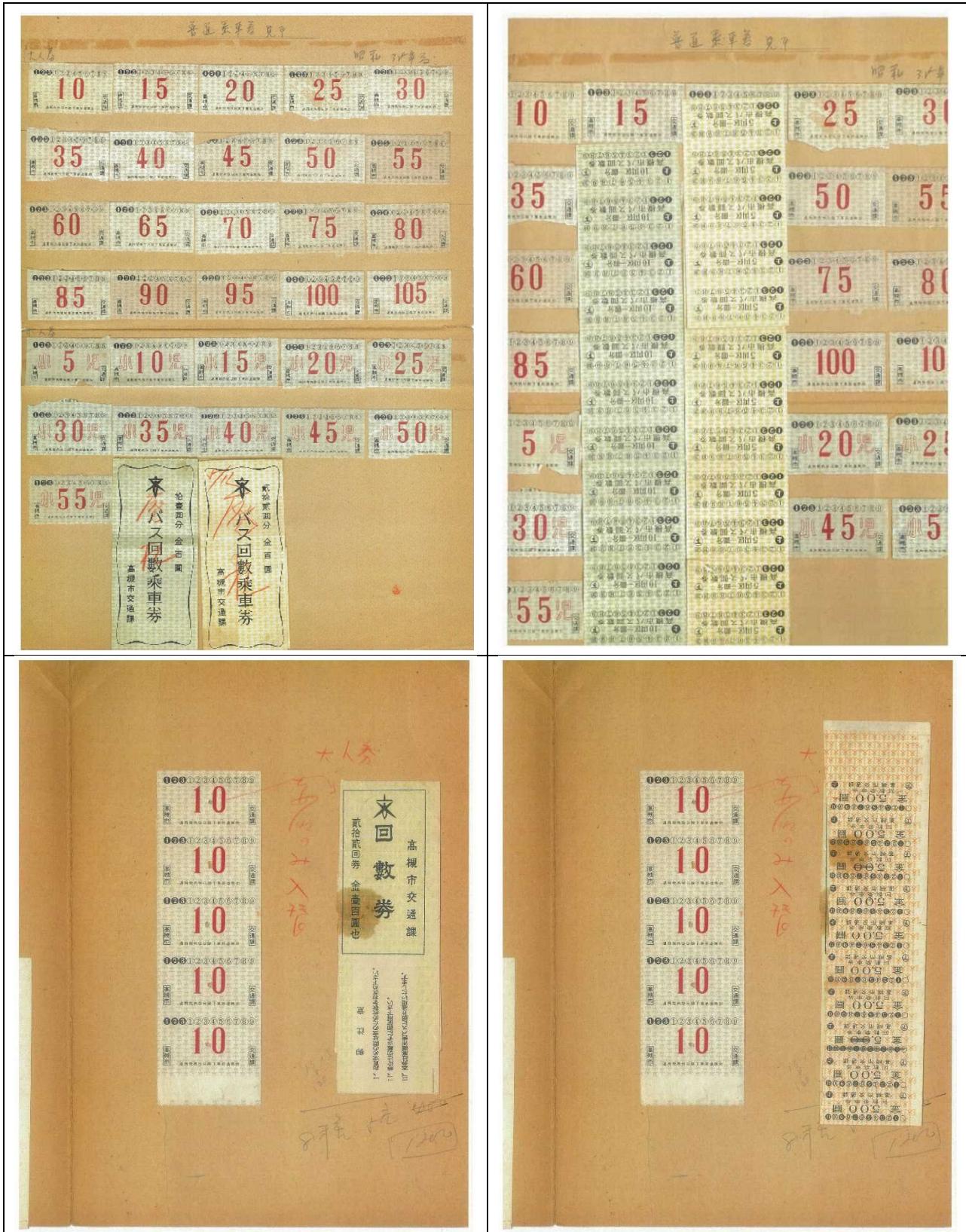
	
	

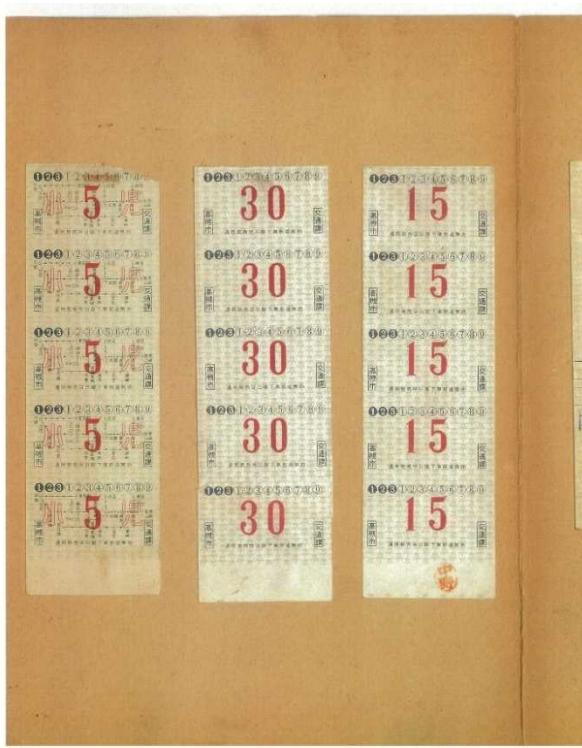
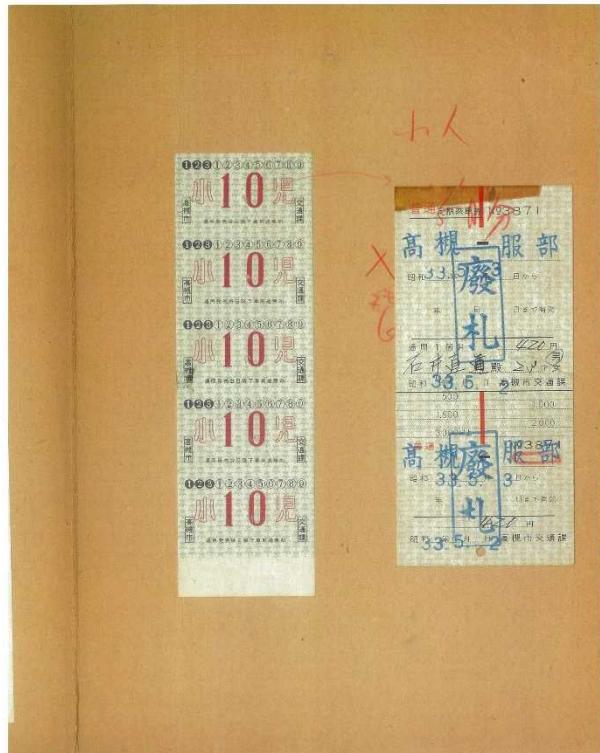


## 4-9 普通券・回数券

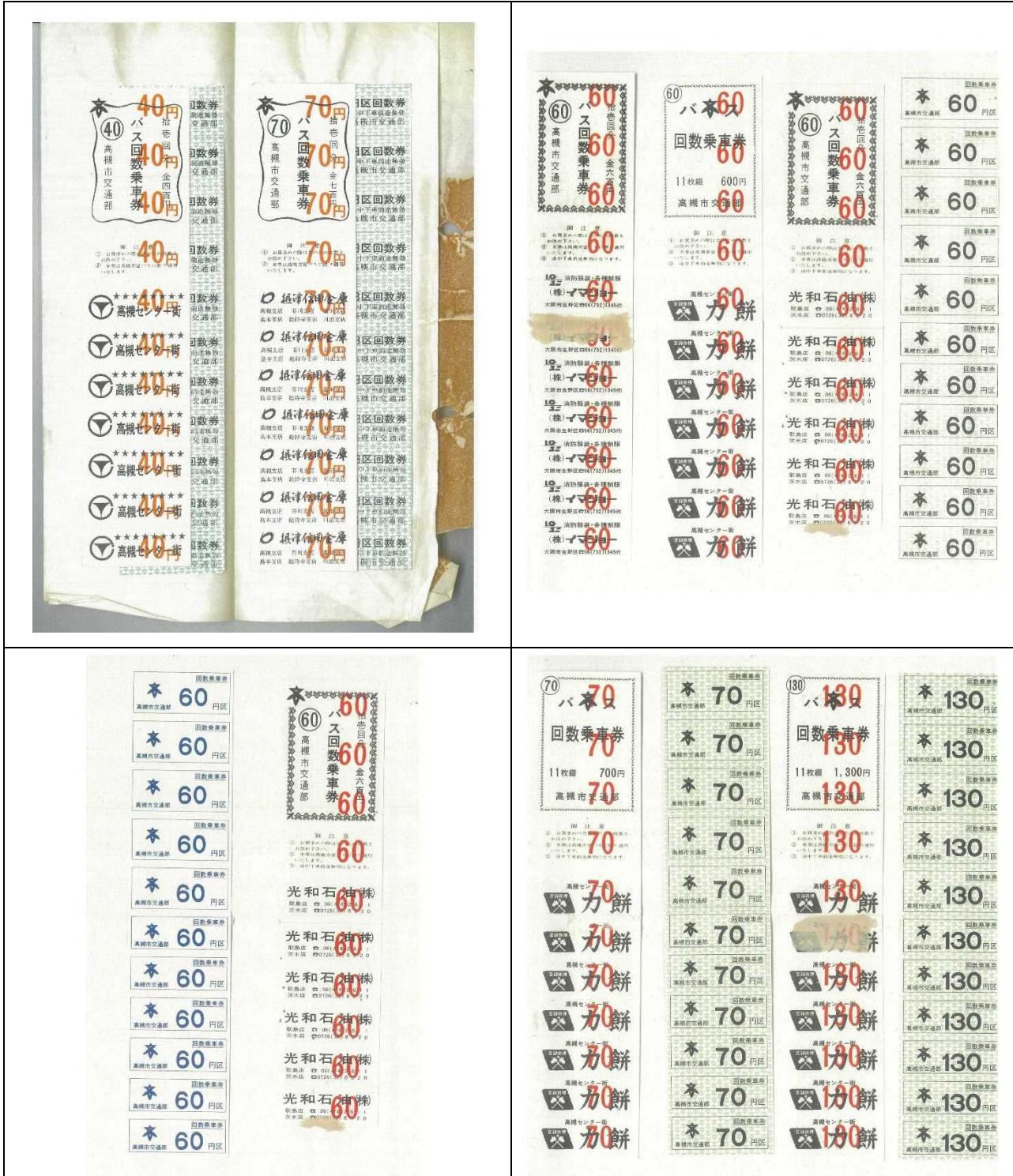
普通券・回数券(1/10)

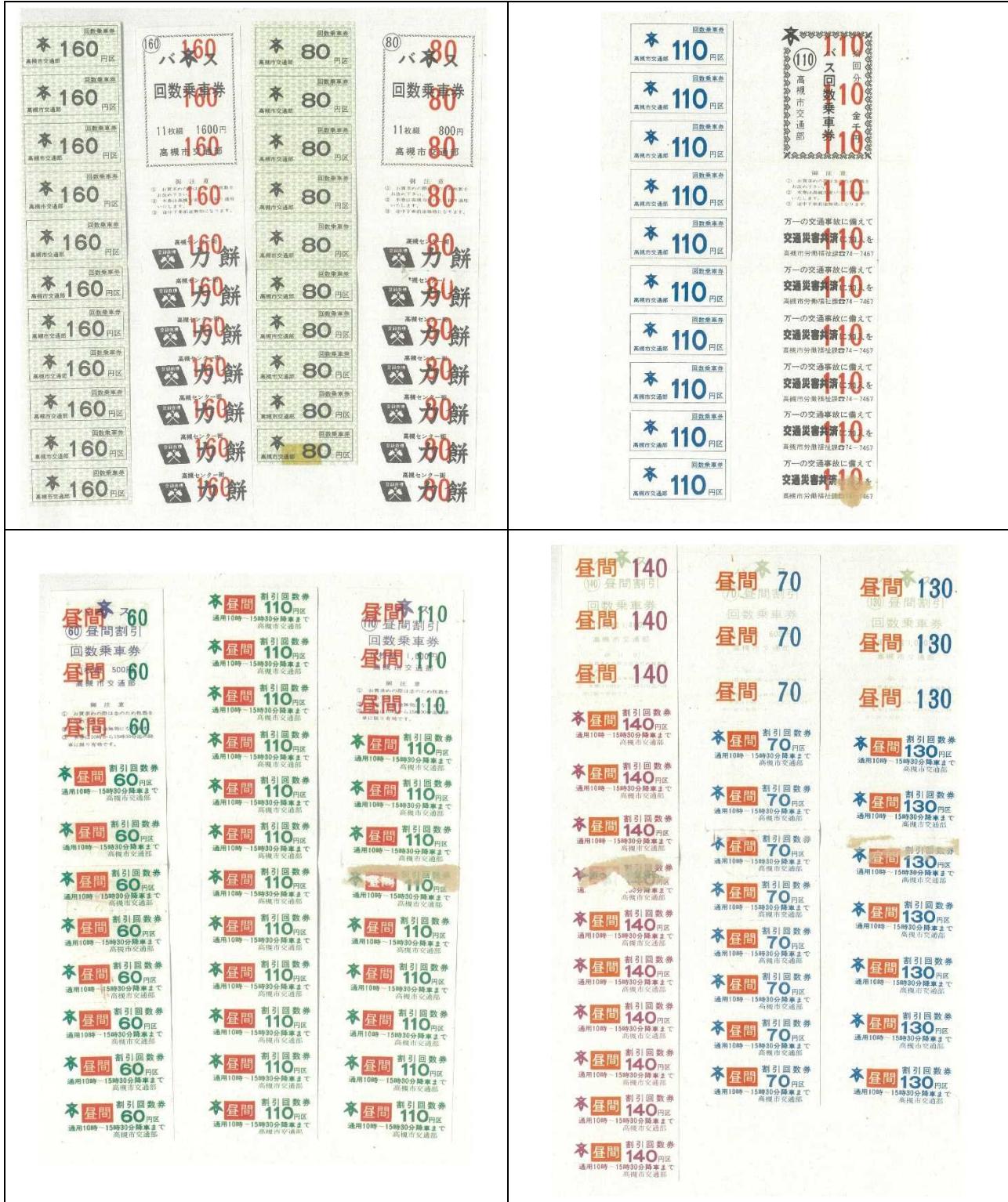


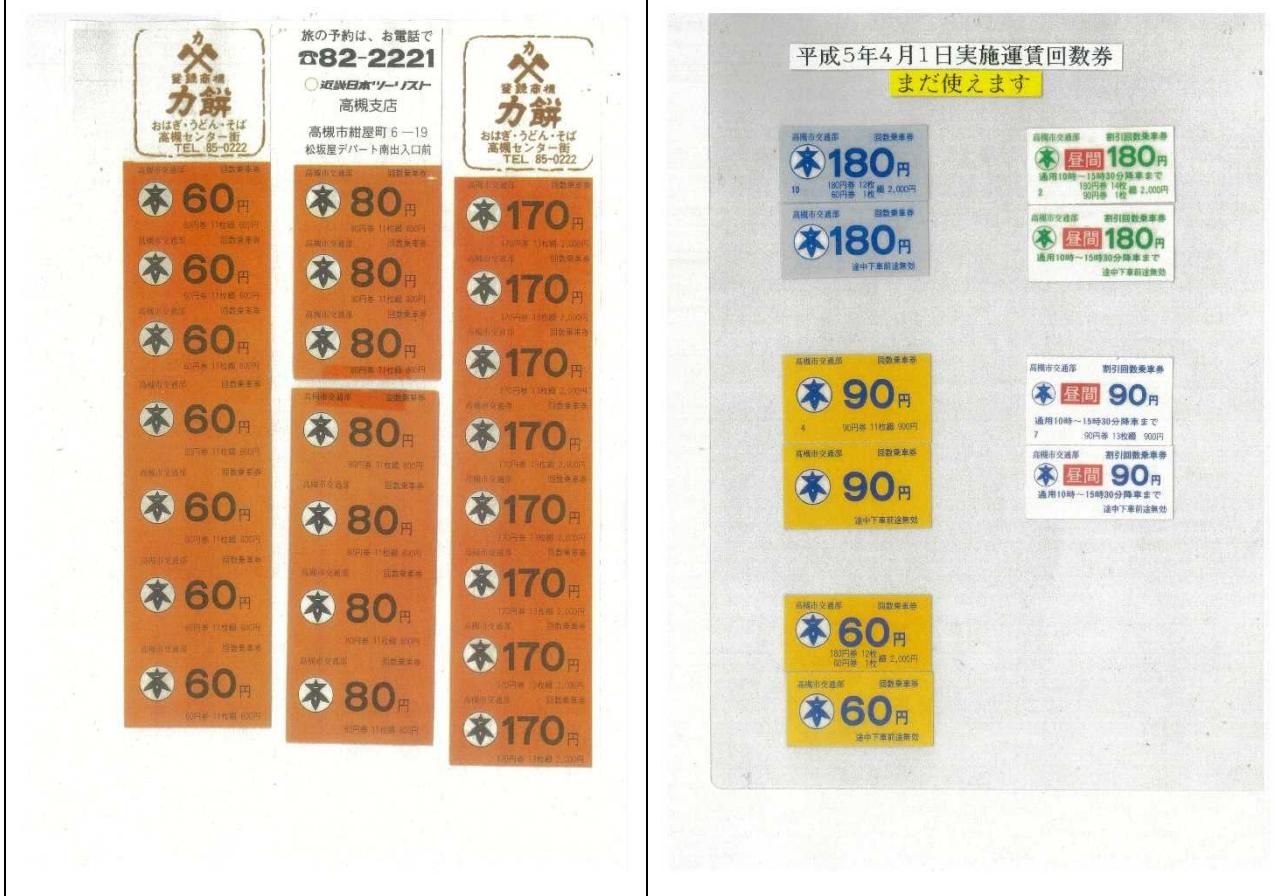
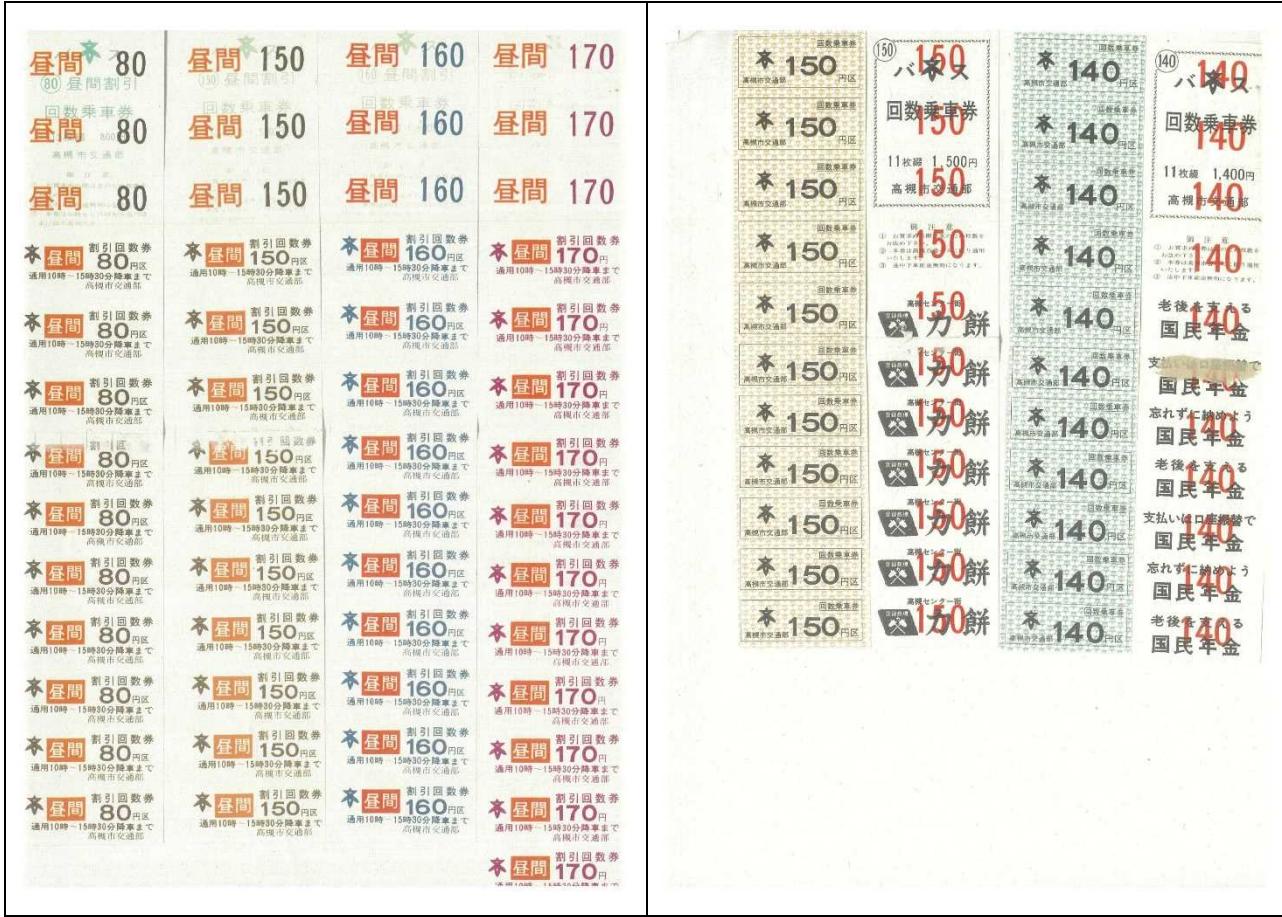






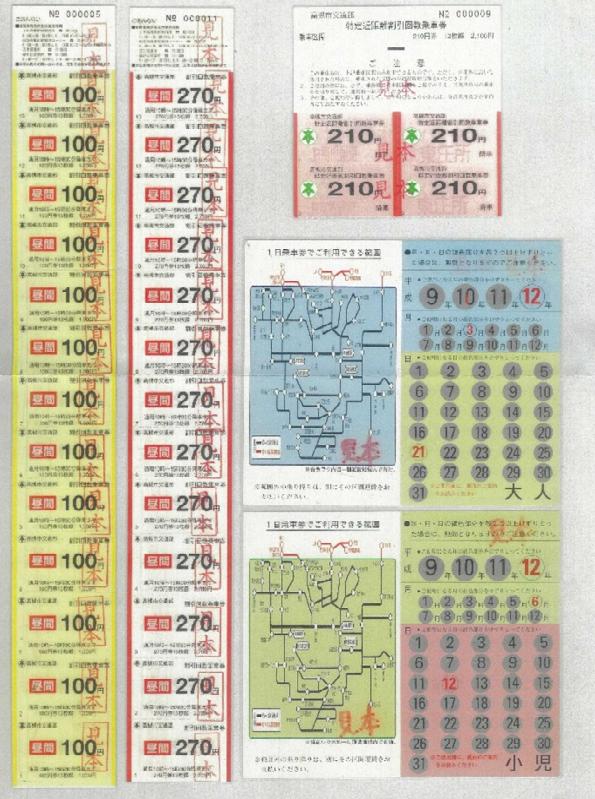






<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div>
---

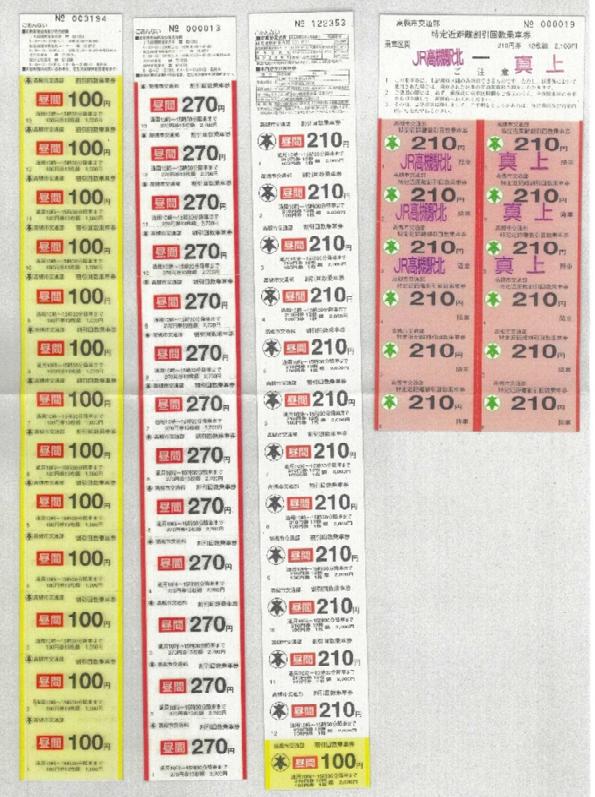
平成12年1月現在 発売されている回数券等 No.2



平成20年6月現在 発売されている回数券等 No. 1

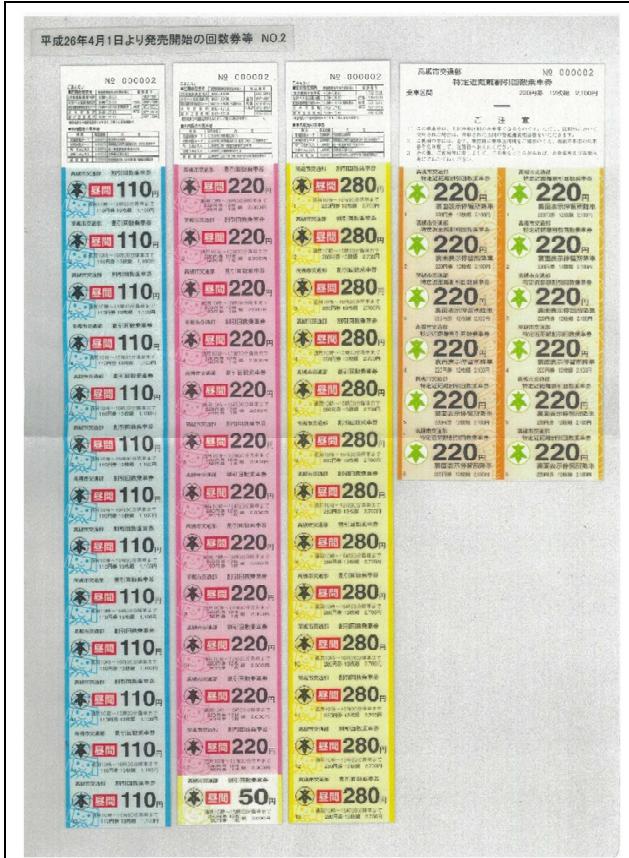


平成20年6月現在 発売されている回数券等 No. 2



平成26年4月1日より発売開始の回数券等 No.1



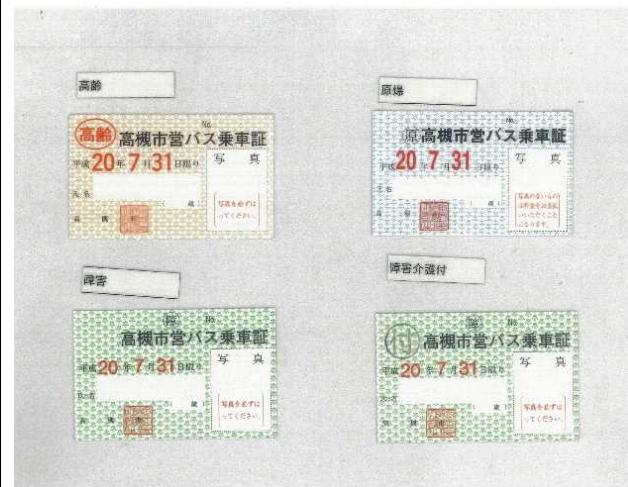


## 4-10 定期券等

定期券等(1/3)







# 編集後記

---

高槻市に市営バスが誕生して早や 70 年。この記念誌はその歩みや、「路線、バス停、乗車券」などに係る最近 10 年間の主なできごとや、「トミカ、記念切手、記念イベント」などの 70 周年記念事業の概要等を記録したものです。更に巻末には、集めることができた限りの様々な資料も掲載しました。

さて、本記念誌は市営バス事業がコロナ禍からの回復途上で、緊縮財政真っただ中にあったことから、外部に委託することはもちろん、印刷製本もなし（関係者には電子データを提供し、一般には市営バス HP に掲載など）という制約のもと、交通部職員の中から有志を募って編集しました。

そのため、多くの至らない構成や稚拙な表現があると思いますが、市営バス事業と同様、皆さまの温かい目でご覧になっていただければ幸いです。

結びとなりましたが、記念誌の編集にあたり、資料の収集等に際してご協力いただきました関係各位に心から御礼申し上げます。

---

## 高槻市営バス 70 年のあゆみ

編集・発行 高槻市交通部

〒569-0823 高槻市芝生町四丁目3番1号

発行日 令和 6 年 2 月

制作 市営バス職員有志一同

---





まちとともに。未来へ走る